

20
年
の
歩
み

あすなろ

釧路あすなろクラブ



信条

我等は

郷土を愛し

仕事に徹し

人と和す

「会 旗」について

創立10周年記念として制作。

(昭和47年2月2日入魂)

「あすなろの木」について

学名は「ヒバ」で和名があすなろといいます。ヒバの和名地方名は知られてい
るだけでも46種類もあり、一般によく知られているものとして、アスナロ、ア
オビ、ヒバ、クサマキなどがあります。ヒバは日本列島の特産樹で南方型と北
方型の二つの型があり、写真にあるものは青森産なので北方型でヒノキアスナ
ロと呼ばれています。木材の寿命は普通成長年令で30～60年位といはれていま
すが、青森県のヒバは特に上質で美林を形成しており有名です。そして五つの
大きな特長があり、300年～600年という神秘的な生命力耐朽力があります。
高級材として広く利用されていますが、特に柱や土台に向き弘前城は代表的な
ヒバ建築で美を誇っています。昭和41年に県民の投票の結果、アオモリトドマ
ツ、リンゴの木を大きく引きはなして「青森県の木」に選ばれました。20周年
記念式典にあたり、式典に展示したい希望を強くもつていた川口会員が、取引
先である青森市の「かねさ味噌本舗」に依頼したところ、こころよく理解され
役所の許可をとり、2mの積雪のなか雪上車で国有林内から掘り出してコンテ
ナで遠路輸送され会場に展示披露されたものです。鉢植手入れは名和会員の好
意で配置された次第です。記念事業の一環としてあすなろ花だんに移植の上、
専門家の指導を受けながら育成することになりました。凍上のはげしい釧路、
新芽の成長期に包まれる海霧、いろんな悪条件のもとで「ヒバ」の成長を切に
願うものです。



20年の歩み

釧路あすなろクラブ

目 次

20年を顧りみて	1
祝 辞	2
ご 挨拶	5
会員プロフィール（工業部会）	6
（卸 部 会）	
（小売部会）	
新入会員と語る	21
特別インタビュー「樹」を見つめて20年	30
思いでの記	31
20年のあゆみ	33
創立5周年	81
創立10周年	83
創立15周年	86
「特集、創立20周年」	88
商工会議所議員の経過について	99
厳島神社例大祭の協力について	100
花壇について	100
ビール会について	101
資料 PART I	102
◦ 会 則	
◦ 会員名簿	
◦ 歴代役員名	
◦ 年代決算一覧表	
◦ 年代行事一覧表	
◦ 会員職業分類表	
◦ 旧会員名簿	
資料 PART II	114
◦ 資料写真	
◦ 郷土の『主なるニュース』	
◦ 釧路市の漁業推移	
◦ 釧路市の工業推移	

- 釧路市の商業推移
- 釧路市の石炭の推移と石油価格
- 統計資料
- 会員企業（会員）の位置づけ
- あなたの血液型は？

協賛商社名	127
〃座談会、編集雑感	131
20周年記念特別会計決算書	135
20周年記念実行委員	135
事務局日誌	136
編集後記	137



20 年を顧りみて

釧路あすなろクラブ

会 長 武 藤 周 治 郎

創立以来歩んできた道をふり返りますと、そのときどきの「あすなろ」を守り育ててきた諸先輩の汗にまみれた息吹きが、そのまま思想となり哲学となって燃えるような情熱とともに伝わってくるように感じられます。

20年240回の例会が常に70%以上の出席率を維持出来たことは、会員1人1人の自覚と努力の結晶であり、会に対する信頼が如何に高いものであるかの証左ではなからうかと思います。日夜多忙を極め経営に全力投球を余儀なくされているなかで、会議、出張、業界業務の日程を繰合せて、例会に出席する苦労は会員はもとより、協力を惜しまなかった準会員や関係者皆様のお蔭と心から感謝を申し上げます。

業種がことなり、経営規模の差がありましても商の道は一つであるとの信念から、同友が三つの信條を生み経営研修の場をもつて、会員相互の同志感を深めることが目的であります。やはり会員全体に流れていましたのが「理解協同」の精神ではないかと信じています。更に会員の意見を充分にくみ取り無理をせず慎重に会の運営に徹した創立当時の役員の英智が一貫して引きつがれ守られてきたことが今日の姿があるものと云えましょう。昨今、不確実な80年代といわれるように、これからの経営も決して容易なものでなく、私達をとりまく状況は一つとして明るい材料はなく益々厳しさを増しております。

創立時の37・8年、戦後初の構造不況、47・8年のオイルショックによる大型不況等に見られるように、丁度10年周期毎の不景気の波は常に私達に直撃する様相で経営不安の鐘の音を響かせております。

「商人と屏風は直ぐには立たぬ」のことわざがあります。私はあすなろがその屏風のヒダの立場にあると常々思っており、その折目を更に根強い発展を願うことから、20年を契機に「行動のあすなろ」としてスタートを切る時期にあると考えます。

20周年記念実行委員会がまとめた計画には種々の困難な点もありますが、会員に一層のご協力をいただき完全実施に努力をつづけたいと思っております。

私共は、それぞれの商売の分野を通じて地域社会に果さなければならない使命を持っております。その為にも今後とも若い経営者の積極加入を求め、新鮮で活力のある会の伸長に地道な努力と活動をつづけなければなりません。

20周年を顧りみますと、今日迄いかに多くの方々が「あすなろクラブ」を励し、助け、支えてくれたかを知り、その与えられたご高恩をこのうえない幸せといたしております。

ここに改めて永年のご高配を深く感謝いたしますとともに、今後とも変らぬご支援とご鞭撻をお願い申しあげて、ご挨拶といたします。



祝 辞

釧路市長 鰐 淵 俊 之

ひとつぶの種子が山野に播かれて20年。今や緑したたる立派な樹木に成長したことを心から祝福申し上げます。しかし、この成長に驕ることなく、今もなお「明日は桧になろう」との謙虚な精神は充足当初と変わらず、あくなき知識を持ち、クラブ員相互の意見を滋養として自己の研鑽に努めている姿には本当に頭の下る思いがいたします。

貴クラブ員の皆様も、20年の歴史の中で経済の変動、社会の変化などさまざまな出来ごとに遭遇され、難局をも迎えられたかと存じます。これを乗り切るためには貴クラブに身を置くことが、有形無形の支えになつたであろうことも想像に難くありません。

我が国の経済も高度成長の時代から安定成長期に入ったとはいえ、地域経済にとつては厳しいものが多いです。私はこの問題に大変頭を悩ましており、この沈滞ムードをいかに打破するかが最大の関心事ですが「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」ことを信条とする皆様がこの釧路市の経済の担い手であることに、誠に意を強くしております。秀れた経営者である皆様が高邁にしてなおかつ、謙虚に己を省みる精神が必ずや、釧路市の経済発展をもたらすであろうことを信じて疑いません。

今後は、20周年を一つの節目として新しい種子を植えられ、更に30周年、50周年の慶事を迎えられますよう願って止みません。

貴クラブの益々のご発展を祈念いたしましてお祝いのことばといたします。



あすなろクラブの 20周年を祝う

釧路商工会議所

会 頭 渡 辺 源 司

少壮実業家の集いである「あすなろクラブ」が昭和37年に、当時の釧路の青年実業家が逞ましい向上心に燃えて発足して、もう20周年を迎えたということを聞いて、いささか感慨を深くしました。広辞苑によりますと「あすなろ＝翌桜」で「明日は桜になろうとの意とされる」とあり大きな桜になることを夢みているということになるとされております。

あすなろクラブの会員は、明日の飛躍を期して「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す」という信条で設立され、この目的のもとに過去20年を歩んできたものであります。

そして中小企業者である釧路市内の中堅商工業者が同志的結合によって結集して37年2月に結成され当時の低迷した経済状況下にあって、まことに真剣に「自己の企業経営をどうするか。この難局を切り抜ける方策は如何」などについて、会員同志の熱心な討論が重ねられ、意見の交換により、己れの進むべき道をそれぞれ探ったということを知っております。

この「あすなろクラブの創立を振り返り」という当時の今田英三会長の文章のなかに音楽に例を引いて「私も指揮者の如く、タクト（頭脳の指揮）で多くの楽士（社員）に自在に美しい曲（仕事）を奏でてみたいと考える。あすなろの同志の諸君も楽士である。バイオリン型、トランペット型、ドラムを持つ仲間、そしてフルートのような繊細な人物もいる」といい、その楽器は立派なソロ演奏もできるし集って音を奏でれば人に感動を与えるシンフォニーも演奏できるとして、われわれの努力によって理想的な美しい音楽（仕事）もできる一と述べていることは、20年経った現在でも変らぬ理想であろうと思われるのであります。

このような同志的結合を持った少壮実業家の集りが20年も倦むことなく、前進を続けている例は珍しいことと思います。これからも長く切磋琢磨して、会員企業の繁栄と釧路経済界の発達に寄与せられんことを祈念してお祝いの言葉といたします。



議論は若々しく

態度はおっとり

釧路新聞社社長 片山 睦三

結成20周年、おめでとうございます。こうした経済人の集まりが20年も続くというのは、会員の皆さんが『おとなの若さ』をお持ちだからだと思います。おとなの若さ——一見矛盾したいい方ですが、生々発展しようとする若い意欲で物ごとを議論しながらも、半面、お互いが謙譲で、分別ある態度をとることが、この会を永続させ、地味ながら会員各位が、確実な収穫をモノにされていることと存じます心から敬意と祝意を表します。

☆

☆

さてことしは、常識的にいえば余りよい年ではないようです。もちろん業種や地域、経営規模などによって違うでしょうが、何といたっても『自助の根性』が、その成否を決する特異な年—ではないかと思えます。

パットしない経済情勢だからといって、単純に消極的になり、実績と情性に頼るのはどんなものでしょう。永年の経験と実績の及ぶ範囲なら、『石橋をたたいて、のち打って出る』のもおもしろいと思います。『不況ムードに自から委縮するのが一番恐ろしい』といている先輩もおります。

さいきん、隣の帯広へ時々出かけますが、帯広商人の『手堅さとしつこさ』、さらには排他的とも見える『地元根性』には、いつも恐れ入っています。それでいて、機を見て獲ものに飛びかかるし—。

近ごろわれわれ道産子に対し、『自力更生』とか『自立根性』などを説く中央の要人が増えています。一昨年も昨年も、稲葉秀三氏や井原隆一氏など、著名な評論家がたくさんやってきて、『北海道の指導者—経済人も政治家も行政官も、はっきり“乞食根性”を捨てることから始めねばならない』と説教していきました。

もちろん著名な経済評論家とて、彼らに業界人としての経験はないはずだから、『生意気な空説教はするな』と陰口をたたいている人もいるが、道産子は上も下も、若干そんな甘えを持っているような気がします。これは決して、国の予算を本道へ持って来るとか、公共事業を頼りにしている、といった意味ばかりではありません。拓銀の石黒調査部長は、よく『自助精神』という言葉を使うが、これも同じ意味でしょう。

☆

☆

総理府がこの春行った住民の意識調査によると、『現在の土地に永久に住みたい』と希望する人は、釧路市が66%で帯広市は83%。この両都市ではかなりの差があります。ところがこれを矛盾するように見える。『企業の出先機関数調査—釧新』では、釧路・根室地区から十勝管内に支店や出張所を出している企業は約80社、反対に十勝の企業で、釧路管内に出先機関を持っているのは120社あります。

永住するのは地元帯広だが、こと商売となれば、他所までドンドン出かけて行く—というのでしょうか。一見封鎖的で排他的な十勝人にも、かなり積極的な一面があることを、さいきん知りました。この点は釧路っ子も、議論に学ぶ必要があろうかと存じます。 ともかく昭和57年は、『自助による発展の年』にしたいものです。



ご 挨 拶

釧路あすなろクラブ
創立20周年記念実行委員長

儀 俄 政 夫

創立20周年記念行事につきましては、経営研修集団として、今日迄歩んで来た道程に、一つの節目をつくる上からも意義あるものにしたいと、歴代の役員が乏しい財源の中から資金の蓄積に努力をつづけ、会員も亦協力してまいりました。その様なことで15周年の折にも極く内輪で質素に済ませてまいりました。

昭和55年4月に小林会長から、私と、今田、最上両会員に20周年記念行事について試案づくりの委嘱を受けて、先づ記念式典を昭和57年2月21日に行うことを決め計画案づくりの協議を開始しました。前段申し上げました様にその行事は会員を主体におき、会員に還元されることが記念行事の基本であるとの結論のもとに、修正に修正を重ね昭和56年総会で承認されましたのが別葉の行事予算案でございます。

申し上げる迄もなく、時下水面下経営を余儀なくされている折、経営研修を目的としている私共が、行事のために他に財源を求めることは極力避けなければならないと云うことで、自主資金で全案をまかなう方針で計画づくりを進めてまいりました。然し趣意書に申し上げました様に止むを得ず外部関係者に、会員の協力を通じてご寄附をお願いしなかった事は誠に申し訳なく心苦しく思っております。

幸いにして瀬村会長始め執行部の理解のもとに、実行委員会も全員協力の体制が整い、各部が全力投球のもと、短期間のハンデいを克服し計画がほぼ達成出来ました。責任ある立場の一員として会員の皆様に心から厚くお礼を申し上げる次第です。樹令20年末だ青年期とは申せ私共が歩んで来た20年の輪は一つの歴史であり貴重な経験と財産ではないかと信じております。「百里の道も九十九里を以て一步となす」のことわざの如く、皆様と共に信条を遵守し地道な研修を主体に微力ながら努力をつづけて行く所存でございます。会員の繁栄を祈り委員長の挨拶と致します。

①生年月日 ②勤務先 ③役職 ④入会年



安藤 昭二

工業部会愛妻家御三家の1人、入会は38年ですので骨のずいまで、あすなる精神がしみこんでいる。書道家としても、全道展の常連で、中堅作家成長株の1人でもある。

3代を北大通りで生き抜く老舗の営業常務であるだけに、苦勞が多い事だろう。

健康に配慮し無理は厳禁。

1人息子が書家の卵だけに父子鷹コンビが楽しみ。明るい夫人と共に築かれた良き家風は訪れる会員の心温まるものです。民生委員として、地域社会で活躍されておことはあまり知られていない。お孫さんも近々とのこと、孫々会資格獲得。

① S 2.1.7 ② 安藤印刷㈱ ③ 常務 ④ 38



池田 武文

重厚な感じの中にも、機敏な行動をとる会員である。緻密な計画で水産関係の仕出し給食に営業の重点を求めたのも、的を射た方針ではなかろうか。時として熱弁が火を吹くのも数字に力強い彼の一面かも知れない。

工業部会にはユニークな会員が多いが、将来彼は御部門に進出するのではないかと思はれる50年にあの肥満体で、雌阿寒岳登山に挑戦し、頂上踏破したあの闘魂こそ、今日の企業の姿がある。やさしい夫人の内助の功は大きい。

① S 11.6.30 ② 日本仕出し㈱ ③ 代表取締役 ④ 47



伊藤 史顕

鈴木造船所工場長として、又釧路地方経営者協会副会長、釧路市商工会議所工業部会副部長、釧路船舶関連協議会々長と履歴にある通り、東奔西走、意欲的な行動には定評があり人間的に素晴らしい魅力ある会員である。48年入会事務局長、副会長の重責を果し更に20周年記念誌委員長として、短期間のうちに大役を成功させた手腕は高く評価される。いづれ、会の指導者となる器であり、釧路経済界のリーダーとして活躍が期待される1人でもある。西郷隆盛のニックネームを送る。

① S 5.4.13 ② 鈴木造船所 ③ 工場長 ④ 48.8.



岩田 守

北海道産業貢献賞の表彰は、研究と努力の一途に歩んで来た功勞に贈られたもので、会の名譽でもある。

事業内職業指導員として、後進技能者養成に卓越した指導は定評がある。板金工業副会長の要職にあり、業界の地位向上の為多忙を極めている。然し謙虚なものと誠実な人柄はかたさを感じない。部会長、副会長の重責も果し、38年入会で元老、夫婦で自然を求め、山野巡りが健康法と言われるが、むしろ多忙な会員の憩いは夫人の詩吟と庭木を眺める一時ではなかろうか。

① S 4.7.12 ② ㈱岩田板金工業所 ③ 社長 ④ 38



川畑 仁

洋服縫製を自から縫っている店主は釧路で非常に少なく、その中で高級品を扱い信用第一で業績を上げられた洋服組合組合長を永年勤め若い組合員の育成に現在も尽力中。

店の中に入りますと業界のコンテスト入賞額が並びさすがとうなずけるものがあります。

専門店会役員をされ、顔が中々広いです。昔は末広町の夜の帝王で知られ最近は余り目立った派手なところがありませんが、重厚ないぶし銀のように光っております。お嬢様は皆嫁がれ日曜日になりますと孫に囲まれて顔をくずすお爺ちゃんです。

① T 11. 2. 14 ② 川畑洋服店 ③ 店主 ④ 50



川口 征

南大通りの老舗、ㇿ共盛の赤レンガは釧路の名物である。

兄社長を補佐し、先どりする営業方針のもと常務の職責は重い。日進小学校開校 100 年事務局長としての活躍、入会后一貫して事務局畑を歩んでおることは、そのアイディアと闘志あふれる行動がぬきこんでいる証左である。

「私は現在命あることに感謝し、私の出来る事を善意を持って働きたい。友情の為にも自分を燃焼させて行きたい。それが自分の人生です。」

先祖に恩師に敬愛を捧げる信念の男である。夫人の健康管理には忠実であって欲しい。

① S 5. 4. 10 ② 常務 ③ ㇿ共盛株式会社 ④ 48. 7. 7



加藤 義雄

常々柔和な笑顔で静かに発言する時には、頭の中で話す構図が出ている様です。

営業内容も、交通信号機等、多彩な中で計画通りの実績をあげております。

業界の指導も適切、温厚篤実、社員始め同業の敬愛と信頼を集めている。

会にあっても部会長、事務局長次長と多忙の中で積極的に運営に参加する姿は魅力充分です。札幌出身ながら釧路っ子を感じさせ信条の遵守居士で、前任者の田中所長と共に事務局長補佐役。

① S 11. 6. 30 ② 和商ㇿ釧路営業所 ③ 所長 ④ 52. 4. 7



木内慎太郎

輪転機の音を子守唄で育った木内印刷 2 代目として実社会の第一線で働くホープとして着々と実績を上げ業界の中堅会社の地盤をゆるぎないものとして技術販売の両面を備えた真面目人間と言った人。柔らかない人の気をそらさないものを持って新鮮な味が工業部会では珍しい。趣味の音楽も本物で音痴の多い会員の中でユニークな存在です。たゆまない努力と精進を重ねられんことを期待する。橋南地区再開発の為にも視野を広げ活躍を熱望。

① S 21. 10. 29 ② 木内印刷 ③ 専務 ④ 53. 3. 7



佐々木保幸

結婚間もない2人が協力し、励まし合いながら血のにじむ様な努力のもとにビルメンテナンス総合管理部門の現在の会社を築き上げた手腕と能力は強い感銘を受ける。シェアも釧根地区から更に十勝地区へと伸長をとげつつある。厳冬の早朝に社長として第一線を指揮する姿は若さそのもので、余暇に楽しむゴルフもこの活躍の為にある充電なのかも知れない。

童顔の笑顔は清潔で苦労人の影はなく魅力的である。まとめ役としての期待が大きい夫人のお人柄が躍進の原動力かも知れない。

① S 8.1.2 ② 釧路日本美装工業㈱ ③ 取締役社長 ④ 44.3.7



島根 東司

東京のセンスを北辺の釧路にインテリアとして、美しい夢を生活の中に作り出す仕事。彼の語りは職人の深い熱感が伝わって来る。

80年代、90年代に向けて産業構造が大きく変わりつつあるとき、第4次産業の分野が益々増大されることは当然で、島根式経営哲学が実を結ぶことも近いことでしょう。花の40代、会の運営に参画し会員との交流の輪を大いに広げてほしいことを期待して止みません。

① S 12.1.18 ② スペース企画 ③ 代表者 ④ 54.11.7



田中 幸一

道東地区建設業界の中堅会社として、着々と業績をあげつつあるのも、専務の柔和な面と決断力の魅力ある人柄が、社風となって前進を続ける原動力ではなからうか。好感のもてる人格者である。静かな語りの中で、礼節を保ちつつ積極的に正論を堂々と被歴する姿は会の進行の原動力となっている。工業部会では、愛妻家が多いが、中でも彼の愛妻ぶりは人柄とあいまって、尊敬になってしまう。クリスマス会の準備の為、ハッピー20枚の縫い物を奥様一人で仕上げて下さった時、彼は普通の顔して居りましたが、夫婦の気合がピタッコンの感じを受けたものです。難しい業界で苦労も多い事だろうが、健康に配慮を乞う。

① S 7.6.15 ② 日伸建設㈱ ③ 専務取締役 ④ 46.7



高谷 正行

父君社長の薫陶を受け、2代目たらんと地道に努力をつづける好青年。年々業績を拡張、目を見張る発展に専務取締役として、第一線で汗にまみれつつ実力養成中。

仲々機敏な動き、エネルギーッシュな青年、部会においてこの人、持味の馬力が重い腰の工業部会を動しており、先輩会員の中で良く働き、その情熱を認められ、益々活躍されん事を望みます。酒を好むが、家庭を忘れず奥様孝行を生活信条の第一義に、趣味のカメラは、プロ級(?)

① S 25.2.7 ② 高谷設備㈱ ③ 専務 ④ 51.2



早川源之進

道東地方の経済の担い手となる会社が道東ボーリング開発である。太平洋石炭、工業用水の発見、温泉の発掘等と未来の釧路図面を変える事の出来る重要な企業であり現在迄多くの実績をあげている。彼の巨軀を東奔西走と持込み休む暇なく活躍多忙の為会の出席が思うにまかせず本人は非常に苦慮している様子。工業部会らしい職種というべきか益々奮闘する事を切に望む次第。坂本竜馬的存在である。

① S 7.4.22 ②道東ボーリング開発㈱ ③代表取締役 ④40



松田 忠

太平洋鉱業所の一角で地味で重要なベルト管理の会社の常務として苦労を重ねつつ生産に支障なく采配を振う努力は彼の人格そのものである。クラブの会長を勤め温和で口数少なく不思議な魅力を持った人で会長在任中も静かな語りの中に強い信念を打ち出し知らぬ間に彼の術中に落ちて会の運営が円満に支障なく実行されてしまう。実に不思議な存在と言うべきである。太平洋炭鉱坑内見学は特筆すべき事で彼の配慮によるもので見学者一同は忘れ得ぬ事でしょう。チャーターメンバーであり又昭和一桁生れ、大久保彦左衛門的存在だ。

① S 4.2.26 ②菅野商店 ③常務取締役 ④37.2



米田 慶

建設土木、塗装、砂利と多方面に活躍され業界のリーダーシップを握り実力ある指導者である。それだけに内に秘めた闘志は満々たるものがある。子弟育成、職業訓練に寄与し大きな功労をあげられ今日の塗装業界発展を見るに至った機関車の存在ではなかろうか。北日工業を今日あらしめたものは体軀を粉々にして身体不調の折も病に負けずに会社業績を確実にものにつくりあげた経営手腕も拔群である。彼の大きさ、友情に感ずる細やかな神経は暖く感じる。まりも学園25周年記念に表彰を受けるなど彼の内面を表わしておるのではなかろうか。健康に注意して下さい。

① T 11.5.4 ②北日工業㈱ ③代表取締役 ④40



松本 重政

髭の松本君、とかく言論多発になり勝ちな例会に於ても、一人口数少なく静かに聞いて、取捨選択するといった自重派。現在自動車修理工場を拡げ確実な仕事に定評があり着実に業績を伸ばして居る。松本君は人間味があり仲間の付き合いは良く派手なところはなく信頼度の高い人。彼の自宅には小鳥が50羽以上いて美しい声が流れ奥様の入れるコーヒーの味が一段と素晴らしく香り拔群。夏になると毎週土曜日には家族総出で野外でキャンプをはり、自然に親しむロマン派でもあります。

① S 10.4.18 ②松本モータース ③事業主 ④43



室本 義信

真面目で苦勞人で、話の解る人、会員の中で20年間お付き合いして信念の変らない人、そして角がなく、かって人を裏切る様な行為はみじんもなかった人である。それが証拠に家業を着実に伸ばし地に足がついている姿は、現代社会に於いて、得難い人である。夫人が入院した時2ヶ月間退院するまで、仕事が終わってから1日も欠かさず見舞い、慰められた彼の愛妻ぶりは、真面目な人柄を現すもので余人の出来ぬことであろう。会員を大切にし会を愛する精神は只々尊敬するばかりである。鉄工曲げもの技術では市内一の技能者である事は、あまり知られていない。

① T 11. 16. 10 ② 室本鉄工所 ③ 店主 ④ 40



吉多 義榛

昭和一桁の代表選手の様だ、自衛隊出身であるが、ラジエーター修理の企業を戦後いち早く野原の住之江町に工場を築き着々と実績を上げ業界のナンバーワンの業績を保っている。経営手腕は並々のものがある。

謙虚な態度と研究熱心が今日の経営を築いた根源でなかろうか。又友人仲間の面倒見の良いことも、その人柄か。家庭では病気がちな奥様を大切にいたわり愛妻家として、家庭人の鏡である。隣地にイトーヨーカドーが開業したのも繁栄のいわれを感じる。

① S 3. 9. 8 ② ㈱鉤路ラジエーター工業 ③ 代表取締役 ④ 54. 4. 10

会員プロフィール 卸部会

① 生年月日 ② 勤務先 ③ 役職 ④ 入会年



今田 英三

クラブ創立に参画し、基礎づくりの多難な時期に情熱と英智をかたむけて、運営の要として、推進役を果たした抜群の力量は衆目の一致するところで、信者の多いことも当然と云えましょう。趣味の絵画は陶芸の池ヶ谷会員と共に、クラブでは素人の域を脱した腕前だが、余暇に目を向けることの出来ない立場に在ることは誠にお気の毒だが近い将来会員のための教養講座を担当することを信じたい。奥様の健康管理よろしきを得て体調良好の由、持続あらんことを切に祈るものです。

① S 2. 8. 6 ② ㈱安本 ③ 取締役社長 ④ 56.10.7



稲垣 友則

初期のむずかしい時期に、事務局の基礎を築き、その後、後輩の事務局員を指導し、育て上げた「稲ちゃん」の功績はあまりにも大きいことを、20年たった今、痛切に感ずる。固いばかりでなく、詩も書くし、筆も冴へており、5周年記念特集号の会員プロフィールはその一端をのぞかせておる。血を引いたご子息は、わに淵援会の広報プロデイスを担当しておることで、うかがわれる。健康がすぐれず出席の少いのが淋しい、1日も早く回復し元老として後輩の良き相談役になっていただき、おはこの森繁節をききたいものです。

① T 10. 11. 13 ② ㈱橋本商店 ③ 取締役 ④ 40.10



石井 亮一

一見おっとりとした風采は昔も今も変わらず、常に笑を顔からはなさないところも又同じ、只斗酒尚辞せずといった昔に比べ酒量も些か下つたとはいえ依然として愛酒家に変りはないしかし、老舗丸三両角商店の取締役としてこつこつと働きその屋台骨を支えている得難い人材の一人である。クラブの会員としても古参の一員であり、この人の気負いのない発言がクラブの発展に寄与していることは否めないところである。

瘦身の中にかくされた営業マンとしての気力が、この人の身上であり我々の範とするところでもある。

① S 8.12.20 ② 丸三両角商店 ③ 取締役営業部長 ④ 47



太田 敏雄

ダイカ株式会社取締役支店長の肩書をもつこの人、一見やさしそうであるが芯の強さは格別、ダイカ釧路支店がこのシビアな経済状況の中にあつても微動だもしないのはこの人のその性格の為でもある。しかしその性格を表に出さず礼儀正しく又人と融和する点私共の範とするところである。

実業家として有為な面、会員としても又特殊な存在である。クラブの信条を地でいく様なこの人が人から慕れない筈はなく将来共展望されろ一人でもある。

① S 4.11.19 ② ダイカ ③ 取締役支店長 ④ 45.1



儀俄 政夫

この人なくしてクラブの事を語る事は出来ない。創立に寄与ししかも3代目会長として会の礎をより固くした人。一見瘦弱弱そうに見えるがなかなかタフ。職務に没頭し時としては活を入れる為にグリーンで健康作り。東奔西走休む暇なく活躍している日々である。

これが又この人の若さが持続している故かもしれない。それでいて温情味あり、後輩の面倒を見ること人におくれはとらない。硬軟両様をかねた典型的経済人であり、一面孫さんの顔を見て目を細める好々爺である。

① T 11.9.15 ② 釧路ヨコハマタイヤ ③ 代表取締役 ④ 37.2



佐川 昭

10周年記念誌にこの人のプロフィールが紹介されたが正にその通りの人物、今に至るも変らない温厚篤実な経済人、そしてなんでもこなせる活動家であると書かれてあったが10年後の今日ますますこれに磨きかけられ深みをましてきた。しかしそれにしても何時までも若さを失わない秘訣はどこにあるのか、一度お聞きしたいと思っている。

実業家として又一方よき家庭人であることは私共の模範とするところ。得難い会員である。

① S 2.3.9 ② 道東ナショナル通信特機 ③ 専務取締役 ④ 38



推井 貞晴

企業近代化の波はこの業界にも押寄せている中で釧路唯一の老舗を守るべく家族を挙げて営々として企業に努力している平和軒の専務。社長の父が実務よりはなれて以来外交に、金融に、製造に一面八臂の懸命の努力をかさねている事は衆目の一致して認めるところ。

又クラブ入会の日は浅いながらも会員と打融け率先してクラブの事業に当つてそのなさは若手最大のホープ。円満温厚な、性格は会員の受けもよくその為時としては大役を仰せつかることもあるが難なくこなすところ又妙を得ている。ますますの健闘を期待する。

① S 22. 7. 29 ② ㈱平和軒 ③ 取締役専務 ④ 52. 1



菅原 弘光

昭和36年釧路商工信用組合に入組、現在鳥取支店長として活躍、履歴20年の経歴の中に、愛国支店、中標津支店開設の準備副委員長として、その業績は高く評価されている。

仕事多忙の中にも、友人、家族を大切にする人柄で、特に奥様と3人の息子さんのサービスを忘れず、年に一度友人と家族ぐるみで、キャンプを計画、実行する。

常に笑顔でお客に接し、積極的に行動する姿勢は魅力一杯である。今後あすなろクラブでの活躍が期待される。

① S 17. 11. 4 ② 釧路商工信組鳥取支店 ③ 支店長 ④ 56. 12. 5



瀬村 哲雄

シニア会員 現会長 10年変らず会員随一の巨漢 しかし心はやさしく面倒見のよいところも又大である。現会長として創立20年を目前に控えクラブの今後の発展に努力していることは会長として当然とはいいいながら推賞に値する。

一方釧路の数少ない老舗敷島商会の常務として又中標津町の敷島屋の社長として日夜東奔西走している事は誰も認めているところ。ナイーブな点と心の大きさが此の人の人となりであらわしている。クラブにとって得難い人の一人である。

① T 14. 6. 6 ② ㈱敷島商会 ③ 常務取締役 ④ 37. 2



多賀 輝夫

郷里、鳥取県から自衛隊、そして釧路での開業と、彼の踏みしめて来た道は、決して平たんなものではなかったものでしょう。41年に学校給食業を起し、46年には冷食材料卸しを併業し、現在では、帯広、札幌と関連に分布を拡張している。研究心、斗魂、智恵を内に秘め着々と業績を積み上げておることは、ご立派と云えましょう。内務管理を支える夫人の功は大きく、夫唱婦随で見事なコンビです。共に信心が深く、面倒見がよいことも、そく面から事業拡張を助けておるかも知れません。役員選考委員を通算7年経験しておることは、余り知られていないが、信頼度が高いことでしょう。町内会長として活躍中。

① S 7. 6. 6 ② ㈱ダイレイ ③ 代表取締役 ④ 44



泰地 秀信

近代建築の火災が人命に及ぼす影響の多い現在、家庭には是非消火器の用意と強調するこの人。中央消火器販売㈱の社長である。柔和であり温厚な人柄の中に仕事に対する情熱と人命を尊しとする信念が消火器の必要性を説く所以だと思われる。会合にあつては常に物静かに語りかけるこの人も又近代感覚をそなえた経済人という印象を言葉のはしはしに感ずる。ともすれば1日の仕事に追われ気苦勞の連続の中、心の休み処としてこの人と語り合うことも又プラスになると思わせる人の一人でもある。

① S 14. 5. 28 ②中央消火器販売㈱ ③代表取締役 ④47



寺前 利彦

横地重幸社長の片腕として青果業界で辣腕を奮っている中央青果の専務、クラブの会員としても異色の存在である。一見やさ型に見えるが内に秘めたファイトは誰しも予測しがたいところ。一時健康を害されたがそれも克服されて日夜東奔西走されている。

釧路という土地柄青果物の生産に恵まれず大半は移入に依存している現状にあつて市民の台所に円満に供給することは並の努力ではないと思われる。そのような中であつて供給源としての役割を果たされている兄の今後の活躍をより一層期待する。

① S 11. 11. 15 ②釧路中央青果㈱ ③常務 ④48



淵本 久雄

20万市民の台所を預る青果業界の一方の旗頭、滝林青果株式会社の専務取締役、毎日早朝より出勤し如何に市民に新鮮且つ安い青果物を供給するかに日夜奮闘しているフレッシュマンである。

瘦身はこれファイトにあふれ将来を嘱目される有為な営業マンでありクラブにあつては嘱目される会員でもある若さを発揮し健闘されんことを期待する。

① S 13. 2. 3 ②太滝林青果㈱ ③専務取締役 ④55



松浦 利彦

現在、会員の年代層を見ると、昭和一桁、大正年代、昭和10年代、昭和20年代の順となっており、構成バランスはクラブ発展には欠かせない条件と云えます。その意味からも20年代の松浦会員の入会（S56年）は喜ばしいことです。牛乳の消費拡大と相まって、底流ではマーケットの確保に激烈な日々であろうと思はれます。趣味は仕事と云い切る彼の経営執念が並々ならぬものを感じると共に、クラブに対する期待の大きさが伺われるものです。入会が残いので、多少の遠慮もある様ですが、1日も早くクラブの空気にとけ込んで輪を広げてほしい。野遊会で拝見した良きパパ振りはクラブ愛妻会の幹事長候補？

① S 22. 7. 20 ②㈱サツラク牛乳釧路販売店 ③代表取締役 ④ 56. 6. 8



三国 仙二

釧路宇治園の店主、交通指導員としてはベテラン。 会員としては特異的な存在、これは悪い意味でなく比較的消極的な会員のいる中でむしろ積極的に発言や動きをする行動派。

明るさと話術の巧さが人を惹きつける妙を得ている。 お茶の販売という職業からか、この人には他の人になく香があるように思われる。 その香りは時として人の心を安らぎファイトにもつながるものでもある。 疲れた時の一服の茶のような不思議な魅力をもった人である。

① S 9.9.1 ② 釧路宇治園 ③ 店主 ④ 51.9



宮沢 昌典

もともと鉄屋のベテラン、大阪の一流鋼材専門商社で数年の修業、其の後釧路で約10年某社の建材販売の先峰となり活躍したのも都合にて損害保険の仕事に180度の転換。

新しい資格取得に持ち前のガリベンが効を奏し業界の最高の特級資格を取得、多少引込思案のところはあるが性格はスポーツマンらしく明るく人に好かれるタイプ。損害保険の業界に入って日は浅いが、2代目プロ代理店として将来大いに、期待出来る人物である。

① S 17.12.15 ② 宮沢保険事務所 ③ 所長代理 ④ 56.10.7



武藤周治郎

世話好きな好々爺、何時も笑顔絶やさず円満、洒脱な人物である。 ともしれば気負い勝ちや走り過ぎの人の多い中であって特殊な操舵術を心得、セーブする特技をもつ「親爺的」存在。それあつてか、この人を慕って集る若者も多いとか、巧言令色のはびこる現代の世の中であってその逆をいく貴重な存在である。 人間のうまみがこの人の本職とする漬物にもあらわれ一度食したらやめられぬとは衆目一致するところ。

イブシ銀のような性格も又クラブにとつても得難い存在である。

① T 9.12.1 ② ㈱武藤商店 ③ 代表取締役 ④ 49



綿貫 利次

クラブの古参10年1日という言葉があるがよい意味でこの人は正にその通り、その円満さ篤実さは今も変わらず、まろやかな人格は誰しも一致して認めるところ。 会社にあつては常務取締役として一手に社内を取仕切つて後輩の信望も厚く、株式会社須貝の現在あるはこの人の力であることも見のがせないところ。

一面内にかくされたファイトは今尚セールスのとして第一線で活躍していることを物語っている。 ナイーブな性格が人を惹つけ善きにつけ悪しきにつけよい相談相手となつてくれる得難い人の一人である。

① S 4.9.24 ② ㈱須貝 ③ 常務取締役総務部長 ④ 43



若原 和弘

期待の新人 温厚、篤実な人柄、商売熱心も人一倍、それがクラブの主旨と相俟つて将来を嘱望される人と見てよい。今日のあらゆる企業に普及し、必要とする包装資材を専門に取扱ひ市内のデパート等に一手に供給している北日本産業社の社長、人柄は誠に温厚、しかも真面目、会合にあつても自ら受付にすわり終始その席にあつて最後までその責任を果たすという気概をもつた得難い人である。 おそらく将来はクラブの幹部となって発展に寄与することを確信する。

① S 9. 10. 30 ② ㈱北日本産業社 ③ 代表取締役 ④ 54

会員プロフィール

小売部会

① 生年月日 ② 勤務先 ③ 役職 ④ 入会年



池ヶ谷 栄一

池チャンの愛称でミーティングでは仲々の卓見を披露する。クラブでは貴重な存在であるこの人のリードで難問題がスムーズに治まった事もしばしば、執行部にとっては時の氏神としてまことに有難い会員ではある。趣味の土鈴やきものはその域を外れて病膏盲に入る程のこり様、アルコール、ギャンブルすべてダメの此の人にはうってつけのお道楽。一方商売熱心で美容健康器の普及販売にも力を入れて居る。ベルトの穴を一つ縮めるのに苦労されて居る中年太りのオジン方に大変効果ありとか、尚青申会でも大活躍中である事は有名。

① S 4. 8. 2 ② 池ヶ谷自転車商会 ③ 店主 ④ 38.1



市橋 清捷

船具漁具の三洋電気船具KK市橋長平社長の御曹子。 その毛並みの良さは会でもピカ一、最早や社業にかけては社長の出番がないと云はれる位息子常務の活躍は素晴らしい。経営能力企画力は抜群で部会でも何時の間にかトーキングのイニシアチヴをとって進行リードして行くと云ふ天晴れな若武者である。今や入会歴10年になる中堅会員の力量に期待する向きも多い。ヤングに似合はず趣味は囲碁とか。本人は岡目八目のザル碁とケンソソするがどうして中々の腕前と見た。ただ会員に同好者が少いのが残念とのこと。

① S 17. 12. 11 ② 三洋電気船具㈱ ③ 常務取締役 ④ 46



伊東 良孝

釧路北網地方唯一の政府登録国際観光ホテルであるパシフィックホテルの営業部長としてその手腕を存分に発揮して居る。中村社長の信望も厚く若手とは云え大いにその将来を嘱望されて居るとか。クラブにとっても新人乍ら最も頼もしき人物である。又今後クラブの構成業種が100名近い発展を予想されるとき理論的指導者として又スポークスマンとしての力量が最も期待される一人と云えよう。益々多忙を極めるなか長男尚悟君の誕生は子ぼんのうだけに恐妻家の仲間入りも近いことだろう。

① S 23. 11. 24 ② 釧路パシフィックホテル ③ 取締役営業部長 ④ 55. 7. 11



小林 久雄

コバちゃんも今や貴重な存在となったチャーターメンバーの1人。クラブ事務局長、副会長を経て第10代会長を歴任、その他時計貴金属組合長、町内会役員、ビール会幹事等々八面六臂の大活躍、今度瀬村新会長にバトンをゆずって相談役等と云ふクラシックな所へ殿堂入りしたがまだまだアデランスの世話にはならぬと張り切って居るナウイオジンちゃんである。会長在任中はお得意のニコボンでウルサ型の古年兵をよくとりまとめた実績は何と云つてもビカビカー。クラブの大御所的存在として今後も何かとマトメ役に御苦労をかけると思う。尚一層の御尽力を御願いしてやまない。

① T 9. 12. 13 ② 小林時計店 ③ 店主 ④ 37. 2



小林 善雄

入会が昭和50年でまだ数年しか経て居ないが早くもクラブ運営の元締めである事務局長（兼会計）の要職について立派にその任を果たして居る。人をそらさぬ物腰の柔らかな応待は会随一のゼントルマンの名に恥じず、その温厚篤実な人柄は全会員の尊敬してやまない所である。又秀れた経営の手腕を以て丸共小林商事をガッチリ守って居る頼もしい2代目でありデスカウント業界でもまとめ役のトップとして貴重がられて居るとか。趣味のカメラ、園芸の腕前はセミプロ級と専らの評判。

① T 13. 8. 8 ② 丸共小林商事 ③ 代表取締役 ④ 50. 9. 7



佐藤 六郎

六チャンの愛称でクラブみんなから親しまれて居る好々大人。アスナロの歌の作詩作曲家と云ふ器用人であり、宴たけなわになると必ず大人の音頭でクラブ歌の大合唱が始まるのがおきまりのコース。すぐれたアイデアマンで会にとつては貴重な存在である。晩酌二合でパターンキューと云ふ模範亭主でもある。今は数少ない南大通の老舗の店主として常に前向きに商売と取り組んで居る仲々の勉強家。名監査役の将来に期待する声も大きい。六チャン何時までも元気で頑張つてネ。

① T 15. 2. 16 ② 丸八佐藤商店 ③ 代表社員 ④ 38



佐藤 和安

宮地小売部会長と名コンビを組んで良きアシスタント振りを発揮して居る副部会長である。完全に息の合ったピツタシカンカンの取り合せで進行される部会はこの人の適切なリードでまことに和やか。普段無口な会員も思はずつられて発言すると云ふ事もしばしば。いつもお芽出度い商品にかこまれて居る故か、いかにも物腰の柔い商人中の商人と好評である。奥さんとのラブロマンスも有名で子煩悩愛妻家の序列ではトップ級ではなからうか。末広がりに商売、家庭共に繁昌されんことを祈る。

① S 24. 7. 10 ② 末広屋 ③ 営業部長 ④ 54. 7. 7



佐藤 光嘉

昭和38年鳥取にて開業、現在は春採でアルコールと食べものは何でも揃って居ると云う、ウラヤマしい限りの④佐藤商店の店主である。お年はイササカ召して居るがお祭りの行列にも積極的に参加すると云ふ気の若い事ではクラブ随一との評判である。小林久、武藤会員と共にT9の同期の桜。元老3人組が健在な限りアスナロ家は御安泰と云はれて居るが若手会員は熟年会員を大切に亀の甲から大いに商売の知恵、生活の知恵を十分に汲みとって頂き度い。

① T 9. 7. 10 ②④佐藤商店 ③店主 ④ 55. 4. 7



清水 武敏

書店経営者には勉強家が多いが、シーサンは別格の勉強家と云えよう。若松町商店会の顔でもある彼はエアポケット化されつつある共栄大通り街の発展に期待される一人である。賢夫人は元教育委員、長男は東京地検の魁?検事、次男は後継者、そろそろ孫を抱きたいことだろう。会歴は古いが一時健康を害し休会が長かったので、出番がなかったが、そろそろ若手会員の相談役としては適人で云い換えれば彦左衛門。小売部会恐妻会会長。

① T 12. 3. 11 ②④清水堂書店 ③代表取締役 ④ 40. 11. 20



中川 章

10周年当時はタレントも顔負けと云われたクラブ切っ手のクリスタルボーイも今や部会では研修企画の中心的存在であり、そのルックスにもやや渋みが加わって来て現在では最も頼もしい会員に成長して来た1人。大変自己に厳しい面もあり商売熱心な姿勢と相まって本店、支店共々着実に成績を挙げて居るとの事、どうか旺盛な研究心と企画力を以てお店、クラブの為益々御健斗されんことを御願いしてやまない。趣味の読書は教養古典物から推理、娯楽と巾は広く寸暇を惜しんで活字に親しんで居るとか、テレビ族の向きには頭の痛いハナシ。

① S 17. 8. 4 ②④中川鮮魚店 ③社長 ④ 46. 5



名和 重保

創業明治40年と云う老舗の花屋さんを堅実に守り続けて今や押しも押されぬ早くもヒノキとなった生花店の若社長。その間北大通え進出ステーションデパート出店組織変更等数々の試練を経て現在の地盤を築く。その温厚な人柄に加えて経営能力は抜群。釧路経済界次代のリーダーとして業界からも嘱望されて居る由。又多忙な商売の合間を見てはレコード鑑賞に興じ時折り愛妻との旅行を楽しみにして居ると云ふやさしい一面もある好青年、部会でもしばしば卓見を披露して呉れる有難い存在である。御店益々の繁昌を祈る。

① S 23. 4. 23 ②④名和生花店 ③代表取締役 ④ 49. 7



畑 稔

56年入会5人組の中では、松浦会員と共に20年代生れ。仕事一途のマジメ人間(?)とスポンサーの評ですが、趣味はクラシック音楽鑑賞との事うなづけます。水産関連企業の少いクラブにとっても大いに期待するところ。30才で独立、オーナーとしての苦勞も多い事でしようが、メンテナンスの需要は見通しも明るいのではなかろうか。最北端稚内出身、2児のパパで子煩悩ぶりは有名。

① S 20. 3. 15 ② 畑電機㈱ ③ 取締役社長 ④ 56. 10. 7



樋田 恵悦

明治43年北大通りに呉服店として創業したマルブン樋田の3代目、ダンディな若大将にふさわしいエレガンスな店レジスショップの長崎屋店々長として頑張っている。若さに似ずその経営手腕は流石で店員教育、躰等は日夜勉強を怠らず店長の責任を十二分に果たして居るとの事、特に女子店員の間では好評でトレードマークのおヒゲはタイロンパワー張りでよく御似合いデス。ゲレンデスキーがお得意の好青年に今後期待してやまない。新婚ホヤホヤ。

① S 28. 1. 7 ② 長崎屋マルブンBiB ③ 店長 ④ 54. 4. 10



平岩 政義

道銀ビルの3Fにある石油業界の雄、北日本石油KK釧路支店長代理として活躍中のニューフェイス。次代のアスナロクラブを背負って立つ若手ホープの貴重な一員として期待されて居る。会社が北洋漁船の洋上給油に独自に成果をおさめて居るがこの人も独自にユニークな企画アイディアを縦横に駆使して支店長の良き女房役として十分その責任を果たして居ると社内でも好評である。釣りキチ三平顔負けと云う趣味のツリは矢張り下にキチがつく程とかとにかく好感が持てるスポーツマンではある。

① S 12. 7. 26 ② 北日本石油㈱釧路支店 ③ 支店長代理 ④ 56. 4. 1



本間 鉄夫

大型店進出問題でゆれにゆれて居る釧路商店界にあって断呼その堅城を保持してたくましく成長して居る十条サービスセンターの営業部長として活躍中である事は衆知の事実。十条シンクタンクの貴重なメンバーとして持ち前の企画力をフルに発揮して着々その成果を挙げている事は御同慶の至り。オーバ、ワークから一時入院等のトラブルもあつたが好きなマージャンを断つての節制で現在はまことに快調と御見受けした。ヨーク堂の開店でその影響や如何に。これからが真の正念場、呉々も自重自愛ますますの健斗を祈る。

① S 12. 9. 2 ② 十条サービスセンター ③ 取締役第二事業部長 ④ 45



宮地 良彦

老舗宮地菓子舗の3代目。唐模様どころか堂々と釧路菓子業界のトップクラスに君臨する若手経済人のホープである。入会間もなく事務局次長を経て現小売部会長、商売多事多忙を極める中クラブの運営面ではよくこまめに走り廻り姑、小姑の多い部会でも決してイヤな顔せずグチ一つこぼさないで頑張つて呉れる才色兼備のハンサムボーイ。学生時代野球の名選手として大活躍した故か野球の話になると目が無く時には午前様も辞さないとか、一面奥さん孝行子ばんのうの点では佐藤和会員と双壁をなすとの噂モッバラ、心から御苦労様と申し上げる。

① S 21.1.3 ② ㊦宮地菓子舗 ③ 専務 ④ 44.9



最上 勇

稀少価値となったチャーターメンバーの1人。2代目事務局長を経て7代目会長を歴任。今やわがあすなろクラブの顔と云っても過言ではあるまい。例会部会のディスカッション、フリートキング等すべてモツちゃんのリードで始まりモツちゃんの手締めでジ、エンドと云う多士多才の企画力抜群なリードオフマン。不惑をこえて一念発起グリーンクロス店から独立してあすなろ商会を設立したがその意気たるや、まことに壮。祭典ビール会連合会等諸行事のリーダーとしてもエネルギーに東奔西走して居るが最近体調やや芳しからずとか好漢異々も自重自愛の程を望むや切。

① T 15.3.28 ② あすなろ商会 ② 代表取締役 ④ 37.9



森下 勇

5代目事務局長を務めたがその名局長振りは仲々好評であった。清水会員と同期だがかつての若手ホープモーションもすっかり箔がついて重厚さが加わり今やクラブの重鎮におさまりつつある。商売柄健康管理、医療には造詣が深く会員の身ノ下相談やカウンセリングに貴重な存在でもある。又青申会に於ても池ヶ谷会員との名コンビで活躍して居りその実績は高く評価されて居る。お嬢さんがドクトレスの卵として勉学中とか、お芽出度い限りのモーションを今後のアスナロのリーダーとして期待する向きも多い。

① S 10.12.12 ② モリシタ薬品 ③ 店主 ④ 39.9



横山 寿人

六ちゃんと同じく南大通りで頑張つて居る化粧品小間物の店つるやの店主。扱い商品にふさわしくその人柄はまことに温厚で人ざわりの良さは会員の中でも一級品。その福德円満な性格世話好きリーダーシップを買われて町内会長、民生委員としても大活躍中であり、クラブのレクパーティー等でも企画実行力に於てこの人の右に出るものはないと云はれて居る。多忙な商売の合間にはカメラをブラ下げての旅行を楽しむと云ふエレガンスな一面もあり趣味でたしなむ詩吟の腕前はすでに師範格とのこと一度御披露を御願したいもの。

① T 14.4.30 ② おしゃれの店つるや ③ 店主 ④ 41.5

顧問



横地 重幸

昭和37年2月クラブ発足と同時に入会、2代目会長として昭和40年から42年まで3年間基礎づくりに手腕を発揮、今日の発展に大きく貢献された。47年12月退会、49年1月顧問に就任現在に至る。釧路中央青果欄社長として、市民の食卓にのぼる青果物の大半はこの会社によって、まかなわれるといつても過言でない。革新市政当時に開設された中央市場を、正常な運営にのせる迄のご苦労は並大抵でなかったと聞いています。常に陣頭にあつて指揮をとられるこの人に、その苦斗のかげりが見えないのは、人徳の賜ではないかと思われます。日課のマラソン歴は既に15年市民運動会、顕原マラソンの常連で、知られていないが厚岸駅伝鶴居マラソンの生みの親でもあります。ランニング姿で常に心身を鍛えておられることは私共の範とするところです。今後共道東経済界発展のため、又クラブ発展のため、ご指導を切に望むものです。

主な役職

⑨釧路中央青果欄社長
釧路走ろう会々長
釧路体操連盟会長
釧路フォークダンス協会々長
釧路あすなろビール会々長
釧路地方交通安全協会副会長
釧路市スポーツ振興委員
釧路商工会議所議員
釧路中央市場運営改善委員長
北海道市場協会常任理事



「新人会員と語る」

昭和56年9月9日 釧路パシフィックホテル



出席者	工業部会	加藤	会員(入52)
		吉多	会員(入54)
	卸部会	若原	会員(入54)
		淵本	会員(入55)
	小売部会	伊東	会員(入55)
		樋田	会員(入54)
ゲスト	創立20周年記念 実行委員長	儀俄	会員(入37)
司会	創立20周年記念 実行委員会事務局長	小林	会員(入37)



小林 入会間もない会員にご足労を願い、フレッシュな立場から現在の会の在り方についてどの様に受けとめているか、又将

来に向ってどの様な展望をもっているのか、20年の節目にある今日、大いに語っていただくため座談会を企画しました。元老の立場から多少の助言も必要と考え儀俄委員長をゲストに招きました。19名で発足したクラブが55名の構成をもつ迄の発展した集団になった訳ですが、先づ現在の会の運営にスポットを当てて見たいと思います。はじめに委員長から一言お願いします。

儀俄 この座談会の人選は、わりに会員の切言



の浅い若い人が主体なので20周年を契機に今後5年10年先に、クラブがどうなっていくか或いはどう運営したらよいか皆様の

忌憚のないご意見をおききたい。



伊東 入会丁度1年経過ですが第1点は信条の人和すと云うことで数多くの人と知ることが出来た。第2点は自分の知らない

分野、外部の営業の数々を知り刺激があった。

小林 比較的年輩で入会の若原会員は、

若原 私は釧路に居住して20年、クラブに入会して2年になりました。色々な業界の方と付



き合が出来た事、更にゲスト講師の研修が一番プラスと思っている。それに信条は大変親しみやすく立派な信条だと信じている。今後は他の部会の方々との交流も深めたいと考えています。

小林 卸部会では比較的若い花の40代の淵本会員。



淵本 武藤会員がスポンサーで入会しました。最初に感じた事は、思ったより非常に勉強になる会です。いろんな分野の人と接する事で自分なりに成長したと思う。講師による研修で知識と経営感覚が豊かになりつつあることです。例会、研修会の内容を家庭で話すことによって家族との対話もふえ家庭が明るくなりプラスな場面が多くなりました。

小林 工業部会の加藤会員は先輩（元田中事務局長転任）からの引継入会ですね。



加藤 私は51年に釧路市の経済状況、業界事情など全く知識のないまま来鉦しました。転勤前から幾度となく前会員の田中からクラブの話を聞いており入会してから5年半になります。一業種一店と業種が異ついても経営の問題は共通しておりクラブで学ぶ事は沢山ありました。入会間もなく役員を経験しなければ会員の顔も覚えられないし、自分の勉強にもならないと推められて役員になりましたが、この事は例えば組織の運営、行事の進行、また過去現在の問題を処理し、それを将来への展望に導く事などを教えられ勉強させられました。此の経験の中で希望を述べさせて頂くならば、親睦を目的とした行事、そしてゲスト講師による研修会などありますが、会員同志の発表会、例えば情報交換

販売技術発表、討議など会員相互の向上を図るための会合や、会員の前で自分の意見を発表する事で話す技術を向上させると云う機会がもっと多くあれば希望しています。

小林 入会2年目になる50才台の吉多会員は、



吉多 私は此の様な団体や組織に加入した経験はなく多賀会員に推められ50才になってから入会したのですが、クラブに入っ

た事によって、今迄せまい幅で仕事を進めていたが数多くの会員を知る事によって物の見方と幅も広くなり、職業が違ついても勉強することが多く得ることが多い、希望を申し上げれば所属の部会を多くして若い年代の会員もふやし、その様な人の意見をどしどし取り上げて行くことも今後の会の発展のため必要でないかと思っております。

小林 老舗で育ち生すいの釧路っ子で20代のホープである樋田会員は、



樋田 入会する前は東京で生活をして居たので釧路の事は良く分からなかった。親父に、こう云う会があることをきき小林(久)様

がスポンサーで入りました。釧路は不便な街で好きな処ではないと自負していましたが、入会して多くの経済人と接し実際に動いている経済を知り、又経営者から色々な話をきくことで興味を持った。一番嬉しかった事は自分の父と同じ年代の方でも、赤裸々に若い感覚で話し合っている。例会でも云いたい放題云っている様でも「人と和す」信条を守りルールはないけれど一定のルールを守っておることに感銘を受けている。若い人は一步間違へばルールをはずれてしまう恐れがあるがクラブには「人と和す」信条を守り年輩を問はずに対等に話し合ってくれる事がうれしい。今後とも信条に徹し、自分を生かすために努力をしたい。

伊東 全く同感。清水、最上先輩が真剣にやり合っているのを見て若々しく驚きを感じる。考えていた事は、自分の所属企業のために生かされる勉強がほしい。例えば新入社員のための講習、各種手当、規程の勉強会、中堅幹部のための無形のクラブとしての勉強会、中小企業が共に抱えておる悩み、車輛管理、旅費規程、求人対策、税務対策、持家制度、給与妥当額の勉強会がほしい。例えば熱管理に目を向ければ高谷会員を講師にソーラシステムの基礎的講座も出来ると思う。

時代を先取りしてOA導入についての指針を与える研究発表会、そこで行きつくところは研修の時間の問題ですが管外研修、家族レク、クリスマスと年3回の空白月を可能な限り例会を持つべきと思っている。

小林 過去には持家制度、賃金ベース交通安全講習もやっており特に賃金問題については10年近く続けてやりましたが、会員構成の中が広く社員教育にしても、給与ベースにしてもそれぞれのハンデもあり、部会に於て実態をつかむ形に変わった感がある。

レク、管外研修、クリスマス等については年の1/4が例会を開いていないことは今後の課題として次代の執行部にぶつけて行きたい。

一通り皆様のご意見を伺いました、そう云う事で委員長のご意見は

儀 伊東会員の身近な問題の研修につきましては、発足して3・4年の頃は現在の部会組織でなく総務、研修、厚生部に分けて、それぞれの部会がデーターをとり積極的に研究をやり実績を揚げました。広告、通行量の調査などもやりそれなりの効果がありました。只今、司会者も云はれたように、一業種一店の構成の中で年商何十億の方も居られるし、何百万、何千万の方も居られ、又従業員もお1人ぐらいの方も居られる。その様な事でクラブの組織をかえたことから若い会員の方には、物足りない面が確かにあると思う。この事は研究課題としてテーマを与へ今後やつ



てゆくのがよいと思う。給与については各企業の実態を調べた上で、中央、地場の情報のもとに年次、月次のテーマの中で研修することが必要と考えます。私共最初からの会員で多少マンネリ化した面もありますが、年度毎の執行部が、新しいアイディアをもつて進んでいます。1つの例として日銀の中で例会を開き支店長の講師でお話をきいた訳ですが普通では日銀に入ることはないのではよりクラブと云う1つの組織で出来ます。その様な事でいろいろなことも可能です。皆様からご意見のあったことも積極的に取り組むべきだと思います。

小林 では現在の運営について希望、或いは不満がありましたら

若原 例会の出席率が非常に悪い様に感じている。皆様は重要な立場にある方ですから各々都合もありましようが、月1回の例会をどの様に受けとめておられるのか、真剣に考えてもらいたい。会報によると半数位しか出席者がいないと云う事は大きな問題である。管外研修にしても1泊と云うこともあるがあまりにも少い。中標津町の研修にしてもクラブが来ると云う事で、対手側は万全の体制で時間を都合して研修にのぞまれておられるのに、あの様な出席率では物凄く負担を感じた。会員はどの様な認識を持つておるのか、これは真剣に考へるべき大きな問題と思う。

小林 委員長も述べておりましたが総務、企画厚生部の組織で運営して来たが分散になりや

すいと云う反省から現在の部会に変わった訳ですが、或会員の提案でプロジェクト委員会を設け、専門的に課題に取り組むべき時期にあると指摘もありましたが、会員の大多数は業界の幹部であり、地域社会でも重要な立場で活躍しており、これ以上会合を多くすると出席率の低下を招くと云う事で中止になりました。現在の三部会構成について。

儀俄 三部会構成には異論はないが、何か1つのテーマのもとで研究、勉強することも必要と思っている。私は卸部会で卸の会員とはなにかと逢いますが、他の部会の会員とは顔は知っているが話しをする機会がない。その様なことで1つのテーマでもっと互に勉強し合うことも必要でないかと思う。

小林 20周年記念の各委員会の会合を見てますが、真剣におそく迄頑張っています。テーマをしぼって勉強会をする事は現在のクラブでしたら可能と思いますが。

若原 自分は卸部会ですが、小売工業部会との交流が少ない為に2年たった今でも会員名簿と人物が一致しない面があり、淋しい感じがしておる。

小林 今年の家族レクに顔の知らない人が居たのでぎくばらんに聞いたが、どしどし聞いた方が良い。

儀俄 伊東会員が指摘していた年3回は多いと云うことだが、親睦を深め「人と和す」の精神からも研修団体としては必要と思う。

伊東 多いと云うのではなく、例会を別にうけてほしいと要望しているのです。自由な発想でレクを企画することには賛成です。

小林 他に色々な団体もあるが、家族レク、クリスマスを催して居るのは当クラブだけで、そこに「人と和す」信条の良さがある。レクがあっても今後は必ず例会を開く様執行部に考えてもらう。

伊東 管外研修は各部会でやるべきと思う。出席率もいいし目的も達成出来る。そして、その成果を三部会の代表で発表しあうべきで、

今迄の様に会報で流すだけでは研修の意味がない。

吉多 大賛成です。発表するとなれば研修の意欲も違ってくると思う。

伊東 昨年希望をとつた時、工場を視察したい部会もあれば、商店街スーパーデパートを見たい部会、或いは卸団地を見たい人も居たが、それを一つにまとめて行くことはないと思う。それぞれの目的にかなった処に、日程を都合して各部会が研修に出ることが一番ベターではないか、これこそ部会重点のポイントと思う。

若原 かりに各部会が毎年やれない場合は、今年はどこかの部会が当番を決めてやってもいいのではないか。

加藤 当番が決った部会に他の部会がオブザーバーで参加する方法もある。

淵本 全員参加の原則からもその方法に賛成。

伊東 忙しい時期は各部会によってちがうと思う。シーズンのなものもあり9月例会に替えると云う発想が固いのではないか。

樋田 反省点もあるのですが、昨年小売副部会長で、役員会、例会、部会と出席も良かったが今年は役員でないので出席が悪くなった。仕事がなくなると出なくなる。此の頃痛烈に感じていることは何かやる時は末端の会員にも仕事を分担すべきだ。部会の活動も、部会の仕事テーマを決めてやるとそれを発表する。例会にも出席が良くなる。記念誌の仕事もらい、さあ、やらなくちゃと意欲が出て来た。執行部が仕事をつくって行くことは大きいと思う。

小林 部会長には古い人、副長には新人で会の内容を勉強してもらうのが慣例となっていますが。

儀俄 樋田会員が云はれたが、何か役が当れば一生懸命やるけれど、なければ失礼だが投げやりになることは、どの会でも、クラブでもある傾向です。そこで研修を充実させる意味からもプロジェクトなり、或いはテーブルスピ

一時的に発表会や研究発表を例会に行うと、一生懸命勉強もしますし出席も良くなると思っています。確かにそう云う事から考えますと会の運営自体に問題があったと云えます。

小林 希望、不満をおききしたのですが、それでは視点を将来に向けて意見を伺います。先づ来年からでも直ぐ実行してもらい度いこと5年10年先のことも結構です。

加藤 基本的には5・10・15年後でも変わらないと思う。信条、会則にもある様に変つてはならないことです。只中味として平均年令が若くなると2代目3代目の方とか経営者以外の次の立場の方が入会してもらふ事も必要でしょうし営業の第一線で活躍している人を加入していただく様に積極的な方法をとってもらふ事が、会員の構成が、現在よりもバラエティーに富むことになり、ひいては研修の目的が厚くなり深まることになるのではないかと思います。次にプロジェクトの問題ですが現在の三部会構成には基本的には賛成ですが、伊東会員指摘の様に、新入社員教育とか営業員の基礎訓練についての、あすなろらしい何人かのプロジェクトを組み研究資料を作成しテキストの発表をして、会員相互の勉強に役立つことも必要と思います。プロジェクトにつきましては来期からでも早急に討議しなければならぬ必要課題だと考えています。

伊東 地ごくの特訓と云う様なダイレクトメールがあるが、その様な経営ゼミに多少の予算を支出し代表を送り泣いて来た成果の帰朝研修をやるのも一例と思うが。

儀俄 三部会55名の構成の中では企業形体の中に系列の研修会が必ずあるはずで、私も今春熱海の経営ゼミに参加しましたが残念乍ら発表の機会がないことです。不勉強については反省してますが、会員の中には必ずその様な方も数多く居られると思うのでテーブルスピーチとか研究発表をやってもらい会員皆様も勉強の機会を受けると云う事は必要です。

小林 今迄も年に2・3回のフリートーキング

の機会があったが一部会員のみの参考に終わっている感もあるが、その点について。

若原 フリートーキングについては何月はその時に当てると云うのも1つの方法ですが、例会2時間の中で各会員が3分位での業界スピーチとか提案をしてもらうのも一案と思う。先般からの話題にある部会の構成にしても、どの部会にも該当しない部門が増えて来ている。例えば保険業、OA部門なども卸か小売か判別しがたいので、細分化の方法で四次産業的な部会も必要ではないか。

儀俄 確かに四次産業部門は増える傾向です。四次産業として認識の上に立つた部会構成を考えて行くべき時代です。

小林 前に司法書士の方が入会したが、所属部会がはっきりせず工業部会に所属した。1つの方法として第1～4部会編成にして年次毎に部会が変わることによって交流認識も深まる。このことは将来の課題として皆様にやってもらう仕事です。皆様はいずれは会長をやってもらう方達ですからクラブの運営、組織について色々夢や空想があると思います。フェイトをもつて語ってもらい度い。

儀俄 空想でなく構想ではないか、皆様はリーダーとして必ずやってもらう訳ですから。

淵本 15年後に私が会長になったらと云う事で空想を述べます。私も年に1週間は経済講座の研修に出席していますが、必ず出てくる問



題は先代と2代目、3代目のことです。そこで引継点の役目として青年部の存在があります。私は青年部を三部会の下部機構として設けて、案の計画は部会で決定しても細部の実行はすべて青年部に移しクラブを活力あるものにしたい。

儀俄 淵本会員ご指摘の様に年代が年とともに益々バラエティ化して来ます。今クラブでも花の30代、40代と云われて来ています。

部会とは別に、若い方は若い方で1つの課題に就て勉強する意欲は自然に生れてくると思っています。青年部の形体も可能性はあります。

淵本 先代の会長さんも居られるが今迄作って来た路線はがっちり守って行くべきことです。先取りして青年部を設けると云うことは私の人生経験から考えていた事です。例えば20年後は私は60台になります。その時を考えると当然青年部の活躍が必要になります。若い時期に人生の経験、経営者としての基礎づくりを体験させることはクラブを活発にする原動力だと思います。

小林 確かに時の流れを感じます。20年前の子供が今父親となって子供を連れて来ています。今若い会員は幼児を連れて来ているのを見ても年代のひらきを、痛切に感じます。次に会員構成ですが、私が会長を引きついだ時は40名を割っていたが積極加入対策で50名台に伸びましたが、団体として活力を持続するには或程度の人員は必要だと思います。

淵本 現状の構成で充分ではないが60名位が限度と思っている。三部会構成を厳守するとすれば運営、出席率から考えても無理のない人員です。かりに80名位になると、いろんな面で支障がある。一部会25名以上になると運営しにくいのではないかと思います。

小林 クラブの職業分類資料によると未加入の業種が多く、増えて行くべきでないかと思う。特に水産の都市でありながら関係業種の会員が居ない、釧路のあすなろとして淋しい。

伊東 私は人数にはこだわらない考えです。ク

ラブの資料を見ても半分以上は空白です。未加入の業種を積極的に加入させるべきで部会運営がむずかしくなったら、若原会員指摘の様に、それぞれの新しい考え方で部会を再編成することが望ましい。

儀俄 確かに再編成、再分割の方向に進みつつある。要は運営の問題ではないですか。

吉多 15年後に目標を置いて80とか100位に見てはどうですか。若い人をどしどし入れることによって15年先を考えると40台50台の会員構成になる訳です。当然部会も増えて来ますし運営面も変わってくると思う。但し15年後ですが。

小林 目標を80名においておかなければ現在の50名台ではクラブの発展は目に見えないのではないか。

吉多 例えば出席率を半分に見た場合100名構成では50名になり現状のままだと25名位しか見込まれない。発展を期する上からも目標をおくべきで、流れ、変化に対応するためにも必要です。

小林 此の点について委員長はどう思いますか

儀俄 15年後ですか、これから吾々も大分老人化して来ます。現実若い方が、クラブの現状を冷静に見ている訳で、私等はじめ60前後の人が何人か居られるのですが、30台の方と一緒に和やかに話が出来るのも、あすなろクラブだから出来ることで大変いいことだと思います。そして若い人のエネルギーも吸収出来て、いつ迄も若い気持でおれることです。そこで吉多会員ご指摘の様に10年15年後を考えた時にバラエティーに富んだ会になるためには50人から70人になり80人になり或いは100人になる形をたどるべきで年寄りも自然に年代になったら下りて行けばよいのです。たまたま10周年のときどなたかおっしゃっていましたが、研修団体であり乍ら5年10年つづくのは大変おどろきだと云う発言がありましたが、そう云う面では特異なクラブであり、それだけ釧路市に於ける地位もはっきり出来た

事です。そう云う面からも長期の構想は必要になります。

伊東 そうです、そのためにも排他的であってはないと思う。人と和すと云う理念から考えても意欲のある人は積極的に受け入れるべきだと思う。

小林 クラブ創立時の構想では各地につくる考えでパッチの下に釧路を入れた訳で根室は下に根室を入れる考えでした。このパッチは記念のためにも記念誌にのせます。先般の中標津研修に訪問した際、関係者にクラブ生いたちの資料を見せたのですが、初めは宗教的な研修団体と受け止めていた様ですが、実際に会員と接して見て、信条のもとに信念をもった研修団体であると高く評価していました。中標津でも是非作り度いと意欲的でした。この辺のことも今後若い人が受けつぐ課題と思っている。

加藤 これから15年後を語ると云う事ですが、委員長、事務局長始め諸先輩が今の私達と変らない年代で大変な苦労を重ねて、クラブが20周年を迎えると言う歴史を作ってくれたわけです。最近私もふくめ若い会員が増えたのですが、そこで逆に質問をするのですが、若い会員がクラブに取り組む姿勢について、どの様に受けとめておられるのか又、今後こうあるべきではないかとか、参考迄にご意見をお聞きしたいのですが、委員長いかがでしょうか。

儀俄 私達がクラブを作った頃の20年前は、第一線で活躍していて、これから会社なり自分の事業を育て大きくして行くと云う理想のもとに「明日は松の木になろう」と云う目標があって、このクラブが生まれました。その様なことで当時は店主、社長はわりに少く、営業部長、常務、専務クラスが多かったのです。従つて、行動力もありエネルギーであり個性豊かな理論家、実践家が多かった様です。現在若い方がどんどん入って来られています。が積極的に取り組む姿勢は20年前と変らなく

これは伝統と云いますか、簇教育が生かされていると云いますか、あすなる精神と云えましょう。只、多少「覇気」がない様に感じています。一面反省しておることは会を見てますと旧い会員が何かマンネリ化している方も居られます。出席率にしましても、積極的に若い方とふれ合うことによって若い人のいい面を大いに取り入れて行く努力が少ない様に思っています。

小林 その様な方向を考えて見ますと創立期は鍋底景気で業種を問わず一丸となって企業を防衛しようとする熱意で出来たとも云えます。高度成長、岩戸景気、神武景気が一転して、一次二次のオイルショック、200 海里的のあおり、更に低成長の水面化経営と、冷えきった不況下で今後私達が経営を維持して行くには若い方と手を取り合つて勉強して行かねばならないし、そのことがクラブの発展につながる道と思う。そう云う意味もふくめ一番若い樋田会員は何か夢がありますか。

樋田 私が会長になるとか、そんな事には関係なく全く突飛な発想としてきて頂き度い。「郷土を愛する」ことはクラブに入会し釧路に愛着が生まれ本当によかったと思っています。一步前進し郷土を育てると云う観点に立つて考えて見ますと釧路には祭りが少いと云う不満があります。クラブとして厳島神社のお手伝いを、苦労しながらつづけている訳ですが、商売と祭りのかわり合い、影響は非常に大きいと思います。あすなる的な発想で釧路を代表する様な規模の大きい祭りを計画して見たらどうだろうか、今直ぐと云うものでもないが、水陸併せた産業と郷土芸能をマッチさせて更に青年層をからませた「あすなる郷土祭り」の構想です。

若原 オフレコとして聞いてほしいのですが、新しい会員を増やして行き度いと云う事は、皆んなの声でもあり将来の展望として必要だと思う。その事で三部会がいいのか部会を増やすのがいいのか論議を待たなければなら

いが、当然或る限界が生じてくる。袋だたきに合うかも知れないが或る意味では定年制を考えなければならない問題です。そうしなければ新しい方が入りにくいし入会しても新旧の壁につきあたり弊害が生れてくると思う。そのためにもクラブとして早急に折衷案を立てておく必要が出てくる。10年後位には当然問題になるのではなかろうか。

小林 勇気ある提言です。実は5年程前に定年退社の会員或いは準ずる方に対する処遇で、今田会員が議長になって臨時総会的なことでの問題一本にしぼって会議を持ちましたが論



議まちまちで結論のないまま終わった経過があります。これは大きな問題です。

若原 それでは私は身を引かせてもらおうと云うことにでもなれば大変なことなので、将来の問題として研究しておくことにしてほしい。

小林 老人クラブの声もききますが、OB会とか参与会員としての位置づけの必要がある様にも思います。

伊東 規程にはないと云う事ですが、経営者として例えば80才になられても所属企業の中で第一線に立って経営に責任を持っている間は会員としての資格を失うものでなく定年を論ずる必要は全くないと信じます。息子さんに譲ったとか、経営に責任を持たなくなった時に初めて会員の資格を失うのではないのでしょうか。年令によって資格を論ずることはおかしいし妥当でないと思う。

若原 確かに正論です。

儀俄 確かにそうですが、年代の差が50も60もついてくると、一寸その辺で融和感や信頼度が薄れてくる恐れもあります。淵本会員がおっしゃった様な青年部を作るのも組織体としては必要になってくると云えます。

伊東 デパートのブックコーナーではOAをたっているのは小学生の後半と中学生、高校生の前半です。あの人達が本を片手にOAのプログラムを組んでおり15年後には確実に社会に出る訳です。そうして、10年、15年後には小さなお店でも家庭にもOAが当然導入されます。昔のカンに頼った商売や経験だけでは経営はなりたたなくなり、必然的に商売を譲ることになり、経営者の早期退陣は促進されて来ます。当然あすなるクラブとしてもあえて定年制をしなくても新陳代謝の道が開けてくると思う。そこで先程申し上げた様にOA導入についてクラブとして先取りの講座を持つとか、ソーラーシステムについて研究しておかねばならない訳で15年後を予測すると私共が想像もつかないテンポで進歩すると思う。

儀俄 伊藤会員が云われた通り、この後の5年10年と過去の5年10年を比較すると大巾な変化です。OA問題にしても、小さな企業でもその企業に合ったものをどしどし導入しているし、当然経営者も若返って来ます。特例はあっても年代層としては矢張り50代60代の経営者が多くなって来ました。だからクラブも今、云われた様に自然にその様な時代になって行くのではないですか。

伊東 今、我々は若いと云われているが、10年後OAを頑具代わりに使っていた人達が、大学を出て社会に出たとき、彼らのやっていることを理解出来なければ馬鹿にされる訳で、その時のことを考え勉強しておかねばならないと思っている。若干のあせりはありません。

小林 今では一般家庭も電卓をソロバン代わりに使っているが、数年前迄は商店でも電算機の無いところが多かった訳です。今ではどな

たのケースにも入っております。OAの導入にしても一般化は時間の問題と云えましょう。北大通りでも数軒の老舗が、いろんな事情で限界を知り閉店しました。10年一昔は今では3年一昔と云えるテンポで変化している。その意味からも対応がクラブにも求められる課題ではないかと思いますが。

儀俄 そうです。あまり先のことはテンポのこともあり無理でしょうが5年先位的をしばらくしてクラブの在り方を考えて見るのが今日の座談会のテーマでもあります。私見ですが、複雑化する社会構造、急速化する減量経営下でクラブも必然的にリーダーの運営の在り方はどうなのか、論議されて来ます。私は強力なリーダーシップをとることより、集団指導型のクラブ運営に移って行くと思うのです。

小林 短期展望の見方から加藤会員は。

加藤 私は会長になったらとか、役員になったらと云う事でなく、クラブが当然進んで行かねばならない過程のこととして、希望、夢を述べるのですが、先程局長がふれていましたが、釧路あすなろクラブの釧路は、各地に作った時のことも考えてと云われましたが、今各地にOBの方がおられます。その方々に、世話役になってもらい5年先、10年先にはクラブのすそ野を拡大して行き度い。もう一点は80名から100名の会員構成になる予測を持つとすれば事務局の体制として専務理事とか、半専従の方が必要になるので、そのためにも今から組織化について研究しておくこともプロジェクトの仕事ではないでしょうか。

吉多 クラブとして事業をやることは危険もありますが、資金源のためクラブらしいユニークな発想で基金造成のため年に一度位の行事を考えて見ては、これもプロジェクトを組む1つの案だと思いますが。

樋田 私は淵本さんの青年部提案に興味を持っています。補足意見なんですけど、今後入会する人も含め若手会員を中心に自由な発想から「クラブの道委員会」の様なかたちのチーム

を事務局の下部機構に於いて体質改善の研究をやって見たい。

若原 これは規約改正にもかかわりが出来来ますが従来の流れを見ますと役員は大旨2年間やっています。任期を2年と決めてはどうですか、運営の展望プロジェクトの研究時間を考えても、その時期に来ておるのではないかと思います。やることが大体決まっているのに選考委員を出すなんて茶番劇だし巷間云われる院制云々もこの辺に原因があるのではないかと。

小林 記念誌に決められたスペースが大体埋まった様なので、まだご意見もある事でしょうが、この辺で座談会の幕をとじたいと思います。これを機会に皆様は部会や例会に於いてどしどし発言していただきクラブのよりよき発展のために中軸となって活躍していただきます様心から望んでやみません。又、池ヶ谷会員始め編集委員の皆様長時間の記録ご苦勞様でした。



特別インタビュー

とき 昭和56年9月1日 ところ ④釧路中央青果株式会社長室にて

“樹”を見つめて20年



ゲスト
あすなろクラブ顧問

横地 重 幸氏

インタビュー
実行委員会事務局 川 口 次長

記 録
実行委員会事務局 推 井 局員

顧問は創立時メンバーでもあり又2代目会長として、基礎づくり時期に3年間クラブの運営に当たられました。20周年を迎えるについてご感想をおききたい。

卒直に申せばよくぞ20年続いたと言うのが実感です。

20年を支えた要因は何でしょうか。

経営の安定向上を図ると言うより、むしろ企業の防衛と不測の損失を如何にして早く知るかが出発点の目的であった訳です。

そこで

1. 会員を信頼しオープンに話し合った。
2. 無理な行事をせず地道に研修して来た。
3. 金を貯めず、他に活動の分野を求めなかった。

以上のことを歴代の役員が受けつぎ常に質素を軸に努力をつづけて来た事です。

20年を節目に今後どのような歩みを期待していますか。

企業経営でも団体運営でも資金力がつき信用が出来た時期が最も警戒しなければならないことは歴史が証明している訳です。私も経営の鉄則にしていますが、クラブも20年で基礎が出来た。会員も19名から60名近くにふえた。クラブの存在も知れた。そこで色々な行事も出来る時になった様に考えてる会員も多い様だが今が一番大切な時であると思って居る。要は歯車を原点にもどし、今最も必要な研修は何かをフリートキングすべきです。20代から60代の会員がオープンに話し合う団体は「あすなろ」だけだと確信している。

現在55業種の会員構成ですが水産基地釧路で会員に水産関係業者が居ないのですが。

会員の積極的増加を求める意見のあることも聞いていることですが、無理をして数をふやすことはないと思う。20年の重みを自然に門をたたく業種があることを信じるのです。会員の質の向上が先ではないか。

あすなろ教のお題目とも言える信条について。

私は信条の信奉者では第一人者だと自負しています。会員のお店が繁盛し、経営が安定してこそ、そこに郷土が在るからです。20年の歴史は吾々がつくり築いて来たもので信条はその歴史の中軸になっていると思っています。会を愛することは仕事を愛することではないですか。厳島大祭の手伝いも頼まれた訳でもなく、全くの手弁当でただ郷土の祭りを盛んにしたい熱意で起きた行動で、求めるものでなく、信念に徹していたからこそ今日迄続いている訳です。人と和すことも、和せなくなった会員は自然退会の道を選べばいいので第一線で働いている以上70才であれ80才であれ会員資格を論ずる必要はないと思う。要は40才50才でもあすなろクラブを愛せなくなり研修態度が悪く老化する会員は去るべきだと信じています。

本日は多忙なところ貴重な時間を、いただき本当にありがとうございました。記念誌は20年の流れを歴史として正確な記録を残したいと編集委員が真剣に取り組んでおります。今後共永く指導助言をたまわります様心からお願いを申し上げます。ありがとうございました。

思いでの記



あすなろクラブ 20 周年記念を 心からお祝いして

初代会長 手 林 俊 夫

あすなろクラブの皆さんが益々元気で、20 周年を迎えましたことを衷心よりお慶び申し上げます。そしてあすなろクラブが創設以来20 才になりましたことは、ひとえに会員各位の御努力の賜物と深く感謝いたして居ります。私も仕事の関係で数年白糠に勤務して居りましたので、クラブの方もすっかり御無沙汰してしまいまして真に申訳なく思っています。

今田英三さん、佐々木政勝さん、不肖私と3 名が設立発起人となり、昭和37 年2 月18 日19 名にて発足し明日に希望をつなぎ、くじけず、素直に、伸びようと、「あすなろクラブ」と名付け、その間20 年風雪に耐え、根を張って、今日を迎えました。創設期は朝鮮動乱による未曾有の好景気も下降線をたどるときざしを見せ始めた頃で、営業活動もいよいよむづかしくなって来た時期でした。シェア争い、販売競争の激化、物価の上昇等、毎日毎日が心を張りつめ、神経をすりへらして居たときでした。そのとき「あすなろクラブ」の良き仲間たちは、お互に商売の情報を交換し、亦研修に、そしてクラブを心のよりどころとして、皆が一生懸命でした。5 周年記念を迎えたときに、祝賀パーティーの席上で釧路新聞社の片山社長さんから、良く5 年つづいたものだと言う御挨拶を頂いたことが未だに脳裏を去りません。それが20 周年の記念日を迎えました。感無量です。

それまでには48 年以降のオイルショックによる経済の冷え込み、200 カイリ指定による釧路経済界の沈滞、大変なことばかりです。しかし50 余名の会員の皆様は、「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す。」のクラブの信條を守り、明日は何ものにか、なろうと努めている「あすなろ」群像です。

健康に留意して、家庭を愛し、企業の堅実な伸展のために大いに頑張ってください。

衷心より「あすなろクラブ」20 周年記念をお祝い申し上げ、今後の益々の発展を祈念して止みません。

思いでの記



「ありがとう、あすなろの諸兄」

ダイカ(株)専務取締役 大 宮 豊 穎

クラブのOBということで、私にまで寄稿の光栄に浴させていただきましたことを、とても嬉しくありがとうございました。

札幌に移って、早や12年が経ってしましまして、その後トンとごぶさたしておりましたが、折にふれ、事よせて、釧路の“あすなろの木”が着実に大地に根を張って、しんしんたる枝葉を大空に向けて伸びつつあることをお聴きするにつけて本当に頼もしく嬉しく思っておりましたが、このたび発会20周年をお迎えになったと承って、更にその感銘を深くしております。

回顧しますと私が入会させていただいたのは不思議なご縁をいただいて、株式会社丸文と云う黒金町の化粧品・日用品問屋に勤めるために、釧路の土を踏んだ昭和38年の夏であったと記憶しております。何分にも「釧路」は生まれて初めての土地でありましたが、当初は単身赴任の身でありましたので、“釧チョン”の気楽さを存分に味わっておりましたのも束の間、道内では一番早いといわれる秋の気配が足早やにやって来て、海岸から漂ってくる冷気に乗って、ポーッ、ポーッと鳴る霧笛の響きに、まだ“よそ者”としてのうら淋しい旅愁を感じることにしばしばでした。

それに加えて、それまでは教職にあったので経済界の事情に疎く、新らたな毎日の仕事についても心細い限りでありました。

そんなときの私にとって“あすなろ”のメンバーに加わらせて頂いたことは物心両面での大きな救いでありました。

釧路の経済界を支える有力経済人の中で“若手の中堅たること、を自負し、!!釧路経済の明日を担うこと!!を自任して、頼もしいターゲットをにかけて相集うグループの一員となって、私はもう「よそ者」ではないと云う自覚、釧路経済理解のための有力な助っ人をえた心強さ、そして釧路への親近感をしみじみと感ずることになりました。

そして間もなく家族も移って参りましてクリスマスのファミリーパーティなども楽しく参加させていただいたことなど、今もって忘れえない思い出です。

家族同伴という訳にはいかない研修会もありました。大楽毛種畜場での雄大な種馬の“大いなる営み、の見学研修”でありました。いわゆる当て馬のかなしさもさりながら、まざまざと見る主役の馬の逞ましき“一物、に我が“物、の貧弱さに打ちしおれた思いも又、ほのかに、ほほえましき思い出です。

×

×

×

×

なつかしいままに、過ぎにし思い出を綴って紙面を埋めてしまうことになって、ハッと気づいたのが「老者は過去を思い、若者は未来を思う」という或る哲学者の言葉です。

私はやはり未来を語らねばなりません。2・3年前(川 湯)での研修会にお招きいただいたあとも社内で教育研修を担当して、こんにち東奔西走、席の温まる暇もない毎日ですが、これからも北海道の産業教育に命を賭けるつもりです。あすなろメンバーとして産業界に開眼した釧路のあの日を基盤として……。

“未来を語る、こそ“あすなろう”の精神ですものね。

クラブの益々のご隆昌を、心からご祈念してこのたびご指名をいただいたご懇情にこたえたいと思います。

あすなろクラブ

20年のあゆみ

・人口159,457人

・釧路、函館間に特急
「おおぞら」運行

・台風9、10号全道に
猛威

昭和37年2月 あすなろクラブの誕生は、19名の同憂が火種となってその輪の広がりでも多数の共鳴者のもとに、引くに引けないことから数度の懇談会、準備会の末、草創の運びとなつたものです。

躍進する青年都市釧路の各業界も近年とみに、一段ときびしさを加えてきた。そうした生存競走のはげしい日々の中から、如何にして企業を育て、健全経営を軌道に乗せる事に業種こそ違え、共通の諸問題を取り上げて、ザックバランに腹を割って話し合い、更に親睦を深めお互に勉強し合つて、大企業の進出に対し、中小企業の活路を求めて
1.販売技術の向上 2.社会情勢の変化のすみやかな把握と情報の連絡
3.会員相互の人格の向上を目指す。そして、明日絵になろうとして真直ぐスクスク伸びる、あすなろの木のように、情熱と努力をひたすら経営にそそぎ込まんとする中小企業の第一線級の集りとして発足を記す。以上は初代会長、手林様の2月17日付の日記の一節である。

かくして、2月18日(日)正午から、末広町灘万に於て創立総会が開かれ19名(19業種)が出席、会則・各行事計画・連絡事務所(事務局)・役員選出等の決定を見、記念すべき、あすなろクラブが第一歩をふみ出したのです。

会 長 手林俊夫(山本商事) 理事 経堂力雄(第一熱原)
副会長 今田英三(ヤスモト) 理事 佐藤元之助(東北海道商事)
理 事 儀俄政夫(釧路石油) 会計 佐々木政勝(宮田消火器)
以上6名の役員が会の運営にあたることになり、更に会費は月500円と決定、例会には2名づつ順番に、それぞれ業界事情の談話を発表し情報の交換を行うことにする。

参考迄に総会当日の会費は150円で、目玉焼きつきカレーライスでした。質素ななかにも会員一丸となって目的遂行のために、立ちあがる意気を感じられます。

3月24日 第2回例会 於 レストラン 泉屋
12:00~13:00 昼食 カレーライス
出席19名 役員会提出の研究部会設置の原案を決定。
各会員の自己紹介をかねたテーブルスピーチを行う。

4月21日 第3回例会 出席26名
談話発表者 儀俄会員(釧路石油) 石油の流通と現況
経堂会員(第一熱原) 石炭産業の見通しと現状
会の在り方、目的がようやく会員に理解されて来て、何かをつかみ、

- ・北大通、共栄大通を
結ぶ地下道完成

明日の経営に反映させなければの熱意が感じとられる。熱いまなざし
真剣な態度がみなぎっている。

談話発表後

きめ細かな研修を行うため、会員を分科会に割り振ることになり役
員会提出の原案を下記の通り万場一致決定。

1. 販売委員会 委員長 清水（丸文橋本）
2. 宣伝委員会 " 瀬村（敷島商会）
3. 経営委員会 " 横地（横地商店）
4. 企画委員会 " 梶（梶印刷）

尚会員の声として、クラブの憲法とも云える信条をつくるべきだとの
提案があり、原案を役員に一任する。

5月19日 例会 19名出席

今回の例会から、会場を東映ホテルを専用することになる。

- 談話者
1. 食品業界の現況 佐藤元之助会員
 2. 印刷技術の利点 梶会員

終つて各委員会より、会合の結果報告があり、それぞれ確認した。

5月24日 第1回研修会 東映ホテル 22名出席

講師 横地会員 主題「初任給と昇給について」

初任給から昇給、又退職金制度の懸案の諸問題に豊富な体験と研究デ
ーターをもとにメスを入れて、聴講者に共鳴を呼び、各業種にわたつ
て非常な参考となり、内容を印刷して会員に配布し指針とすることに
決定。研修の後、会食に入ったが、創立以来初めてのビールを傾けつ
つ、ジンギスカンをつつき乍ら、和気あいあいの中に第1回の研修会
が盛況のうちに散会。当日の費用、1人当たりビール2本200円ジン
ギスカン300円米飯(汁付)170円計670円。

6月13日 役員会

会員より提案の信条について、あすなる精神にマッチし、かん潔な語
調と、親しみやすく調和のとれた文体にすることを基本に数案の中か
ら。 吾等は 郷土を愛し 仕事に徹し 人と和す
に決め、例会に提案することになった。

尚バッチは、会員より図案を募集する事に決める。

6月13日 例会 18名出席

- 談話者
- 建材の実用性 札幌建材社 小沢会員
 - 木工品の近況 渡辺木工KK 渡辺会員

宣伝委員会より、ブロック会議の報告があり、更に瀬村宣伝委員長の
「広告宣伝について」の研修発表があった。実例をあげての解説は会
員に大きな指針となった。役員会提案の信条を原案通り正式決定する。
会創立4ヶ月にして信奉すべき信条が決まったことは会の発展を願う
ことから大きな意義があることと云えましょう。

バッチ図案8月例会迄に会員提出をきめる。

- ・新陽小、開校

- ・東邦交通ワンマンカー運行

7月21日 例会 出席15名

談話者 業界の近況と商店経営のなやみ 佐々木会員
尚販売委員会から社員訓練についての研修会を9月に行うことの報告があった。

8月18日 例会 出席15名

夏バテか夏枯れか会員の出席が過半数を割る。
青年将校の愛称で活躍が期待されている、池ヶ谷会員が「自転車産業の近況と私の経営方針」で談話がある。
バッチの図案決定、小林会員に発注する。
最上会員 社名 業種 移動について提案あり了承。

9月18日 9月例会及第2回研修会 労働会館 出席25名

講師 清水会員 「中堅社員訓練テキスト」
中堅社員の責任と社員養成の重要性を再認識する。
尚終了後、敷島商会提供のニッカーカクテルパーティーが開かれ会員のカクテル研修もあり、即席カクテル「あすなろ」が披露された(青年将校完全ダウン)

10月20日 例会 17名出席

スライド上映による「サービスの本質について」
ホンダモーター提供で松田会員のユーモアをまじえた上手な解説により、社員教育上大きな意義があった。
トヨタ自動車、高丸会員根室所長に栄転

11月17日 例会 15名出席

談話者「衣料品の流通と釧根地方の占有」◎両角浅野会員
「スポーツ用品とレジャー」スポーツハウス窪田会員
会章のバッチ出来上る。300円会員2ヶ割当て着用を義務。

12月15日 例会兼忘年会 於八まき 出席22名

談話者「カメラの基礎知識と選び方」山下会員
「セールス講習テキスト」最上会員
敷島商会提供のジャンペンを抜き大いに気焰をあげ創立初年度の最終を飾った。

- ・人口165,692人

- ・共栄中学校が火災

昭和38年 1月26日 例会 15名出席 泉屋 特別会費1,000円
新年の初顔合せ お互の共通問題についてフリートーキング、会員の抱負等、本年の健康を誓いつつ和気あいあい裡に終る。

2月19日 例会 23名出席 敷島商会工場事務所

第1回工場見学 信条にのっとり、地場産業研修は会員所属工場から行うとの方針で、郷土の銘酒福司の工場見学から始まる。当日小雪ちらつく寒い天候にもかかわらず多数会員が参加、瀬村会員、工場長の説明で工場を一巡後、原酒をご馳走になる。きき酒のコンクールは酒の呑めない横地会員が優勝したのが印象に残る。

3月16日 例会 出席13名

・ 釧路市厚生年金体育館、開館



創立年最後の例会である。総会の日時、例会の定例日の是非、長期無届欠席会員の扱いについて討議を行う。1年間はアット云う間に過ぎ、種々の問題点を残し2年目に入る訳です。入退会者が多かった事は理解、希望、失望等あらゆる団体サークルが一度は経験しなければならぬ初期の試練ではなかろうか。いずれにしても特異な存在として、各業界から注目を浴びつつあることは誠に喜ばしいかぎりである。19名の参加でスタートしたクラブも、年度末には30名の総勢になった事は初期の目的達成に前進しつつある證左であろう。

・ 4月27日 第1期総会 於泉屋 17名出席

第1期決算報告 同事業報告 38年度予算案 事業計画案の検討など具体的な話し合いの後、原案通り可決、役員の改選は全員の総意により再選。

5月16日 5月例会 泉屋 16名出席

会報発行について、梶理事から具体的な編集方針の説明があった。第1号を6月20日に発刊するが本年度は4号迄発行することで全員了承、原稿募集にとりかかる。総会で承認の事業計画にもとづき、各専門委員会に附託。

6月15日 第1回研修会 於東映ホテル 24名出席

講師 釧商三原専務 「スーパーマーケットの現況」

最近急激な伸びを見せている、スーパーマーケットの概要について、各地に於ける経営の内容現況について、生々しい激化状態を巧みな話術で報告、更に貴重な資料もいただき会員一同 大いに勉強になった。

6月20日 会報あすなる第1号発刊

手林会長 森野(トヨタ) 今田副会長 池ヶ谷会員 横地理事の健筆で、研修団体機関誌としてふさわしい内容の豊かな記念第1号である。

7月15日 例会 泉屋 18名出席

談話者 浅野会員 (㊤両角商店)

消費基地として、中央市場の開設にあたり、全国各地の動向等についてくわしい説明があった。市が西港建設の計画発表更に「釧路市総合

・ ケネディ大統領暗殺

・駒場小、開校

・明治鋳業、庶路鋳閉鎖

計画」の発表等があったときだけに関心もつよく、大いに得るところがあった。

8月15日 8月例会 泉屋 出席18名

談話者 小林会員 「貨幣と貴金属の相場」

大宮会員 「当社の社員教育システム」

小林会員は金の国際相場と国内需要について 現物持参で相場の基礎知識と需要の見通し、確実な売買の方法など鑑定家として専門の立場から発表。

大宮会員は、新入社員 中堅社員 幹部社員と三段階に分けて、個別指導、全体訓練と自社のシステムについて例をあげて説明する。企業は人なりの格言を地で行く体験発表でしたが大宮会員の誠実なお人柄から、ほとばしる熱弁で実り大い研修であった。

8月17～18日 自衛隊1日体験入隊 13名



士官待遇で入隊。官服着用で連隊内視察・銃剣術訓練・トランシーバー訓練・夕食で、隊員の給与待遇・考課評定などについて教官の熱心な説明をうける。上田駐屯司令荒木広報班長の懇なもてなしに胸を打つものがあった。

8月24日精神修養坐禅会19:30
定光寺禅堂16名 大道住職の禅道の法話を拝聴し、禅堂に入室、暗黒と静じゃくの中で、尊師の打棒を肩に合掌、無心の60分であったがストレス解消とともに商道精進のさとりを得る。



9月16日 例会 泉屋 19名出席

ゲスト 自衛隊上田駐屯司令外幹部士官3名。

入隊返礼をふくめてのお招きであったが、上田司令の三流の信条と自衛隊の任務について講演を拝聴する。会員一同心身の引きしめるものを覚える。上田司令の指導理念の精神に感銘を深くした次第である。

三流の信条

わが国土を護るためなら 血をも流そう

わが愛する道民のためなら 汗をも流そう

わが友や妻子のためなら 涙をも流そう

10月16日 例会 於泉屋 22名出席

談話者 横地会員「香港・台湾を視察して」

パナナの流通機構について視察の会員が主に台湾の事情について、教育と労働力、生活と文化等日本と比較しながらの興味あるお話をきく。

最後に結ばれた「日本を離れてみて初めて、日本の良さ、日本の有難さがよく分る事を特に力説したい」と云われた事が重く感じた次第。

11月16日 例会 於泉屋 19名出席

ゲスト 道銀 梅野支店長「一般経済と釧路経済の事情」

石炭産業の斜陽化にともない釧路経済が除々に影響を受けつつあること、公共投資の立ちおくれと道東経済のひずみ等前年対比の数字を上げ乍ら釧路経済の特色を浮きぼりにした講演は、資金繰りに日夜苦勞しておる会員にとって年末を控え大いに有意義であった。

12月18日 家族同伴懇親会(兼忘年会)会員22名家族53名 労働会館ホール

会創立2年目にして初めて開かれた忘年懇親会である。役員、特別幹事の秘策による数々の楽しいプログラムによって、会場は和気あいいの中に時のたつのも忘れさせる盛況で、相互親睦を深め、好評のうちに大成功な集いであった。山下会員の好意による記念写真がよき思い出となって会員のアルバムに残ることだろう。

・人口171,481人

昭和39年 39年1月30日 例会 於泉屋 22名出席

会員の理解度が高まりつつあることは出席率が高くなって来たことで解る。新年顔合せを兼ねて、会員フリートーキングを行う。景気の見通し商況の動き、来年度事業に対する要望等、意見を交し健康を誓い合う。

・くしろデパート開業

2月27日 例会 出席21名

談話者 最上会員「学校教材費の実態について」

新学期を前にして、市予算、父兄負担の実態と同業者間の争いについて説明、教育費の認識を深める。

談話者 森野会員(トヨタ自動車)「開放経済と車輛業界の近況について」国産車の性能と量産体制等比較対照しながら、国産車愛用運動を展開すべきときと訴える。

会報第4号「中小企業問題特集」梶会員の健筆は釧路商工会議所の在り方について鋭い一矢と云えよう。

3月16日 例会 於泉屋 12名出席

談話者 佐川会員「電器商品の流通機構について」

オートラジオ、BGM特機商品の流通と、今後の需要見通し、更に音響機器の特色について説明、先進国になぐり込みをかける国内技術陣の研究内容の高さについて。

・東京オリンピック開催

談話者 佐々木会員(宮田消火器)「消防条例と消火器材について」消火器 火災報知機 非常用避難梯子のPRと併せ消防条例をわかりやすく解説する。かくして創立2期目は低調の予想を覆し、信条のもと会員の認識も深まり、一応の基礎固めの段階に、終止符を打った歳であつた様に思われる。

39年4月16日 第2期総会 トキワグリル別館 20名出席

・釧路短期大学開校

1. 昭和38年事業・会計報告

2. 昭和39年度 事業計画・予算案 3. 部会活動促進

4. 会則の改正 5. 会報の発行等について原案可決、続いて役員改選に入る。冒頭各役員から今期は辞退の意志が表明される。協議の結果白紙に返して、5名連記の理事選挙が行われ、下記上位6名が当選。今田 18票 手林 17票 横地 14票 佐々木政勝 14票 梶 12票 儀俄 10票 会長選挙は 手林 17票 横地 3票で、手林会長の3選が決定する。あすなろクラブ20年の歴史の中で投票による役員が選出されたのは、此の年だけで貴重な記録と云えよう。会長指名によって、副会長 今田 理事 横地、儀俄、梶、各会員。会計理事 佐々木（政）の各会員が3期目の役員として決定。尚「あすなろクラブ」を、「釧路あすなろクラブ」と改称することに全員賛成する。毎月の例会日を16日にすることも決定。



39年5月18日 例会 於泉屋
18名出席

役員会提出の部会編成会員所属原案を討議の上可決する。

◎研修部長 浅野 副部長 小沢
河合 ◎広報部長 梅沢 副部長
池ヶ谷 ◎厚生部長 瀬村 副部

長 最上。

研修部テーマ 給与体系の調査

広報部テーマ 会員職場訪問（イ

ンタービュー）厚生部テーマ 野

外レクリエーション 以上の研修

テーマを決める。会員所属部会は
名簿参考。



39年6月14日 青空例会 於北斗牧場

毎月16日の例会日を定例としたが、本月は各種行事と重なり緊急変更で野遊会と兼ねて行う。厚生部員の初仕事で一致協力の結果、会員の参加も多く盛況裡に終る。

39年7月16日 例会 於泉屋

談話者 松田会員「釧路モトクロス大会」について報告。米田会員（北日塗装）を代表者として「ホテル望洋」が春採湖畔高台に新築落成。祝賀会に会員出席の報告がなされる。

39年8月29日 例会 於泉屋

テーマ「最近の釧路市の経済情勢について」市内の相次ぐ倒産の分析と、ゆれ動く商況に鑑み討論形式の例会とする。活潑な討議と情報の交換で有意義であった。

39年9月19日 例会 於泉屋

・新狩勝トンネル開通

各部提案の審議 研修部は賃金体系研修のため資料蒐集依頼と意見の交換 厚生部は家族レクの原案と交通法令講習会開催の提案を全会一致で諒承 それぞれの作業を進めることを約する。

39年9月28日 交通法令講習会 於労働会館 107名出席
講師 釧路署日向交通係長 激増する交通事故に対応する法令改正の意義と、ドライバーの認識を啓蒙する。 質疑応答があり有意義な会であった。

39年10月4日 家族慰安野遊会 於大楽毛河畔 88名出席
小春日和の晴天に恵まれ、心ゆく迄の楽しい1日であった。(三松)高田氏の串かつ料理講習会、会員提供のお店訪問ゲームのデラックスな景品、瀬村夫人指導の五輪音頭舞踊、ユーモアたっぷりの子供福引大会、企画準備と再三の会合を持って奔走した厚生部員の労苦をねぎらう声や大。尚8%撮影のフィルムはクリスマスに上映予定。

39年11月16日 例会 於泉屋
ゲスト講師 拓銀鳥取支店長 和田直之氏
「最近の不渡手形激増にともなう中小企業経営の分析と、その対策について」かねてから要望のあった外部講師による研修の第一弾として実現した研修会で内容の充実した例会となり時宜を得た談話であった

39年12月19日 第2回クリスマス家族パーティー
於労働会館 会員 28名 家族 78名 合計 106名
例会費 1,000円 家族 300円 お店訪問費 500円前後
厚生部計画のたのしいプログラムにより、参加者全員、時のたつのも忘れ、笑と、唱とゲームに興じた家族会であった。

39年12月 人口171,481人 前年比 5,789人増
昭和40年 40年1月16日 例会 於泉屋

講師 市助役 渡部五郎氏 演題「現代の生活」
物質文化に恵まれ、伝統を軽んずる風潮にある現代若者気質を鋭く浮きぼりに、吾々の責任を力説した談話であった。

40年2月15日 例会 於泉屋
講師 釧新社長 片山睦三氏 演題「東南アジアを巡って」
未開発の後進国東南アジア各国が国造りのため懸命な努力をつづけており、日本の技術指導、物質援助を期待しておる姿を、くわしく説明があり、恵まれつつある吾々に対する警告でもあった。

40年3月16日 例会 於泉屋
講師 釧商事務局長 小杉豊次郎氏「健全経営に就て」
最近市内で倒産した商店を例にあげて、在庫、回転率、資金計画、制度資金をくわしく解説 健全経営の在り方を熱心に力説され、明日からの経営に有意義な例会であった。

40年4月17日 第3期総会 於泉屋
昭和39年 事業及会計経過報告承認

・人口180,383人

・山口哲夫氏釧路市長
に当選

- ・バーナビー市と姉妹都市になる

昭和40年行事計画案下記を承認

1. 月例会 イ講師を招く ロ他団体との意見交換 ハ会員談話
2. 部会活動 イ総務 ロ研修1部 2部 テーマ研究
ハ広報 会報及記録 ニ厚生レク及社会福祉
3. 部会編成 新役員に一任

役員改選は選考委員により発表があり全員一致賛成する。

会長 横地 副会長 梶 理事 瀬村、渡辺、大宮、最上、各会員。

監事 儀俄 相談役 手林。

新役員を代表し、横地会長が所信表明ののち、会創立から3年間運営に功績のあった手林、今田、佐々木各会員に感謝状を贈りその労苦にむくいたいとの提案があり賛成多数で了承する。以上議事を終了。

レク記録8%映画を観賞ののち、懇親会で総会終了。



- ・共栄小炊事遠足爆発事故

40年5月17日 例会 於泉屋

1. 役員分担と部会編成
2. 年間事業計画審議及予算審議ののち決定
3. 感謝状贈呈式があり手林相談役から謝辞があった。

40年5月24日 第1回研修部会 於泉屋 16名出席
釧路支庁労政係長 徳永氏をかこみ労基法の勉強会

40年6月6日 野外例会 於北斗農場 21名出席
前年度に引続き第2回の畜産振興見学、厚生部員の大奮斗によって、ジンギス汗料理、頭の体操で会員も大満足であった。

40年7月19日 例会 於泉屋
広報部作成の、会員基本調査票について意見交換、添付資料の範囲等討議の上事務局に一任。

40年8月16日 例会
ゲスト 市議会議長 山本幸造氏
釧路市の将来性と道東開発について、政治面から、経済面から氏の豊富な体験と、鋭い政治感覚から西港問題、新酪建設、産業道路、北転船等諸懸案をかかえる市の発展の見通しなどを拝聴する。

40年9月19日 家族レクリエーション

・雪裡橋架設される

・人口186,600人

・旭橋完成する

塘路湖畔 会員 22名 家族 69名

晴天に恵まれて、湖水も紺ぺきの天を鏡にして、参加者一同ゲームにスポーツに興じ楽しい野遊会であった。厚生部員の活躍は全員感謝拍手を以って謝意を表す。

40年10月23日 例会 於泉屋

ゲスト講師 支庁労政課 徳永係長

「賃金の動態と中小企業の立場について」本年5月調査の全国平均賃金と、道内賃金の比較更に釧路市内の賃金状況の格差等データーを基にしてくわしく説明を受ける。中小企業賃金が景気不安を反映し格差のあることに一同深刻な表情で暗い気持ちであった。

40年11月18日 例会 於泉屋

部内研修で梶副会長が提案者となり人事管理問題を中軸に活潑な意見の交換があり、会員企業の業種別問題が浮きぼりにされ、有意義な研修会であった。

40年12月18日 第3回クリスマス家族パーティー 於労働

会館 会員 29名 家族97名 野遊会記録8%映画の上映
子供のど自慢 お店訪問等の楽しいプログラムにより年末の一時を過ぎた。

釧路人口174,105人 前年比 2,624人増

昭和41年 41年1月17日 例会 於泉屋

新春放談 出席者持時間3分で本年の抱負、将来の展望を語り合う。
尚革新市政と工場誘致条例廃止問題についても情報の交換を行った。

41年2月13日 例会 於東屋絵本店竹老園 22名出席

ゲスト 元市長 山本武雄氏 「市政回顧と米国市民生活」の講演
社会党市長から無所属市長と2期8年間の市政のうら話をユーモアをまじえての興味ある話題を拝聴する。誠実なお人柄に接し、元市長様本当に御苦勞様でした。その意味もふくめ、地酒福司提供のビール銘柄当て、きき酒競技を行い抱腹大笑いのたのしい例会であった。

41年3月14日 例会 於泉屋

テーマ「大松根性と社員教育」大宮理事を講師にKK丸文で行いつつある入社前教育の特徴と、大松理論の根底にある根性論を拝聴し会員一同大いに認識を深めた。かくして40年度の全事業が終った。

例会出席率 66% 会報6号～8号発行

部会は広報6回 研修4回 厚生9回 総務13回 開かれた。

41年4月11日 第4期総会 於旅テル市川 27名出席

一般経過報告・会計報告 を原案通り可決

規約改正案（第2条事務所を釧路市に於く）

（第8条事務局長を置く） を原案通り可決

事業予算案を原案通り可決

役員改選は動議があり全員再選を全員一致で決定する。

・マザーズホーム開設



苦勞話をきく。

41年6月16日 6月例会 於産業会館

われわれに身近な経営上の諸問題（経済）

講師 武井会計事務所 坂野洋二先生 研修テキストにより貸借

対照表 損益計算書 収支計算書を全員が作製し、金融借入などの問題点の討議を行う。更に 1.経営者の体質、資本家型、企業家型、管理者型 2.従業員の問題 職務給と奨励給の導入（給与規定） 3.資金の問題 4.客観的条件の問題（流通革命、消費者嗜好の変化、立地条件の変化）等について講議を拝聴する。参考迄に、市内企業平均賃金（高卒初任給男子15,258円）に対し、市役所は17,800円と高水準給与の指摘があつた。



41年7月14日 例会 於産業会館

釧路市政を觀る「革新市政と当面の諸問題」

講師 市政記者クラブキャップ（道新）時田健次郎氏

革新の北極星と注目を浴びつつある山口市政の 1.工場誘致条例廃止後にくる問題点 2.ゴミ、し尿料無料にともなう交付金の減額 3.道東開発と政治空白をどうする。などの視点を、記者の立場から鋭い論調で解説し、保守革新の対立を深める要因に考えさせられた講演であつた。

・戦後最大のスト行なわれる

41年8月21日 家族野遊会 於東釧路飛行場 67名出席
市民にはあまり知られていない東釧路旧飛行場に於て、釧路市を一望に眺めつつ石狩鍋を囲み万腹団らんのあと、広々とした台地で、小運動会を全員参加で行い、去り行く夏を惜しみつつ楽しい行楽であつた。冲厚生委員長始め部員の活躍に熱烈感謝。

41年9月16日 9月例会 於産業会館

講師 富士銀行支店長代理 花輪委雄氏

「上手なお金の借り方」について、貸す側から見た釧路人氣質、貸す側が納得する資金計画、富士銀行が地場産業への要望、などの項目で講演があつた。質議の中で富士銀行は地元資金を吸い上げ中央資金に廻しているのではないかとの疑問には、全くその様なことは無根でむし

る多額の資金を道東開発のために運用しておることを強調していた。

41年10月10日 10月例会 於産業会館

明年度新卒者採用問題について

ゲスト 釧路職安 相馬課長 釧商高 佐川先生 北陽高 五十嵐先生 星園高 森先生

職安側として求人に就ての一般的な要項の説明と具体的な条件内容の要望、高校側は各校の進路指導と求人側に対しての希望・要望の説明があり、会員との間で給与待遇、社員教育等について意見の交換を行った。

41年11月16日 11月例会 於産業会館 23名出席

トップマネジメントに必要な法律知識

ゲスト 弁護士 加藤義明先生

加藤先生は地元出身で市内事情にくわしく、実姉が商売を釧路で営んでおられるそうです。中小企業者の立場を十分に理解出来る側として債権債務、商法、労基法等、私達が最低常識として知っておかねばならない法律をやさしく解説され、割と法に不勉強な私達に側面協力を約束していただき非常に有益な研修であつた。

41年12月17日 家族クリスマス会 道銀ビル

出席総員95名

ゲスト 釧新横沢夫妻 準会員500円 子供300円の会費
恒例のお店訪問、サンタの言葉、餅つき、のど自慢と年おさめにふさわしい楽しさ一杯のパーティーであつた。

・人口191,626人

昭和42年 42年1月16日 1月例会 於産業会館

新春放談会 出席者のみ特別会費を徴収し多少の燃料を補給し新春にふさわしいふんい気のなかで、5年間を顧みてのテーマのもとに、全員が活潑な意見の発表を行い、更に10年に向って研修の在り方などを放談した。

・オリエンタルデパート開業

42年2月20日 2月例会 於産業会館

出席会員 24名 会員社員 76名 計100名

「なくてはならない人になるために」

講師 大宮理事 会員の社員を対照とした教育講座

大宮講師のユーモアを交えた講話は、出席者全員が納得できる感銘深いものでした。接客、応待、礼節等1つ1つ実例をあげ解説し、活力ある職場はどうして出来るか、と出席者に質問、助言を行い、すぐ役立つ講座として非常に有益であつた。120円のカレーライスであったが味も特上で出席社員の期待に答へ得る3時間でした。

42年3月26日 第5期総会 於六園荘 25名出席

昭和41年度行事経過報告 昭和41年度会計報告を最上理事が報告
監査役報告を儀儀監事が行い承認 昭和42年度行事計画、予算案を
原案通り承認、規約一部改正案を執行部提案通り決定 新たに事務局

・釧路湿原の天然記念物指定

長、次長の役職をもうけ事務局の充実を図る。役員改選は動議により三役監査は留任、事務局次長に稲垣会員が会長指名により決定する。厚生部長 小沢 副安藤 企画部長 瀬村 副川田 総務部長 松田 副米田 各会員を選出、昭和42年度執行体制を確立 総会の議事を終了する。

42年4月20日 4月例会 於産業会館（地階）

①各部委員会提案事項の審議（年間計画の説明を委員長が行い了承）
②予算案の審議（総会に於て決定を見なかったため）③事務局二人制による職掌（総会で承認された二人制について職掌の拡大と分担の発表、稲垣会員が次長）④中央市場開設について、横地会長が公認（農林省）中央市場開設の設立委員の中軸メンバーであるため、その性格推移、市側の対応について説明をきく。⑤三部会合同集会、部会編成と顔合せ部会運営方法の全体討論を行った。

42年5月7日 5月研修 北斗農場

本年の野外研修は一昨年誕生の「あすなろビール会」と合同研修を企画し多少の経費負担をスポンサーから受ける事にしたため出席者数も45人にふえた。市経済に関連のあるゲーム、頭の体操を行い、晴天のもと盛会裡に終る。

42年6月20日 6月例会 於公民館

「持家制度についての研究発表」

今田会員が自社に於て制度実施している内容について、資金運用、社員年歴 返済方法 制度資金借入等、くわしい説明があり会員の質問と更に、会員が既に別な形で実施しようとしている制度などの補足発表があり非常に有益な研修であった。企業の永続繁栄のために経営者が常にてん望の上に立つた投資の在り方が鍵であると思う。

42年7月24日 7月例会 定光寺禅堂

企画委員会がアンケートにより計画の自衛隊体験入隊は会員の都合がつかず少数参加にとどまる見込のため予定を変更し座禅会を実施した。大道晃仙師の「禅と社員教育」のテーマ教導を拝聴し、座禅を行い有意義な一夜であった。

42年8月20日 8月例会 家族同伴レク 達古武湖畔

67名出席。

小沢委員長以下厚生部員が先発、会員家族は国鉄便を利用し、細岡駅下車、快晴の湖畔であすなろ鍋で中食、宝さがし、西瓜割り、地引網による魚獲を楽しみ、帰途細岡駅前で国鉄職員の好意で、北海盆踊りを全員がやぐらを中心に輪をつくり踊りに興じ行く夏を惜んだ。

42年9月23日 9月例会 於市公民館

クラブの今後の在り方についてフリートーク

企画委員会提案の業種別ブロック討議をたたき台にして製造、卸、小売の部門から各3名の委員がディスカッションを行う。結論として第1

・日進、旭小火災になる

・ミニスカート流行

・人口195,375人

・釧路港中央埠頭完成

委員会（製造）第2委員会（卸）第3委員会（小売）の編成が運営しやすく、今後の在り方に指針が持てるのではないかと意見が多かった。

42年10月21日 10月例会 於市公民館

「賃金問題研修会」総務委員会が、会議所、支庁労政課、会員の会社を廻り、42年度賃金の実態を調査し、内容を整理分類した資料を中心に討論を行う。総務委員会が足でまとめた資料だけに真実性があり内容がち密であった。ゲストによる研修会と違った意味で、仲間が講師でありアシスタントであることは、会の在り方として一つの方向がある様に思われた。

42年11月21日 11月例会 於市公民館

10月例会で賃金問題を研修した際に残された、いくつかの問題点の復習で、会員が自社の賃金と対照して、につめた資料を基にして発表を行う。賃金問題を2ヶ月間に亘って研修した成果は経営に反映されるものと信ずる。新めて総務委員会の熱意とご苦労に感謝する次第である。

42年12月16日 家族クリスマス 於ローヤル会館

会員 30名 家族 69名 家族会費 300円

新装の渡辺会員経営するローヤル会館大ホールに於て開かれました。釧路横沢ご一家をゲストに迎へ、なごやかなふんい気の中でパーティーが進み、年忘れにふさわしい一夜でした。サンタの言葉、プレゼント家族紹介、抽せん会、お店訪問、のど自慢、最後に歳末募金運動に協賛した拠金を横沢さんに会長から贈り、万才三唱で幕を閉じる。

昭和43年 43年1月5日 新春ボーリング大会 於東映ホテル

22名出席

サッポロビールKK提供 トロフィ争奪大会は予想をうらぎり横地会長が沖会員の追撃を辛くもかわし優勝、あすなろトロフィは横地会員の手に渡り80分の熱戦に終止符を打った。終了後ジンギスカン鍋を囲み乍ら戦果の分析にうつり横地会長から、若手会員に対し体力のアンバランスと運動不足の厳しい訓戒があり、新春早々落雷の例会であった。



53年2月23日 2月例会 於市公民館

年次事業の反省と総会について
2月7日から13日迄に各委員が総括討議を持った。その報告をもとに全体会議を行い結論の出た事項から次年度に実施することに決定。

規約改正、部会再編成、会費値上げについて総会に提案することに全員了承を得る。総会は前年度と同じ3月中に開催することを決定した。

- ・ 3 億円現金強奪事件
発生

- ・ 開道 1 0 0 年

4 3 年 3 月 1 7 日 第 6 期総会 於敷島商会本店

2 5 名出席

第 6 期事業報告、会計報告を承認、規約改正案を審議可決、事業年度を 1 月から 1 2 月迄の暦年度とする。従って 4 3 年度第 6 期は 4 月から 1 2 月の 9 ヶ月にする。事務局の機能を強化するため次長を 2 人制にする。委員会制を発展的に改称し第 1 部会（生産部門）第 2 部会（卸部門）第 3 部会（小売部門）とする。部会長、副部会長制をとり役員とする。以上の案件を可決し役員改選を行い選考委員長手林相談役の提案を全員賛成をもって新役員を承認する。新旧役員の挨拶があり総会が終了した。記憶は記録ではないことを思い知らされた訳です。先輩各兄の記録をお借りしてどうにか 6 年間の例会記事がまとまりました。手林先輩、儀俄先輩の貴重な宝物を軸に同友清水、池ヶ谷氏の補助記録のおかげで 6 年間の流れが出来上りました。3 0 才台の生意気、向うみずな小生を訓告指導してくれた諸先輩の熱意と御苦勞を新めて強く感じ、反省と悔いを胸に刻んだ次第です。 最上後記

あすなろクラブの歩みをじっと見つめていてくれた方々から、賞賛とも皮肉ともとれる「よくも今迄 5 年間も持ちこたえたものだ。今後の一層の奮斗を祈る」と激励も合せ戴いた。昨年 2 月 5 周年を感慨深く祝い、一つの節を漸く越えた無言の喜びと、会継続への新たな決意が会員間にみなぎり、一段と研修団体としての肉付けが出来て今年 6 年目を迎えた。昭和 4 3 年は、商業界近代化の始まりと云われスーパーの攻勢も一段とはげしく、小売店が共同出資で新会社を設立し、大型化を図る動きが目立ち始め、ボランタリーチェーンの中では、加盟店の有志が手を結び合い、或は、同じ業種の小売店が共同出資会社を設立するなど、大型商業時代に即応して、中小規模の小売店は協力して規模の拡大を急ぎつつあった。釧路市内の各業界でも共同協業化に活路を求める中小零細企業が相ついでおきた。この時期に釧路豆腐工業協組の藤野昭雄氏が入会したのもうなづけるし、KK 須貝紙店の綿貫氏、KK ホクサンの高橋氏、松本モータースの松本氏、鈴木電気の鈴木氏が次々とあすなろクラブの信条のもとに集ってきた。

昭和 4 3 年 3 月 17 日昭和 42 年度総会を敷島クラブにて開催、今年度より 1 年度を 1 月から 1 2 月迄の暦年度とし会則の変更を行った。今期会長に儀俄政夫、副会長小沢敏男、事務局局長稲垣友則、副小林久雄、同川田春旭、監事沖公夫、各会員相談役横地重幸氏を選任した。

又部会構成については従来の総務、企画、厚生 of 三部門を第 1 部会（生産部門）第 2 部会（卸部門）第 3 部会（小売部門）とし一層の部会の充実を計るべく変更した。第 1 部会長に米田慶、副安藤昭二、第 2 部会長蔦練治、副佐川昭、第三部会長清水武敏、副最上勇各会員を選んだ。この期より事務局を 3 名としたが選任された 3 会員が後に 3 会

・パンタロン流行する

・教育大附属小開校する

員共歴代会長に就任し活躍されたのも奇遇である。会員数32名、5月役員会に於て、①5分間スピーチの復活、②各部門毎の積極的活動③新入会員の開拓を決める。

6月あすなろ会報発行、この中で横地会員は、「無断欠勤は企業の敵」と題し企業発展を阻害するブレーキの点検の必要あり、その対象とする5項目①40才を超え能力の低下している者、②30才前後で家事の勤務状態が悪くなっている者、③若年層で無断欠勤する者、④年令にかかわらず被害妄想する者、⑤社外交際に反社会的言行のある者と列挙し、特に若い層の無断欠勤に対し甘やかし政策をとっている企業があるならば、その会社の前途は期待出来ないと断言している。景気低迷の折、再考の要あり。又「あすなろ定例会のあり方」と題し（北織女氏）は、①ゲスト制、最も無難な方式一会の目的にもなっているが、ネタ切れが悩みのタネ。長所一司会者はラクです。欠点一マンネリの傾向、時間が不足、眠たくなります。②ディスカッション制、パネル式でも良いが、今後は経済、時事、社会面等その時々のおトツニュースにつき弁護、検察、裁判官制にして討論する。長所一各自がよく勉強する様になる。欠点一時間切れの心配あり。出席率悪くなる？。③フリートーキング制、誰でも何でも5分ー10分位づつ好きな事を言いたい放題、ダベってチョン。長所一出席率向上するか？ストレス解消に如何？、欠点一ヒンボケ、司会者大苦勞。④ノミネーション制、いわゆる御指名制、日当支給の要あり、予定議題制をとる。長所一トップマネジメントを志す者。発見の発表強心臓の育成、対話の心得等、絶好の練成場。欠点一出席率が心配です。⑤アクション制、理解より行動。そろそろ脱皮しても良い時期か？。長所一マンネリ打破、欠点一当クラブの目的から逸脱するので、具体的に検討の要ありと、今後のクラブ例会運営に格好の御意見、北織女氏よ13年後の今日にも適切なアドバイスを乞う次第。

8月家族レクを始めての大楽毛村山団地で行う。快晴に恵まれ、短い鋤路の夏の1日を楽しむ。企画も趣向を凝らし池ヶ谷会員は子供達を喜ばせ様として携帯用発電機を持参、綿アメ機をリースしたが、出力が合わず徒勞に期したものの、変りの氷水で面目を保った。又緑したたる牧草地の事とて、婦女子のトイレに困惑、ムシロにて急造するやら、積み草の陰を利用するやら、飲み疲れた者は村山ホテルの風呂へ入る等想い出に残るレクであった。

11月例会は始めて、フリートーキング制を採用し主題を「あすなろクラブ批判」として、ディスカッション、司会を小売部会長の清水、副会長の最上両会員（何れも多感、多弁の士）のせいもあってか意見百出①研修団体をそろそろ脱皮して、奉仕活動も行うべきではないか②あく迄も研修団体に徹すべきである。③各自の商売を基盤とした話

・人口198,388人

・釧路開基100年

・釧路港水揚高日本一
になる

し合いが有効適切である。④三部門制の在り方に対する批判。⑤会員各自が強い連帯感を持つ事。会員の声をもっと取上げて欲しい。例会には絶対にアルコールを持ち込まない。等最近にない高出席率もあってか熱っぽい会合となり、今後の出席率向上促進に好指針を得る。

12月14日、家族同伴クリスマスパーティーを産業会館にて盛大に行う。この年は前記会員の入会と共に、木村会員が7月退会、高瀬会員が8月から休会、薦会員転勤の為退会、後任として今迄のクラブ会員には見られなかった、精神的な派手さを持った敷会員が颯爽と入会し何かと移動の多い年であった。

昭和44年 44年1月25日 於泉屋 第7期定時総会開催 28名出席
会長、副会長、事務局長、次長(2名)、卸部会正副部長、工業部会正副長留任、決算報告、予算案審議、原案通り可決、小野会員退会する。2月水産ビルに於て、道議会議員であった渡部五郎氏より「欧州及韓国を旅行して」と題しスライド撮影により海外視察談、此の後10月渡部氏は再度市長選挙に立候補挑戦するも、8000票の大差で敗北する。6月産業会館に於て例会、瀬村会員より提供された日本酒のキキ酒会を開催、結果100点満点中、岩田、小沢、渡部、鈴木佐川各会員が80点得点し表彰される。8月漸く待望の会報発行される。如何に原稿が集まらない事か、事務局の苦労が察せられる。

早速「忘れられた会報」との一文が今田会員より寄せられた。「私達のクラブ誌が休刊になって、もう何ヶ月になるだろうか、毎月の例会には必ずという位話題になり乍ら、つつい次の月も私達の手元には届かない。毎月役員各位から声をかけられ乍らそれが出来ない。言葉では毎日何万語も話していながら、いざペンを持つと中々筆が進まないのが本音である。専門の小説家や新聞記者でも私達が、上手に文をあやつたり、人に教訓めいた事を書ける訳でもない、自己満足の為に書く事でよいではないか。私達の愛するクラブ誌に毎回自分だけの歴史を記そう、そしてお互に悩める恥をさらそう、誤字、雑文、文法等はクソくらえ、あすなろだけの文豪は貴方達だ、シェクスピアは○さんがなれ、ユーゴーは×君だ、そして私はさしづめ、あすなろ誌の藤村にでもなって、天下に迷文を送ろう。(文中略)」とクラブをこよなく愛しクラブ誌を1日千秋の思いで待つ氏の心が吐露されています。同月釧路市開基100年記念式典がカナダ、バーナビー市長夫妻をはじめ内外から2,000名の参列者を迎えて盛大に行なわれた。

又会報にチャーターメンバーである丸文の大宮会員が、KKダイカ(新会社)の常務として榮転され「お別れに際し」と言葉を残していつた曰く、札幌を出る時、!!釧路の人は人情が厚く、すぐ友達になれますよ!!と助言してくれましたが、それを真先に、あすなろの諸兄によって恵まれたのでした。初めての土地であり、気の休まる暇もなかつた私に、月一度のクラブでの一時、職業も年功も地位、経験など、すべ

・アボロ11号月面に着
陸

・十条サービスセンタ
ー、全道一ワンフロ
ワー開店

てに関係なく、諸兄の間に入って談笑した事が、当時の私に、どんなにか楽しく、うれしく心のやすらぎになった事でございましょう。この度何のお返しもせず去ります事は何とも心苦しゅうございます。そこで一言諸兄諸先輩の経営される職場が、更に立派になる様に私の経験から、社員教育の!!出発点!!を申し上げて行き度いと思います。社員教育と申しますと大変に面倒に思えますが、実はそうではありません。(学校教育とは異質のものようです。)社員教育の出発点は社員1人1人に、各々1つの「持ちもの」(これだけは誰にも負けないぞという自信のあるもの)を持たせる事につきますようです。私は今迄、社内外を問わず、多くの人に「ハイッ」と言うはぎれのよい明るく気持のよい返事を、自分の「持ちもの」にしないで、とすすめて来ました。「ハイッ」という明るい返事は他人に良い印象を与えます。本人の意欲が目に見える様に相手に伝わります。それは誤解をとき、難問題を解決します。「ハイッ」という明るい返事が、あちこちにこだまする様な職場は、必ず繁栄いたしましょう。この他、電話での歯切れのよい応待、「いらっしゃいませ」と大きな声で挨拶すること、色々持ちものわありましょう。大変生意気な事を押しつけがましく申しましたが、私が丸文7年の経験から得た、社員教育の出発点という自信でございます。と、曾ては高校の教師であり、我々は畏敬の念さえ抱いていた大宮さんらしい愛情に満ちた言葉です。後任として太田敏雄会員が入会する。氏は偉大な大宮さんの良き後継者として社訓を忠実に守り「挨拶はダイカさんに習え」と誰もが推せんするゆえんである。

9月、市長市議選の前哨戦たけなわである。例会は帝国興信所入間功栄所長をゲストに迎え「釧路の経済界について」と題してスピーチ。

10月、「吾々会員の胸底には、言わず語らずの中に次期市長の像が固まりつつあるが、吾々の信条にもある郷土を愛する為にも、同志の絆を確めあって積極的に渡部五郎氏を後援する事も会の前進に連なると思うのだが」という梶会員並に会員の願いも空しく遂に破れ去った事は誠に残念至極であった。

11月、今年度よりクラブの年中行事として、道東都市を訪門研修する事とし、第1回として新入敷会員の薦めもあり同氏の出身地北見市を選ぶ、参加者20名6台の車に分乗し、初めての管外研修に出発。黒部ホテルにて11月例会、翌日は生鮮食料団地(施設建設中)卸商団地、木工団地、北見サッシ工業KK、を見学する。中でも卸商団地に関しては、建物もまばらで建設中であったが、敷地の規模と計画の立派さに驚くと同時に計画中ながら、未だ卸売団地の土地の確保すら……もたっている釧路市政のまずさに苛立たしさを感じた。稲垣事務局長司会にて、北見商工会議所近田専務と懇談同じ革新市政ではあるが行政と経済界の融和が随所に見られ、余りにも釧路市と比しての差異

・釧路市役所職組（二組）結成

・人口195,375人

・雄別炭鉱閉山

・大阪で、万国博開催される

に我々を羨やましがらせた。併し反面将来の北見経済の伸びなやみを聞くに及び、3大基幹産業を持つ釧路経済のスケールの大きさに希望をつなぎ閉会した。最後のコース北見名物「菊まつり」を見物、菊人形の規模の雄大さと芳香を満喫して帰釧の途につく。

12月、産業会館にて家族同伴クリスマスパーティー開催。明年の各会員の健闘を祈念して盛大に終る。

この年、長年のライバル八戸港を抜き、漸く水揚げ日本一となり、以後9年間この地位を守る。

押し迫っての衆議員選挙、アポロ月面初着陸、長年の懸案西港正式調印と何かと意義ある年であった。

昭和45年 45年1月 於パークホテル 第8期定時総会開催

会長に今田英三、副会長最上勇、副瀬村哲雄各会員、事務局長安藤昭二、次長池ヶ谷栄一各氏会員を選出した。

新会長今田英三氏の就任に当っては、前年「リビング安本」を建築した許りで、責任ある立場から多忙の為と固辞されていたものの会員の要望強く、取て1年間のみ、又上記の理由から副会長を今限り特例として、2名とした。2月例会 1.例会の在り方について、④例会日を毎月7日とする。（但し12月はクリスマスパーティーのため後日決定する。⑤例会はフリートーク式とする。⑥各支部の充実こそ必要なりとして、毎月1回支部を開き、出来得る限り会長、副会長も出席する事。2.会の宣伝について、④会の信条を各自の名刺に印刷する事。⑤信条を額入れにして製作する。⑥会のPRの為会報を充実させ、各関係機関及得意先に配布する。年4回は発行したい。3.公的活動について、④会は従来通り政治活動はしない。⑤郷土愛に基づく活動については全面的に協力する。4.管外研修は今後継続すべきである事を決めた。会員増を計り50名前後としたい。後、横地、梶、手林、稲垣会員より、旭町（酒販売）市川洋一、寿町（精肉業）岩山、川上町（道東冷蔵）多賀輝夫、栄町（菓子製造販売）宮地良彦各氏の推薦がありこれを決定した。3月例会 各支部活動の報告。森下会員による会員血圧の測定を実施し、血圧に就いてスピーチ、参考とする。

又今後3役に選出された場合、釧路新聞社を訪門、就任挨拶を行い、例会案内を紙上掲載される様依頼する事とした。5月役員会、新会員に中川章（鮮魚）南沢道男（弁当）両氏を認めた。5月例会、釧路商工信用組合、池島専務より「最近の金融機関から見た中小企業の欠点」について講演。釧路サンドイッチ会（会員20名）より我がクラブへ共に研修したい旨の要請があり、後日決定することにした。

6月例会、会の信条「郷土を愛し」を实践する意味から、毎年参加者が減少し、年毎にすたれてきていると云われる釧路の夏祭り厳島神社例大祭、興渡御にクラブを挙げて参加し、市内を巡り乍ら、もう一度ふるさとの良さを見直すべきであるとの事から、菊地宮司を招き「神

- ・国勢調査で、日本の総人口1億人を突破する

- ・日航機「よど号」乗っ取り事件

社の歴史と祭典について」講演があり、参加者を募集した。

7月例会 釧路総合計画開発主管、布施正氏より、釧路開発の夢を聞く。 祭典参加者、最上、横地、清水、藪各会員。

役員会に於て清水会員より「祭典を切る」と題し報告あり、「参加する迄は多少の気恥かしさ丈があったが、老人、子供の喜を肌を感じ、参加することの意義を深くした。隊遍成のあり方、道順、運営方法、構成委員に問題点が多い、来年は是非会員が多く参加して、郷土の祭を盛り上げよう」と。又富士見坂上の花壇に花が少ない、緑の少ない釧路にうるおいをもたらすべく「あすなろ花壇」を設けてはの声あり。9月例会に於て藪会員推薦の和商KK田中歳晟氏の入会を承認する。10月の管外研修は根室訪問と決定する。藪会員のアラスカ行の壮途を祝し餞別を贈る。会員にて海外旅行は氏が始めてなり。

10月例会 根室市訪問、1行18名（最上会員研修報告より）釧路を軸としての道東経済の基盤が、全ての面で、どの様な位置づけを受け、評価され、そして消化され開発に貢献しておるだろうか、又中小企業の（同業）方々はどの様な姿で経営に専念しておられるのだろうか、吾々がくい込む余地はあるだろうか、それは先づ実体を此の目で確かめることである。という事で昨年から開始された「道東都市見て歩記」北見に次いで今年は、国境の町水産の街根室市を訪れた訳だ。

10月3日根室行鈍行にて出発する。昨年の北見は全員乗用車で全行程を走破したが、今年は交通安全と各駅停車が必要という事で鈍行列車とする。団長に瀬村、副団長最上、マネジャー池ヶ谷各会員。

根室商工会議所にて、今田会長と実懇の久保田市議の司会で懇談会、安藤会員揮毫による会信条の額を贈呈する。 鹿野専務理事より「根室市経済の今日的課題とその展望」のテーマにて講演がありJc会員

12名をまじえて懇談会を行う。翌日は久保田市議の先導にてノサップ岬に向いはるかに望む国後島、目前に見る貝殻島灯台、そして不気味に航行する部分をソ連監視船の黒い姿を目で追い乍ら（国境の街を深く感じ）吾々は、観光地として安易な気持ちで訪れた反省感を強くし帰り際全員で「北方領土よ早く還れ」と絶叫した。帰途太平洋岸の友知海岸にて昼食、大鍋に小蟹を入れ煮える間もなく、全員が無言で食べ、石切り、魚釣り、磯舟遊び、かにかご揚等一同童心に返って遊んだ。国境問題、千島返還運動等最も近くにおいて熱意不足な我々を含めての釧路人に、深い反省を求められた根室行であった。

帰途急行釧路行ノサップの車中では、昨夜半隣室の我々の部屋へ、瀬村会員のいびきで到底睡眠出来ないと訴えて来た横山会員の言を確認し、ひそかに佐々木会員がテープに録音し、それを披露する。正にその音たるや豪快にして轟音あの巨軀からは当然と周りの乗客と共に大爆笑であった。瀬村会員は一人列車内のそれを知る由もなく黙々と愛車のハンドルを握り釧路へと向っていた事だろう。今日迄未だ彼はそ

・人口200,575人

・工場誘致条例全面廃止

・青函トンネル着工

・堂垣内、道政誕生

れを知らない筈である。

10月19日、東映ホテルにてサンドイッチ会（出席9名）と懇談会を開く、あすなろクラブ会員10名出席

題して「釧路を考える」

11月例会は蔽会員アラスカ帰朝報告

12月、家族クリスマス会 宮地会館に於て総勢110名盛會に終る

昭和46年 46年1月23日 第9期総會を宮地會館に於て開催

新會長に梶正義、副會長小林久雄、川田春旭、事務局長に蔽一義、監事に佐々木雄二、南沢道男各會員をそれぞれ選出した。

梶會長は活動方針を「当クラブが発足したのは昭和37年、丁度朝鮮動乱による特需景氣が一段落し、次に迎える高度成長時代迄の不況期にさしかかっていた46年とその經濟環境が相似していると云えよう。それだけに初心にかえて、同志間のスクラムをより強めるべきと考えている。一昨年から実施してきた道東他都市の經濟人との交流は、今後ますます顯著になる本州大手資本の進出に對処し、道東經濟圏を考える為にも繼續していきたい。」と語つた。事業計画として①明47年2月10周年記念開催、②管外研修を帯広とする。③あすなろ花壇事務局にて立案、④蔽島神社例大祭全員参加の各項を決めた3月例会 日銀十石支店長を招き「國際、國內の經濟狀態について」を聞く。

6月例会の案内文にこう書いている。「初夏の陽ざしもしめり勝な昨今でございますが、皆様お変わりありませんか、あすなろも10年目を迎え、會員の動靜も當時をかえり見てかなり変化が見られます。そしてあすなろのとらえ方もまちまちで、ここで今一度觀念統一をはかり、前進すべきかと存じ、今月は歴代會長のあすなろを斯く考えると題して5分間スピーチを願い、それを緒に、皆様方のお考えを承りたいと思います。よろしく御參会下さい。」とあり、10周年を前にしての執行部の模索がうかがえる。

6月例会に於ては、あすなろの再確認のためフリートーキングを行い有意義な意見百出理事者の奮起を促す激励と撓まぬ前進のため革新に溢れた提案が多くあった。事務局より更にアンケート調査表が配られより良きあすなろ作りの一助にと回答依頼があった。又7月蔽島神社例大祭には今年から供奉（袴）班と演出班（行列の指揮、連絡）に分け協力態勢をととのえクラブの結集力を示す事とした。

室本、小林兩會員の工場、住宅新築落成を祝つた。

7月例会は横地會員による「北歐を視察して」と題しての講演。

8月例会、赤松新次郎公証人を招き演題は「我が國が共產化するにはどの様な段階を経なければならないか。」であり世情がうかがわれる

10月例会 第3回管外研修帯広市訪問

第5区選挙区を考えた場合、代議士の数は北見に2人、帯広に3人、

・札幌地下鉄開通

釧路に1人で凡そ人口からは考えられない釧路は草苅り場化している。釧路人としては誠に聞くに耐えない言葉であり、常にいらだたしさを感じているのは確である。それは北見でも根室でもなく帯広を強く意識しての事であろう。商業界にしても、帯広の街づくり、特に店舗作りは釧路以上と言われている。水産と農業という産業基盤が異なると許りは云われない何かが釧路と比較してある様に思えてならない。

「道東は一つ」という意味からも、今回はよき釧路のライバルである帯広市を選んだ。

商工会議所玉村専務と「道東圏に就いて」をテーマに懇談会、案の定、釧路を強く意識しての発言が多く、今迄の北見、根室とは異った緊張感に満ちたものであった。帰路十勝川堰堤にて秋味鍋に舌づつみをうち秋の日を過した。

12月家族クリスマスパーティーを宮地会館にて行う。(会員2,000円、家族500円)

・「ばんだい号」墜落



・人口201,213人

・釧路市史の発刊

昭和47年 47年1月16日 第10期総会を宮地会館にて開催し、予算、決算、10周年記念式予算案を審議、役員改選の結果今期会長に梶正義、副会長に小林久雄、川田春旭、事務局長に森下勇、監事に太田敏雄、佐々木雄二各会員を選任し各部会役員は全員留任とした。

2月20日、10周年記念式典を宮地会館にて会員33名、来賓14名の出席を得て盛大に挙行了した。(記念の頁参照)

3月7日、宮地会館に於て例会、先月行った10周年記念式典の反省会をフリートーキングで、後東南アジア研修を終えて帰釧した瀬村会員より研修結果の感想を聞く。貧困に病む国と富める国日本の違いを聞かされ只々幸を感じた次第。又新入会員の自己紹介を兼ね片山、中村岩田、浅川、杉村各員より5分間スピーチがあった。

4月7日 今月の例会は5月以降のスケジュールを事務局より発表、懸案の車両動態調査と委員会制度に就いては討議の末見送りとなり、会報に就いては年2回発行する事に決定した。後、横地会員より、中央青果市場の問題点を聞いた。新入会員次の通り、市橋清捷、沢野浩、田中幸一、各会員。

5月6日 栄町会館に於て例会、防災シリーズ第1弾として、交通安全知識の向上の為、釧路和田安全交通指導係長を招き、テキスト、スライドを併用して勉強した。

・札幌冬季オリンピック

・沖縄、本土復帰なる

・土地ブーム過熱（列島改造論台頭）

・人口204,651人

・市役所オリエンタルホテル火災

池田武文会員入会する。市民の森植樹祭に9名参加する。

6月9日 市消防本部に於て例会、防災シリーズ第2弾として消防本部の施設見学と泰地会員の協力にて、消火訓練と防災映画を鑑賞し、上田予防課長より「千日前デパート」の教訓を受講する。

7月1日 泰地会員の計らいで、近代科学の粋を集めてうなる大企業の機械化に驚き認識を深くする。参加者15名（本州製紙釧路工場）

7月7日 宮地会館にて例会、部会開催、野外レク、祭典協力の各案件に付審議する。安田会員退会する。

8月20日 北斗園に於て家族レクを開催する。総数95名の参加で、ジンギスカン、釣大会、昆虫採取、ゲーム等夏休中の事であり、子供中心の野外フェスティバルであった。

9月7日 宮地会館に於て例会 釧路新聞社報道部長横沢和郎氏を招き、欧州を回っての「国際社会の動向に就いて」と題しての海外旅行談を聴く。出席は31名と多かった。

10月7日 管外研修として中標津町を選ぶ。参加者20名 町側から、村田町長、議会議長、中標津商工会長、同会役員が出席され人口よりも牛の数が多という酪農王国建設に情熱をそそぐ町長を始めとする町民一体の力を充分に知る事が出来た。又同町が釧路の経済界に期待する所が大きい割には、進出企業の大きい協力が得られず、却って網走北見の業界が常に積極的である旨の厳しい指摘があり、深く反省させられました。翌日は同町出身の綿貫会員や縁のある多くの会員各位の支援により、牛乳の差し入れ、薯掘り又尾岱沼でのアキアジ鍋としまえびにての昼食、凧の上を音もなく風のままに走る。船、地球が円く見えるという開陽台等中標津研修旅行は大いなる感激であった

11月7日 宮地会館に於て例会「職場に於けるコミュニケーション」と題しサッポロビール釧路営業所長大畑氏より講演を聴いた。人の心を聴け、聞くだけではコミュニケーションではないと名調子で語った。

連絡事項として中標津研修報告、次年度役員改選人事に就いて等を計り、新築祝を石井会員に、海外旅行餞別を浅川会員に贈った。中村会員が退会した。

12月9日 恒例の家族クリスマス大会 出席会員29名と家族を含めて100名という盛会裡に今年最後の夜を過した。

昭和48年 48年1月21日 第11期総会を宮地会館に於て開催。

決算、予算、事業報告、役員改選を審議し、改選の結果今期会長に、稲垣友則、副会長に池ヶ谷栄一、松田忠、事務局長に太田敏雄、監事に綿貫利次、森下勇の各会員を選出した。横地会員は退会して顧問となり、山下会員も退会したが山下カメラ店営業部長の細川猛夫氏が入会した。

2月7日 宮地会館に於て例会、新役員の紹介と第12期事業計画を審議し48年度の各事業所の初任給について自由討議を行う。

・ 釧路空港 ジェット機
就航

3月7日 水産ホテルに於て例会 「登記について」

沢野会員よりスピーチ、工業部会より部会報告と事務局より例会会場が今月より、水産ホテルに変わる旨の報告があった。

4月7日 水産ホテルにて例会、高騰が続く石油事情を岩田会員より又海外視察を終えた川田会員より報告を聴く。2月例会に於て名簿作製のため資料収集を依頼した新名簿を会員に配布する。

5月7日 水産ホテルにて例会 藪会員より「釧路の道路開発について」と題し、釧路商工会議所主催による、釧路市、釧路開発建設部、釧路土木現業所合同による、新国土縦断道路建設計画シンポジウムに出席しての内容説明を地図を前にして説明し重要港湾港としての釧路の経済界に与える影響が非常に大きい事を考え（一部帯広経済圏に入る恐れあり）幣舞橋のかけ替問題と共に会員も大いに道東から道央への道路問題に関心を深めて欲しいと締めくくった。今月から例会に欠席の会員え、例会内容を知らせる会報を例会案内状と共に送付する事に決まった。

6月7日 水産ホテルにて例会「商工会議所の業務内容と活動に就いて」を会議所業務課長木村熟氏から又「中小企業相談所の業務に就いて」を同所相談員大場氏より聴いた。会員からの発言として、会議所は特定事業所や大会社に目を向けている感じがあるので、会員の拡大等底辺にも力を入れて欲しい等活潑な意見が多かった。

7月7日 水産ホテルにて例会「あすなる48年前半を顧みて今後のあり方を探る」と題して自由討議、出席率も72%と再近にない出席で時間も大巾超過し盛り上りのある内容であった。小沢会員より欧州視察、太田会員より米国視察談があり、新入会員として、川口征、名和重保両氏が入会し会員は46名となった。

7月14日 釧路夏祭り厳島神社例大祭に供奉班10名、指揮班9名が参加する。

8月7日 水産ホテルにて例会、公認会計士坂野洋二氏を招き「人の動かし方、新しい指導力の考え方」について講演を聴く。新入会員として伊藤史顕、寺前利彦両氏が入会し、休会中であった清水会員が復帰した。

8月19日 北斗園にて夏期レクリエーション実施、参加者はゲスト4名を含め41名であった。

9月6日 水産ホテルにて例会「各業界の最近の動向と商品の状況」と題し各部会より各2名の会員から、品薄、価格推移等生きた情報を聞いた。

10月6日、7日 管外研修として旭川市を視察する、参加者13名道東都市を訪問研修すべく年中業事として取入れ、北見、根室、帯広中標津と回り今年は池田、厚岸、網走等と候補地が上ったが、今年は特に小売部会からの強い要請により、話題の旭川買物公園視察となっ

・ 根室沖地震

・第一次オイルシヨ
ク

・旭川医大スタート

・人口205,854人

・チューリップフェア
ー開催される

た。距離的にも時間がかゝり、参加人員も不足ではあったが敢て強行した。時間不足で例年実施している商工会議所とのディスカッションは行えず、旧会員であったホクサンの高橋力氏の案内役を予定していたが、それも不参加で卸売団地も見学出来ず、買物公園見学のみで終わった事は残念であった。横山、安藤会員が指摘する様に店舗自体は目に止るものがなく、むしろ照明、陳列等は帯広市の方が一歩進んでいるのではないだろうかとの評があった。併し買物公園造成に当り道の広域商業診断の結果小売業の停滞を指摘され加えて「将来は札幌経済圏に包含されるであろう」と未来学者から云われた事が商工会議所創立記念事業として買物公園構想が生れるきっかけになり、若手経済人が主体となって会議所、商店街と市が都市再開発の一環として平和通100mを対象に実施されたものである。高橋力氏は「農と漁の違いからか釧路独特の活潑性（ダイナミック）はなく静かな街であり静かな商売をしている」と云われるが市民性は静であり乍らも根強さと協調性に富みこの様な全道的に羨む公園が出来たのであろう。振返って釧路を顧みる時如何に市と経済界との溝が深いか、旭川市を訪ね乍ら各会員の心の中に只々羨望のみがあったのではなかろうか。狩勝峠を経、紅葉の連山を眺め乍ら全員無事帰釧する。

11月7日 水産ホテルにて例会「釧路市長、市議選挙をふり返つて」と題し釧新社長片山睦三氏より講演、今選挙の特色、内容分析を聴いた。新入会員として、早川源之進、池田哲夫、両氏が入会した。

12月3日 水産ホテルにて例会 テーマ「証券から見た日本経済の動向」野村証券次長の講演を聴く。

12月7日 於東映ホテル 出席会員41名、家族76名、ゲスト10名計127名の盛大なクリスマス会であった。

昭和49年 49年1月20日 第12期総会を十条会館にて

12期事業、決算報告を承認、役員改選の結果、会長に最上勇、副会長綿貫利次、森下勇、事務局長田中歳晟、監事に太田敏雄、室本義信各会員が選出された。

2月14日 水産ホテルにて例会 会長の運営方針、行事及予算案の審議、部会活動についての案件を承認決定する。

3月14日 水産ホテルにて例会 最上会長のスピーチで「販売、計画の作り方と実例」を聴く。先日実施したあすなろ健康教室（体力テスト）の結果報告があり、会員一同日頃の運動不足を確認した。

4月6日 水産ホテルにて例会 部会報告が小売部会横山会員からあり、①商品流通の問題、②商業道德、③長崎屋釧路店進出についての情報、④幣舞橋かけ替工事にともなう橋南地区商店街のあり方について語り、小売部会は年に3回から5回部会を開き研修する事の決定報告があった。又モデル貸銀についてパネルディスカッションを行う。

5月7日 水産ホテルにて例会 金融引締の状況下低金利で如何に資

- ・道知事選にて無所属
で保革対決(堂垣内、
五十嵐)

金活用を行うか、「中小企業金融制度のあり方」のテーマのもと商工会議所八町専務理事と中小企業相談所大場次長から説明を受けた。あすなろチューリップ委員会が発足、委員長に伊藤、副委員長寺前、委員に安藤、名和、高橋、細川各会員が選ばれた。雄阿寒岳の登山会を6月23日に決定し、リーダーを安藤会員とした。

6月 水産ホテルにて例会、釧路市役所都市建設部長、小笠原政一氏を招き、「北方動物園について」市は大規模のレクリエーションセンターを造る計画の一つとして北方動物園を山花盆地に570ヘクタールの面積で、釧路駅より18km、空港より2kmの地に50年秋を目指し8億8000万円の費用と68種類、328点の動物を収容する説明があった。又釧路川河畔駐車場については、路面駐車が出来ない場合は8000台の車が有料駐車場に収容されなければならない実態であり、市内には現在有料その他の駐車場が2700台の収容能力がある。河畔駐車場完成によって400台の駐車可能の計画発表があった。南大通の再開発については、(南大通、入舟、大町)の住民の協力が必要であり、市としては高層住宅街としたい計画もあるが、種々問題がある様である。

7月7日 水産ホテルにて例会 厳島神社例大祭参加依頼と、新会員である池田哲、早川、高橋、寺前、名和、細川各会員より企業内容紹介と3分間スピーチがあった。

8月7日 水産ホテルにて例会 釧路商工会議所議員選出について、会議所事務局長森田博一氏をゲスト講師として会議所事業の概況と議員の資格、目的、組織、議員数について説明があった。あすなろクラブからも議員選出をとの声があり、討議の結果役員会で再検討する事とした。

第2回あすなろ健康教室(体力テスト)を9月中旬に、中央卸売市場見学を夫人同伴で10月中旬に実施する事とした。

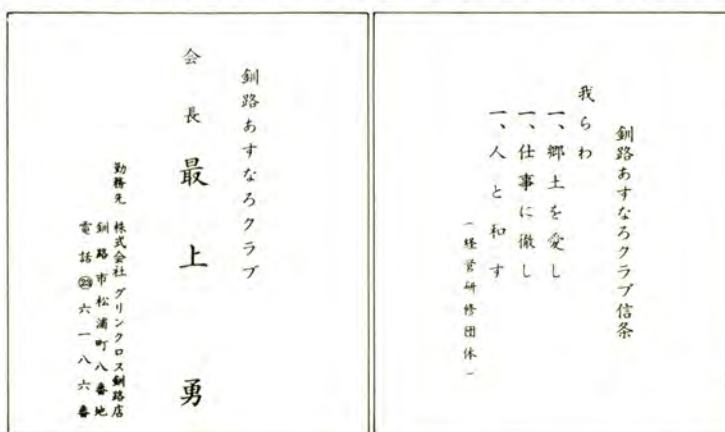
8月18日 北斗園にて野外レク実施。参加者44名、開園式後会長より1日園長に川田、審判長に小沢各会員の任命があり、子供を主体に家族共々夏の日を楽しく過した。

9月7日 水産ホテルにて例会、土曜日と各会員事業所慰安旅行会等と重なり出席者14名と今期最低の出席率であった。テーマを「釧路商工会議所議員選挙について」とし自由討議とした結果次の項を決め再度調査、検討する事とした。①会員中現在の持株数と協力株数、確保株数、②会員中議員選挙立候補予定者の有無、③会員外での推薦候補者の有無、恒例の管外研修旅行を計画すべきとの声多く再検討する事とした。

9月29日 計画中のチューリップ球根植込み作業を日曜日にもかゝらず、横地顧問を始めとして28名参加し、緑一杯運動事務局加藤氏の指導のもと来春の開花を期待して約90分で植込みを完了した。

・北海道神宮焼く

引続き釧路陸上競技場にて第2回あすなろ体力テストを行った。横地顧問の運動神経は抜群で、日頃の鍛練の結果と参加者一同脱帽と尊敬。



10月19日 管外研修地を「秋味とワインの町」池田町とし、参加者17名、自家用車8台で出発する。

池田町役場片桐商工課長の案内で、いきがいセンターを見学、「老人福祉は単に保護だけではいけない、身体の動かせる内は、自分自身の為にも家族や社会に役立っているという、いわゆる生きがいのある毎日を送る事が出来る様な対策が必要であろう」との声に会員一同うなづく。続いて地下1階地上3階の西欧の城にも似せて総事業費6億3600万円を投入したワイン工場を見学、工場内は全てオートメーション化しワインの香りが心地よく、アルコールに弱い池ヶ谷会員は早々に顔を赤らめていた。工場内会議室にてクラブの特別例会を開き、片桐課長から池田町の特色ある事業及行政全般について聴いた。終って工場3階の町営レストラン特別席にてワインとステーキにて会食、翌朝食後例会を開き、商工会議所議員選挙の件につきミーティング、ホテル前にて記念撮影後解散した。ワイン工場、牛肉銀行、町営レストラン、生きがいセンター等町営事業にかける丸谷町長の行政手腕に会員一同敬意を表し帰釧した。

11月7日 栄町会館にて例会 管外研修報告と釧路商工会議所議員選挙結果報告。

12月6日 東映ホテルにてクリスマス家族パーティー、会員出席43名、家族56名、ゲスト10名、当番は小売部会の楽しい笑と温いふんい気をかもし出すプログラムで、餅つき、そば、すし、アイスクリーム、やき鳥等屋台コーナーも設置し、又歳末助け合い運動の一助として各会員から不要品を持ち寄り、チャリティーにての売上金を釧路新聞社を通じて寄附し楽しい一夜を過した。

・人口208,809人

昭和50年 50年1月26日(日曜日)午後2時より栄町会館においてあすなろクラブ 第13期総会を行う。出席者数30名。

今年もあすなろクラブ同志がお互いの信頼感を深め、あすなろクラブ

・ 釧路動物園開園

の信条に基づいて行動しクラブの発展を……との最上会長の挨拶に始まり引続き、今田会員が、議長に選任されて議事の審議に入る。田中事務局長より昭和49年度の事業報告、決算報告があり、引き続き室本監事より監査報告があり満場一致で承認される。役員の改選に入り役員選考委員長の稲垣会員より選考の経過ならびに選考報告があり三役留任を満場一致で決定した。新役員は次の通り。会長、最上勇、副会長、綿貫利次、森下勇、事務局長、田中歳晟、監事、岩田守、佐藤六郎、相談役、稲垣友則の各会員。尚会則の一部改正があり会費が従来の1500円から昭和50年より月額2000円に改正されました。又納入方法は3ヶ月毎に例会日に持参し前納することになりました。以上今田議長のもとに慎重に審議され無事総会を終了し引続き別室にて懇親会に入り横地前会員の特別参加もあって和気藹々の内に散会した。今年より新しく川畑洋服店の店主である川畑仁氏が入会をし今まで我々と共に活動してきた鈴木電気商会の鈴木昇会員が都合により昭和49年12月31日付をもって退会致しました。

・ ホルムスク市と姉妹都市の提携

2月の例会は2月14日午後6時より栄町会館にて行う。本年度も出席率の向上を主に、種々クラブの運営に関し改善を実行するので、会員の協力をとの最上会長の挨拶に続き今年から入会した川畑会員の挨拶自己紹介があり審議に入る。今年は知事選挙の年であるので、来賓として堂垣内釧路後援会委員長である鰐淵俊之氏を迎え経済水域問題や今後の道政のあり方など非常に参考になるお話しをして頂く。又浅川政敏氏には故浅川会員のお話しと当クラブへのお礼のことば、又道議への出馬表明と支援を要請される。その後50年度の予算案の審議に入り1月総会にて会費の変更に伴い2月例会の審議となっていた50年度予算案が事務局原案通り承認される。部会の報告に入る各部会共有意義に話し合いが行われ種々の提案、意見が出される。

3月の例会は3月7日午後6時より場所を水産ホテルに移し行う。3月の例会は水産都市釧路として非常に関心のある海洋法問題、特に経済水域200カイリ規制を釧路経済への影響について釧路市役所、長尾水産部長を講師として招き勉強する。昭和49年の第3次海洋法会議で経済水域設定について各国から色々な意見が出されたが結論が出ず早ければ現在行なわれている第4回の会議(ジュネーブにて開催中)にて200カイリ経済水域設定の結論が出るものと推測されるとのこと。200カイリ水域が決定されれば、釧路の経済に及ぼす影響は大であると云うことを実際に数字を示して説明をして頂く。

4月の例会は7日午後6時より水産ホテルにて行われる。釧路市民の生活を守る条例について商工会議所の八町専務を講師に招き勉強するこの条例の目的は日常の経済生活又は経済の異常な事態における消費者の利益の擁護及び増進に関し、市、事業者及び消費者の果たすべき責務を明らかにするとともに基本的施策を定めその施策の推進を図り、

・ 釧路第一高校紛争

もって消費者の権利の確立と市民の消費生活の安定に資することを目的とする。となっている。我々商売を営んでいる者としては色々問題があり今後も注意し関心を持って行く必要が有る様である。

5月7日午後6時より水産ホテルにて例会を行う。今月の例会は春闘と賃金等の問題について会員によるモデル賃金についてパネルディスカッションを行う。卸部会の或る会員の会社を例に取って見るとベースアップは15%で決定され又昭和10年生れ(40才)勤続年数15年の者で基本給138000円年収240万円である。尚この会社の50年度の採用賃金は高校卒業者で、男子社員6万円、女子社員5万8000円にて決定されたとのこと。

6月例会水産ホテルにて午後6時から行う。今月は小売部会の岩田会員に講師になって頂き石油の現状と見透しと題してお話しをして頂く。48年の第1次オイルショック以降石油の情勢は非常に流動的であるが灯油はパニック以降の価格凍結の為現状ではA重油よりも安い状態である。又国際的石油情勢は、今後共中東問題等もあり依然不安定、不確実な見透しである。販売店の立場として価格の問題には対メーカーへの関係もあり需給バランスへの配慮等苦心が多い、現在釧路市内には85ヶ所のガソリンスタンドがある等々原油から各製品までの広範な講演をして頂き各会員からの質疑も非常に身近な問題だけに活発に行われ盛会の内に終了する。6月8日午後3時より図書館前のチューリップ花壇の整備を行う。終了後チューリップを観賞しながらジンギスカンで会食をする。

7月例会水産ホテルにて、今月は小売部会から池ヶ谷会員が、自転車業会の話、卸部会から稲垣会員が、食品の安全について、工業部会から川口会員が醸造の話、について5分間のスピーチを行いその後、最上会長より厳島神社祭の再度の協力要請と参加者の確認を行い指揮班10名供奉班10名にて編成されることになりました。20日には図書館前にあるクラブのチューリップ花壇にてチューリップ採根を行う。去年の9月に球根の植込みが行われ今春立派な花が咲き釧路図書館や市立病院の患者の方々から喜ばれておりましたが、球根は参加した会員に分配し各家庭に植えて頂きました。

8月の例会は釧路経済の近況と下期の見透しと題して、釧路商工会議所八町専務を講師に迎えて水産ホテルにて行う。8月は家族野外レクリエーションの行われる月である。17日に北斗園にて41名の参加のもと行われる。年に1回の家族同伴のレクリエーションで、会員も童心にかえり楽しい1日を過す。

9月9日午後6時より水産ホテルにて例会を行う。今月は10月18日行う予定の管外研修の打合せとフリートキングで終了する。26日にクラブ花壇において参加者22名でチューリップの球根の植込みを行い終了後ジンギスカンで会食をする。

・ 釧路港7年連続日本

一

・不況深刻化で倒産ラッシュ

・人口211,600人

10月、今月は管外研修の月で、秋晴れの18日-19日(日曜日)



週末2日を網走にて過しました。

18日正午16名の会員が参加し松田会員の厚意によるマイクロバスに乗り紅葉の阿寒国立公園を通り一路網走での宿泊ホテル大観に向う。16時ホテルに到着し30分の休憩の後、最上会長より網走

釧路両市の商業的継りに於ける関係の拡大と市民交流の増大等、今後共良き隣り街的意識を持ち合いたい旨の挨拶が有り網走側から網走市役所経済部長三代川氏、商工会議所庄田専務理事より「網走の現状と将来計画、について講演が有り、終了後会食懇親会と成り来賓二氏を交じて活発な意見交換が行われる。翌19日は朝9時半にホテルを出発し天都山より網走を一望し網走水族館を見学、モヨロ貝塚へも行き午後3時半阿寒湖畔での昼食を終え無事帰釧する。

11月例会7日水産ホテルにて午後6時より行われる。議題は網走の研修会の報告、クリスマス会打合せ、51年度の役員改選選考委員会の件などで50年最後の例会と成る。

12月は6日に商工会館にて参加者111名でクリスマス家族パーティを行う。年末チャリティーオークションや、小学生や幼児による歌、ゲームなど、なごやかなうちに無事終了する。

今年1年を振り返って見ると第2次オイルショックによる景気の低迷又200カイリ水域設定による釧路経済にあたえる影響など、非常にきびしい年でしたが、全員相互の信頼と団結によりこの困難を乗り切っていく事が一番大事な事であると痛感される。

昭和51年 51年1月25日(日曜日)午後2時旅テ市川を会場にして、あすなろクラブ 第14期通常総会を開催する。出席者数33名クラブ信条朗読に続き最上会長より50年度は、我々企業者にとつては非常にきびしい年であった。今年もオイル問題、200カイリ問題等釧路経済にとつて困難な年になる事が予想されるが、会員相互協調し手を取り合ってお互会員の企業発展に努力しようとの挨拶があり、議長に小澤会員を選出し審議に入る。田中事務局長から昭和50年の決算報告と事業報告があり、太田監事から監査報告が行われすべて満

・公立学校の主任制度
発足

場一致で、承認をされる。引続いて役員改選に入り51年度の新役員が決定する。会長、川田春旭、副会長、安藤昭二、太田敏雄、事務局長、横山寿人、事務局長、佐々木保幸、本間鉄夫、監事、小林久雄、田中歳晟、相談役、最上勇の各会員。以上決定し無事総会を終り懇親会に入る。

2月13日午後6時から水産ホテルに於いて臨時総会を開催する。議長に小澤会員を選出し51年度事業計画並びに予算案の審議を行い原案通り会員の可決をいただく。1月の総会時に役員会に附託された休会者の取扱いについては病氣療養のためのみ認め医師の診断書を添えて届け出る事に決定。あすなろクラブ、チューリップの花壇造成については本年度も継続事業とし予算の範囲を縮小してパンジー、キンレンカ等の植込みを併せて行う事にする。監事の役務は従来通り会計と事業の両方を見て頂き役員会にも参加して会務を全般的に見て頂く事。プロジェクトチーム問題に関しては会員の意見を吸収して前向に検討すること。以上の事を決定して臨時総会を終了する。引続き部会報告、役員会の報告があり2月の例会と臨時総会を終了する。

3月の例会は、研修の月で今回は会場を敷島商会に移し「酒のできるまで」をテーマに研修会が開かれました。瀬村会員よりお酒のできる過程について説明、又酒税についての話があり、全国で1年間に1兆円の酒税が払われているとのこと、さすが酔ばらい天国日本ではの話である。研修会後会員全員でキキ酒に挑戦しお酒のまるでだめと云う池ヶ谷会員が、銘柄等級を当てたのには一同びっくり、眼下に釧路の夜景を見ながら原酒濁酒の味は又格別であり、残り少ない冬の一夜を地酒を味いながら楽しい研修会を過ごす。引続いて来年行われる予定のあすなろクラブ15周年記念の準備委員が、次の通り決定し川田会長より委嘱状が渡される。儀政政夫、梶正義、今田英三、稲垣友則、最上勇、小澤敏男、池ヶ谷栄一、森下勇、各会員以上。

4月の例会は講師に商工会議所中小企業相談所、木村勲所長を招き春闘賃金問題について聞く予定のところでしたが气象台開設以来の春の珍事とも云える道東地方を襲った豪雪により流会となる。各職場も早々に店じまいをし従業員を家に帰す等、あわただしい1日であった。又この日は市内各小学校の入学式、新1年生には恨みの雪であり一方では吹雪のために行倒れになり死亡すと云う悲しい出来事もあり道東地方に大きな痛手をもたらした出来事であった。

5月の例会は7日午後6時より水産ホテルにて開催される。4月の例会が、春嵐のため流会と云うこともあり5月例会は出席率70%と云う好成績の中で開かれる。ゲストの市福祉事務所々長川村淳一氏の福祉行政についての講話があり、福祉行政は国、地方自治体と云う行政だけの問題ではなく官民一体となって福祉を進めて行く事が今後の大きな課題であるとのこと。15周年記念実行委員会の第1回の役員会

・北海道庁で爆破事件

・ 苫東港建設スタート

が5月20日に開かれ委員長に小沢敏雄会員、副委員長に森下勇会員が選出されたと事務局から報告がある。

6月の例会は7日午後6時水産ホテルにて開催される。6月例会は、講師に不動産鑑定士田中芳雄先生を招き不動産問題について勉強会が行われる。非常に関心の有る問題であり会員も不動産管理に苦労していると見えて活発な意見、質問が出される。引続きゲストの厳島神社の菊地宮司より神社祭典の協力方をお願いがありました。

7月の例会は自由課題の月であり沢野会員を講師にお願いし登記についての諸問題をテーマに質疑応答を行う。釧路の夏の恒例厳島神社の祭典は非常な好天に恵まれてあすなるクラブ会員の奉仕により（出席者24名）にぎやかな内にその幕を閉じました。役員会報告の中で長年会員と共に勉強して来ましたが渡部会員が私事都合により退会したいとの申し出がある。役員会で協議した結果退会を承認したとの報告がある。

8月例会は講師に釧路商工会議所専務理事八町良三氏を招き長崎屋、㊦ツルヤ新装オープン後の商業界の現況と今後の展望について講演していただく、今後本州資本の大型量販店が釧路にも進出して来る事が予想され低経済成長で景気が冷え込んでいる中、大手が進出して来る事により釧路の商業界も非常にきびしい時代をむかえる事が予想されるのでお互慎重にかつ英断をもって企業発展に努力する事が大事であるとのこと、又今月は野外レクリエーションの月で1日北斗園にて家族同伴のもと実施される。参加人員は会員、家族合わせ総計60名参加し、ジンギスカン鍋を囲んで各種ゲーム並びに西瓜割り大会等盛況のうちに無事終了する。

・ 根室本線庶路駅で上り「おおぞら3号」脱線

9月例会 浜中町政研修 25日（土曜日）参加26名 午後4時町営観光ホテル着、早速遠藤助役より町政全般の説明をきく、ムツゴロウ作家の動物牧場うら話、40%が根室経済圏の実態、上水道料金が市の3倍で、頭数が人口より多い乳牛飲水を町民が呑んでおるなど興味ある話が多かった。研修後、助役を囲み新鮮な魚料理で懇談する。全員牛乳風呂でつかれをいやし翌朝、記念撮影の後、道立公園を視察する。

10月例会7日（木曜日）午後6時から水産ホテルにて開催する。川田会長の挨拶に引続き病気のため入院しておりました工業部会の伊藤昭会員が、元気で出席され全快の挨拶がある。今月は釧路市の現況と題して釧路新聞社営業局長横沢氏を招きお話していただく、10月14日パークホテルに於いて15周年実行委員会の第3回目の役員会が開催され最終的な形が出来上ったとの報告があり例会を終了する。

11月例会は講師に釧路支庁商工労働課長喜沢達之氏を招き労働賃金問題について講演していただく。大手企業と中小企業の賃金格差の問題又売上金額が賃金のアップ率について行けない等我々中小企業者にとっては非常にむづかしい問題が山積しているので、そうとう慎重な

企業努力をしなければ、この企業競走から脱落してしまうとの話があり会員も真剣に質問をし緊張した雰囲気の中で例会を終了する。

12月4日卸部会の当番にて東映ホテルを会場に恒例のクリスマス家族パーティを行う。めったに参加しない奥さんや子供達が楽しそうにゲームや歌に興じ恒例の年末チャリティーオークションを行い盛会の内に無事終了する。



・人口213,807人

・釧路市長に鰐淵氏当選なる

昭和52年 52年1月26日14時第15期総会を栄町会館に於て開催出席者数38名を数えた。事業報告。決算報告及び監査報告があり質疑応答ののち満場一致で可決。役員改選を選考委員にて行う。その結果会長に川田春旭、副会長に太田敏雄、安藤昭二、事務局長に横山寿人各会員が留任、監事に米田慶、伊藤昭各会員を決めた。直ちに新役員による第16期の事業計画案、並びに予算案を提案。審議の結果、



慶弔規定の一部と入会金の改正案と共に承認可決された。

2月20日東映ホテルに於て15周年記念式典を開催。

3月14日 水産ホテルにて例会。講師に釧路機船漁業協同組合専務の中井照夫氏を招き「200海里規制が水産都市に及ぼす不利益について」現場を把握しておられる講師が、この問題は唯単に水産関連企業だけでなく、全市的な問題として市民1人1人が事の重大さを痛感して欲しい。又規制が実施されると釧路市の全人口の約3割の人達が影響を受けると切々に訴えられた。我々会員は此の問題に如何に対応すべきか、今後の動きをよく研究して進まねばならないと思った。現在釧路の漁業は遠洋漁業が主力で他国の200海里内の漁獲物が全てと云って過言でない状況です。米、加、ソ3国の200海里内入域を

・桜ヶ丘小学校火災

認められなければ釧路の漁業は壊滅的打撃を被ることは必定であり関連業界への波及は多大なものです。最近は特に「獲る漁業より育てる漁業」と云われますが此れも一朝一夕に出来るものではありません。会員個々の努力と協力が何とか水産都市釧路を守る一助になれば幸いと感じた。

4月7日 水産ホテルにて例会。講師に日本銀行釧路支店次長の篠原祥次郎氏を招き「200海里問題が釧路市経済に如何に大きな影響を及ぼすか。」と題して講演。3月例会と同じ200海里がテーマの話でしたが、中井、篠原両氏の勤務先の違いから、観点のとらえ方の差が新鮮な内容として聴くことが出来、なお2ヶ月続いての200海里問題の講演でより一層の深刻さで大変な問題と云うことが浸透された今後機会あるごとに取り上げて欲しい研究テーマだと思った。

5月7日 水産ホテルにて例会。会員相互の研修目的で岩田勉、安藤昭二、伊藤史顕の3会員が企業が直面している「ベースアップ及びボーナス斗争等の賃金問題」について発表があり続いて活発な質疑応答があった。業種の違う企業の意見でしたので比較対照して聴く事が出来参考になった。戴会員より「中標津との交流座談会に出席して」の報告と自社の「200海里問題の対策と展望」についての発表があり1企業が独自の200海里対策を検討している事に感銘を受けた。

・有珠山が噴火

6月7日 水産ホテルにて例会。前月に引続き会員相互研修で「低成長時代の各企業の現況報告」と題して池田武文、石井亮一、最上勇、本間鉄夫の4会員が企業の状況と、今後の企業運営についての詳細な説明があった。1次2次のオイルショック、200海里規制と続く低成長という名の不況。今こそ企業努力とあすなる精神でこの危機を乗り切らねばならないと痛感する。

7月7日 水産ホテルにて例会。高谷正行、綿貫利次、瀬村哲雄、三国仙二、清水武敏、細川猛夫の6会員より各企業の現況について発表があった。同一テーマを2ヶ月連続で会員によるスピーチは当クラブ始まって以来の事であり、それだけ意見発表する会員企業の苦悩とそれ以上に不況を克服する為の努力がひしひしと聴く会員の心にしみ込んで大変有意義な2ヶ月間であった。7月24日北斗園にて家族レク開催。好天に恵まれた当クラブ恒例の家族レクリエーションが28世帯63名の参加を得て市役所前をバスで出発。先発隊によって準備万端整えられた会場に到着。早速ジングスカンを囲み、ゲームを楽しみ青空を相手に酒を痛飲する人、子供と奥様に日頃の罪滅ぼしをする人等短い釧路の夏を十分に満喫した日でした。又途中より鰐淵俊之氏（市長候補）も特別参加があり子供達と一緒に1時間余りを過して親睦を図り、会員より市長選挙での健闘を祈念した。（10月の選挙に於て現職の山口哲夫氏を大差で破り当選された事を追記しておきます。）

9月7日 水産ホテルにて例会。北電道東支店長の小林富治氏と千葉

- ・ 釧路市内で12月29日
未明から13時間余、
断水パンク
(17,000戸)

営業課長の両氏を招き「電力事情」について講演を聴く。火力、原子力、ガスタービン等の発電所の建設、海底ケーブルによる本州からの送電等で電力不足を解決する為の努力を日夜続けているとの話でした。然し現代の生活に於て一番不可欠なものは電気です。蓄めておく事が出来ず発電能力も決っております電気が一番浪費されている。年々増加する消費電力を節電に協力するという市民一人ひとりの気持ちに頼らざるを得ないという現状と上手に言えば無尽蔵の財産の電気の安定供給を願う為にも我々会員は少しでも節電に協力しようと誓った。



10月15日、16日は管外研修。本間会員のお世話で川湯温泉にある十条製紙川湯寮に於て21名の会員参加で開催された。当日は札幌在勤の元会員でありダイカ倶常務の大宮豊頼氏に「低成長時代を生き残る道」と題して約2時間

30分、経験を基礎とした貴重な話をユーモアを交えて講演を願った話の中に低成長を口にするな。伸びる道は多種多様にある。その為には健康でかつ健全な社員集団を造りなさい。と云う言葉があり、この事は我々企業にとって改めて考えなければならない問題と深く心に刻み込んだ。好天と講師にも恵まれ、有意義な研修旅行であった。ここに札幌よりおいで頂いた大宮氏に深く感謝致します。

11月7日 水産ホテルにて例会。講師に北海道新聞釧路支社報道部長の谷口弘一氏を招き「釧路市の経済状況と選挙戦」と題して講演。長引く不況を乗り切るには、状況を適格に把握したうえでの企業努力が必要であるとの事、各会員企業の不況下での健闘を期待致します。又市長選に於ける保守系候補である鰐淵氏の当選は釧路市民多数の長年の希望であっただけに今後、国や道に対する陳情、予算の獲得等に有利に働らくものと思います。低成長下の一筋の光明として新市長の手腕に期待致しますと共に当選をお祝い申し上げます。

12月3日、東映ホテルに於て恒例の家族クリスマスパーティー開催。来賓、会員と家族合わせて123名の参加を得て盛大に挙行された。小売部会全員によるクリスマスキャロルの合唱にのってサンタクロースが入場すると会場の子供達の歓喜の声、パーティーでの楽しい語り

・人口215,057人

・釧路市、東京事務所の設置

・労使紛争の釧路第一高校18年の歴史を閉じる

・造船不況に悩む函館ドックはついに30万屯ドック売却従業員の半数に近い1,199人の人員整理

チャリティーオークションのハッスルぶり、その他ゲームやのど自慢子供達待望の餅つき。楽しく愉快的なプログラムの進行によって此の1年の不況を吹き飛ばす様な楽しい一夜を過し、例年通りオークションの売上金を釧路新聞社を通じて寄付をした。1年を振り返ってみると200海里問題に始まり低成長時代と云われる長期不況と暗いニュースばかりでしたが、我々長年の願望であった保守系市長の誕生は昭和53年度に明るい希望として期待出来るものと思います。

昭和53年 53年1月28日(土)於栄町会館、第16期総会、各議案が原案通り可決され役員改選の決果、会長に松田忠、副会長本間鉄夫、多賀輝夫、事務局長伊藤史顕、監事田中幸一、岩田勉各会員を選出した。

2月14日例会 於水産ホテル 梶会員と池田哲夫会員より新事業創設の挨拶があり、引続き各企業の「現況と将来の展望等」と題し、加藤、高谷各会員より又、三国会員は「青少年非行の問題について」名和会員は「北大通りメンストリートでの商売の問題点」について発表した。

3月7日臨時総会 於水産ホテル 会則の審議を行う。

4月7日例会 於水産ホテル 部会報告と「創立時のあすなろ」について、今田、儀俄両会員から説明があった。5月8日例会 於水産ホテル、ゲスト講師に釧路商工会議所木村勲常務理事を招き「釧路の経済情勢について」を聞く。

6月7日例会 於水産ホテル「楽しい国外旅行」と題しツーリスト釧路営業所長森沢操六氏より海外旅行に於ける注意点その他外国の特殊事情と、もし日本沈没があるならば森沢氏は東南アジアではシンガポール、アメリカ地区ではメキシコを選ぶであろうと結んだ。旅行同好クラブを設立会員を募集し7月から毎月1万円宛積立てる事とした。7月7日例会 於栄町会館、太平洋炭礦提供PR映画観賞、定年退社のためクラブを退会する小沢会員に松田会長より感謝状の贈呈があり労をねぎらい送別の宴を開き感謝を表した。

7月15日厳島神社例大祭協力参加、指揮班11名、供奉班10名の出席行の指揮にあたった。

8月20日 家族レク 於北斗園 出席76名

各部会正副部会長の実行計画のもとに、部会対抗ゲームを中心にたのしい小運動会を行い去り行く夏を陽光のもと自然にとけ込んだ1日であった。

9月7日 例会 於水産ホテル、ゲスト講師、国鉄釧路病院 平元嘉光院長 テーマ「現代の性の動向と対策」1.性に関する情報の氾濫 2.性の羞恥心の鈍化 3.性差の縮小化傾向 4.性成熟の加速化傾向と性体験の増加等の観点で講演があり、結論として現代の若人は性の試行錯誤が激しいのでモラルを側面から援助しなければならないと力説

- ・旭川市長に保守系坂本徹氏当選16年ぶり

- ・釧路港水揚げ全国一「V10ならず」

- ・人口216,012人

- ・釧路港水揚げ量全国一に返り咲く

し90分の研修を終った。

10月14日 管外研修 弟子屈町 出席20名

町商工会 本山参事 町役場 秋元商工観光課長をゲストに招き、町名改正問題 観光問題更に青年層の定着等町が当面課題として取組んでいる懸案事項についての説明をきき質疑応答があり、別室の懇親宴に移ってから活発な意見の交換を行い、経済圏を共にする隣町として実り多き研修であった。

11月7日 於水産ホテル 伊藤(史)会員のスピーチ「水増し船について」法を無視し、かくし屯数の漁船についての実態となぜ水増しをしなければならなくなったかの概要の説明があった。梶会員が退会するに当たりその労をねぎらい松田会長より感謝状の贈呈と送別の小宴を開き惜別をした。

12月2日 クリスマス会 於商工会館 出席会員家族126名

当番会工業部会の特別の演出でソウルメイツの開会ファンファーレに幕が開かれ伊藤会員のユーモアあふれる司会のもとに年忘れにふさわしいふんい気のなか盛沢山のプログラムも進み恒例のチャリティセリはプロ級の寺前会員により行われ収益金は市民会館建設資金に寄附することになり、チャリティの浄財を報告し、岩田会員制作のシンボルを卸部会長に継承し、多賀副会長の万才三唱で53年の幕を閉じた。道東経済圏の確立、200海里水域規制による水産基地の再編成12年にわたる山口革新市政から、わにぶち市政への市政のめざめ、まさに釧路市民にとって激動と変革の53年であり、クラブにとっても、創立功労者の退会、若き会員の増加等創立15年を越えて新しい意識の芽ばえを感じた12ヶ月であった。 後記 木内

昭和54年 54年1月21日15時から 第17期総会が出席会員31名で十条会館で開催された。 信条朗読のあと、松田会長から「1年間会の運営が円滑に出来たのも会員各位の協力と役員各位の努力のお蔭で心から感謝申し上げる」の挨拶があり、直ちに議長に川田相談役を選出 第1号議案 第17期事業決算報告の件、第2号議案第17期監査報告の件、第3号議案、慶弔規定1部改定の件(3,000円を5,000円)を一括審議承認 第4号議案、役員改選の件は選考委員報告と会長指名により 会長 小林久雄 副会長 岩田守、伊藤史頼 事務局長 川口征 事務次長 小林善雄、加藤善雄、監事 瀬村哲雄 池ヶ谷栄一の各会員が決定した。 第5号議案 第18期予算並びに事業計画案は原案通り承認、議事終了後、別室にて懇親会にうつった本間、清水会員から清酒の寄贈などあり懇親の宴もなごやかなうちにも盛り上りを見せ19時総会は終了しました。なお総会席上早川会員に新築のお祝いを会長から差し上げた。

2月14日 例会 於水産ホテル

新執行部提出議案として 小林会長から

- ・北見市の人口が10万人を突破本道で9番目

1. 会員増強に関する部会の協力について
2. クリスマス会献金を20周年記念資金に充当の件
3. 建国記念日参加について
4. 道議会選挙に 浅川議員推せんについて

以上4点の趣旨説明があり討論の上原案を決定する。

会員スピーチ

細川会員 視聴覚教育について

三国会員 最近の青少年非行問題について 活発な質問もあり、レポート発表にあたり共鳴する事が多く有意義なスピーチであった。

3月7日 例会 敷島商会会議室

ゲスト 大久保釧路支庁長 小林会長からゲスト紹介、支庁長の挨拶があった。

研修 清酒の工程と酒税について 小笠原敷島商会営業部長（酒税1日1億円）（税収順位No.3） 研修後 きき酒大会 1位 大久保（支店長）2位 小林（会長）大会終了後賞品授与と敷島商会提供の新酒粕を頂戴する。

4月9日 例会 日本銀行釧路支店会議室

講師 支店長 島村高嘉氏

講演要旨 (1)最近の金融経済情勢と3つの焦点（石油、円安、物価）(2)道東の景気と経済（道東75万人の貯金額は1兆円、又日銀支店から払出しは3,000億円、入金額は2,500億円で差額は他地区に流出）(3)日本銀行の歴史と釧路支店の開設（明治26年北海道開拓公金として根室出張所開設 昭和27年釧路支店）(4)公定歩合について 講演終了後支店長の案内で行内を見学した。吾々経済人として政府機関銀行の仕組と内部を見聞したことは大きな収かくであった。

5月7日 例会 於水産ホテル。

ゲスト講師 丸善石油北海道支店次長 高木泰作氏。

講題 最近の石油事情について。

（要旨）S48年の石油パニックは政治的に作られた石油危機であり石油関係者の苦しみは想像以上であった。

1バレル＝159ℓ、63バレル＝1,000ℓの換算となる。本年度パニックとならなかった要因は、北海とアラスカに産油があった事と備蓄水準が高かったこと、更にIEA（国際エネルギー機関—19ヶ国加盟）の緊急ゆう通システムがあり、サウジとイラクが生産量を増やしたこと、輸入量は前年度と同じだが、原油の中味が需要構造に合致するものでなくなったことが、軽質油の不足となって現らわれている。原油の質の問題で、今後中間3品（灯、軽、A重油）の動静が心配である。然し、1人1ℓ1年間節約すると、11万Kℓの節約となるので国民の理解と協力が必要である。

6月7日 例会 於水産ホテル

- ・札幌市の人口が、1
3 7 万 4, 7 1 5 人 6
大都市入り

会員スピーチ 田中、高谷（工業部会）会員

テーマ「建築と設備に就ての基礎常識」

(1) 釧路圏—釧路市及び釧路町

(2) 市街化調整—5 年単位で改訂が行なわれる

(3) 市街化区域—既に市街化区域と 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化される区域

(4) 調整区域—市街化を抑制すべき区域

＜質問事項要旨＞

(1) 塀の位置—隣りの了解で境界線に建てる方が良い—境界杭は残すべきである

(2) 基礎の深度は—釧路の凍上度は 90 cm で根入が浅いとダメ

(3) ボイラーの耐用年度—1 年～15 年で配管は 7～9 年位

7 月 6 日 例会 於水産ホテル

新入会員 樋田（小）吉多（工）佐藤（小）青山（小）

スポンサーからそれぞれ新入会員の紹介があり、会員から入会の抱負が述べられ全員拍手で歓迎をした。今月はテーマはなく、半期運営についてフリートーキングが活発に行なわれて盛会であった。

8 月 12 日 野外家族レク 於北斗園

快晴のもと会員 29、準会員 15、小幼 17、合計 63 名参加。10 時 40 分開会式 小林会長から「家族の皆様の協力で楽しいレクが出来ますことを感謝します」の挨拶があり、事務局報告のあと早速グループに別れ、ジンギスカン鍋、ニジマス刺身の料理をたのしく味わいいつも乍らのあすなろらしいなごやかな雰囲気を展開し、幼小児の西瓜割り、準会員のゲームなど盛たくさんのプログラムを無事終了、午後 4 時 30 分北斗園に別れを告げた。

9 月 8～9 日 管外研修旅行 於羅臼温泉～公民館

講師 羅臼商工会長 佐藤盛雄氏

羅臼漁組専務 金森信治氏

羅臼町農林商工課長 村本慶蔵氏

元羅臼町長 村田吾一氏

佐藤会長—羅臼町の商工と観光について

金森専務—羅臼町の漁業について

村本課長—本町の概要について

村田元町長—北方領土について

以上 4 氏から 90 分にわたり説明があり、質疑応答ののち小林会長から謝辞と 4 氏に記念品を贈り研修会を閉じた。

10 月 5 日 例会 於水産ホテル

講師 市教育研究所々長 名倉 滉 先生

演題 「皆さんで考えたい子供の教育について」

これからの教育は、教えるとは甘えさせることでなく厳しく教育する

・道漁連で巨額の欠損

ことが基本である。食事とは心のこもった料理をいただくことである。

1年の計は食糧にあり、2年の計は木にあり、10年の計は教育にある。家庭教育 (1)和(柔ぎ)一夫婦は仲良く子供の前で喧嘩してはならない (2)思いやり一親は子供の立場で考える。子供は親の立場で考える (3)欲をおさえること。 (4)社会に奉仕する喜びを得る (5)身体(根性)を鍛えそして反応を知るべきである。結びとして一反応と応体 *心に花束を口にホホエミを、

11月7日 例会 於水産ホテル

新入会員 佐藤、青山、島根、各会員のスピーチ

今田会員より釧路市まちづくり10大事業と5大構想の発表

(1)市道路舗装率を15.7%を50%に上げる

(2)西港建設と企業誘致の促進

(3)国立医大誘致と市立病院の移転

(4)福祉施設の整備

(5)200海里対策事業として一新漁港埠頭、さけます孵化場、水産加工研修センターの建設

(6)下水道普及率70%をめざす

(7)小中学校々舎の鉄筋化率80%以上をめざす

(8)博物館・西公民館の建設

(9)大規模総合運動公園の造成

(10)勤労青少年センターの建設推進

5大構想

(1)都市再開発(都市部市民広場、駐車場、リバーサイドパーク)

(2)都市緑化の推進

(3)流通機能強化による拠点機能の充実

(4)高等教育の充実(国立総合大学の構想)

(5)観光施設の整備(水族館建設構想)

12月8日 クリスマス家族会 於東映ホテル。

恒例の年忘れクリスマス会は会員46、準会員40、高中生5、小学生15、幼児19、元会員1、招待者3、合計130名の参加で開会。信条朗読のあと、多賀会員の司会によって、三国実行委員長、小林会長の挨拶、来賓紹介があり、小沢元会員の乾杯でパーティーが開宴された。

綿貫サンタクロース入場、よい子に祝福のことばとプレゼントがあり武藤会員のちびっ子餅つき指導、推井会員担当の親子ゲーム大会、寺前会員セリ人のチャリティーなど、たのしいふんいきのうちに、プログラムが進み、三国卸部会長から次年度担当の宮地小売部会長にシンボルマークの伝承があり、横地顧問の万才三唱でパーティーの幕が閉じられ、会員は沢山のお土産と共に家路についた。

・人口216,621人

昭和55年 昭和55年第18期総会 1月20日 於旅テル市川

・根室の「レボ船」元
締ら3人逮捕

会員40名出席のもとに開催された。開会宣言、信条朗読のあと審議にうつり、第18期事業、決算報告、監査報告、を一括審議可決、役員改選は選考委員長報告と併せて行い、会長小林（久）会員 副会長岩田、伊藤（史）会員 事務局長 川口会員が選出された。新役員就任挨拶のあと、第19期事業計画案、第19期予算案を審議決定、創立20周年記念実行委員の選出については執行部提案の、儀俄、最上会員を選出。昭和55年度花壇整備委員長に三国会員が指名された。新入会員は 小林常利氏（太渟谷^{（株）}常務取締役）若原和弘氏（^{（株）}北日産業代表取締役）瀧本久雄氏（太渟林青果^{（株）}専務取締役）いずれも卸部会所属の各氏が紹介され全員拍手のなかで会の仲間入りをされた。一切の審議報告事項を終り別室で懇親会が開かれ、なごやかなうちに総会を終了。

2月12日 例会 於水産ホテル

(1)総会で継続審議事項の報告、(2)20周年記念事業資金計画のため経費節減を執行部提出通り承認、

(3)第1回婦人の集い（2/10）16名出席報告。

ゲスト講演 大久保釧路支庁長「私の見た釧路」

要旨 釧路の発展は今後どの様なかたちであるべきか。その背景として、酪農は全国生産の96%を占め、生産高300億円、乳牛頭数10万、乳量25万屯に及んでおり、製紙部門として、本州、十条製紙の生産高は苫小牧と同等の生産量で、石炭部門の250万屯の生産量は、エネルギーの見直しと共に重要炭礦に位置づけられ、今後火力発電所の計画に大きなウエートがおかれている。港湾施設については、従来の漁港の性格を一変し、荷役港湾としても他港にない好条件であり、道東発展の窓口として重要な役割をもっている。あらゆる角度から検討しても釧路は道東経済圏の中軸として益々発展させなければならない使命がある。

会員交代 北日本石油 岩田会員転出のため次長 山口盛氏の継続入会が承認された。

3月7日 例会 於敷島商会工場会議室

ゲスト 大久保釧路支庁長 山本釧路支庁地方部長 日本銀行島村支店長 釧路商工信組田村常務 名倉市教育研究所長の5氏を迎えて地酒についての研修会。

信条朗読 ゲスト紹介 ご出席の方々からスピーチをいただき、例会が終り恒例の利酒大会が開かれた。審査の結果 1位敷島賞 田村常務 2位ダイカ賞 大久保支庁長 3位会長賞 加藤会員 他10位迄それぞれ賞品が授与され、敷島商会提供の酒粕のお土産をいただき散会する。

4月7日 例会 於水産ホテル

新入会員 佐藤商店々主 佐藤光嘉氏（小売所属）

・最後の屯田兵、北見
の林健次郎氏100
才で死亡

- ・知床横断道路（ラウスーウトロ）が開通

- ・本道の総人口557万6,110人で5年間で23万人増加

ゲスト講演 釧路商工信組 田村常務

「最近の金融情勢について」

国際事情、国内事情、道東地元と関連のなかで最近の市内の倒産実例をあげて、身近な問題が多く有意義な講演であった。

55年度花壇整備委員決定 委員長三国会員 委員 川畑、佐々木、武藤、最上、佐藤（六）各会員で早速整備打合会を開くことを申し合せる。

5月例会 5月20日 水産ホテルに於て開催。 今月のゲストの鰯淵市長より「10大事業と5大構想」について講演がありました。先づ、行政水準の推移については人件費比率について、一般会計に対して約27%、52年より55年は21%となった。これは毎年の採用を一時中止して、配置転換等により比率を下げる事が出来た今年は久し振りに約40名の職員を採用をした。学校建築面積は約8,000㎡から約17,000㎡と2倍以上のテンポで、道路舗装延長は、約4,000mから約23,000mと5倍以上に進んでいる。又、現業部門を直営より委託方式に転換している。

動物園は昨年26万人の入場者があり、近々遊具の増設も完成します。野球場は昭和58年迄に完成したいとの事です。市長の話もはずみ質問についても裏話も含めて、回答していただき長時間有意義に過ぎました。

6月例会 6月6日 水産ホテルに於て開催。ゲストに釧路警察交通課の、宮下課長、太田係長より「運転者のマナーと、安全運転管理者の立場と指導」についてお話をいただきました。釧路管内の6月5日現在事故発生件数、334件、前年度より8件減少しました。釧路管内市町村の事故発生状況、釧路市287名88.6%、54年度は白糠町が一番多いが、55年に入って半減しているのは、交通安全の認識が高まって来ていると云えよう。事故を起した人を市町村別に見ると、釧路市88%、阿寒1.2%、白糠6.0%、釧路町4.8%、安全運転指導は、事故を起す人を中心に具体的に、指導なり助言をする等大変参考になる話を聞かせていただきました。今月の新入会員は伊東良孝氏です。

7月例会 7月7日午後5時30分より水産ホテルに於て川口事務局長の司会で開会。講演会に入りました。今回のゲストの陸上自衛隊帯広地方連絡部長清水忠夫氏と釧路連絡事務所长浦丸三等陸佐の紹介があり、日本の国防、ソ連と北方領土についての色々な角度からの、日本が自衛すべき諸問題について詳しく説明がありました。中立であるスイスと北海道の防衛比較、スイス、北海道面積比率、スイス41,288㎢北海道78,512㎢比率1.90倍、人口スイス640万人、北海道550万人、0.86倍、師団スイス12個、北海道4個0.33倍、戦車スイス840両、北海道400両0.48倍、我が国周辺の兵力配備の状

・「北方領土の日」2
月7日に決まる

況、極東ソ連陸軍30万以上、海軍138万トン、空軍2040機、中国陸軍34万人、海軍46.5万トン、空軍5700機、北朝鮮陸軍44万人、海軍5.8万トン、空軍660機、日本陸軍15.5万人海軍18.5万トン、空軍440機（スイスは1,000機）。極東ソ連とは、ソ連の一部であり、いわゆる日本をとりまく陸海空の軍備である※例えばスイスとの比較で戦車400両北海道に配備されているが、74式戦車は半数の200両（砲105ミリ）現在ソ連、フランスでは120ミリ砲式戦車を開発されている主要各国の国防費比率イスラエル29.2%、エジプト22.8%、サウジ13.6%、ソ連11~13%、イラン10.9%、西ドイツ3.4%、日本0.9%、（以上は1977年度参照）。その他色々会員の皆さまから質問があり、日本の防衛について大変勉強になり、又ソ連と北海道…北方領土上の問題の重要なことを再認識されました。7月12日厳島神社例大祭に、供奉班、指揮班としてあすなるクラブで参加致しました。

家族レクは、8月10日北斗園にて開催。参加者、お客様、幼児を含めて85名、今年は石井実行委員長始め委員の努力に依り多くの参加者があり今迄にない記録でした。9時出発北斗園着10時45分天候は寒く予定より早目に始まり、皆様もおいしいジンギスカン、生ビール等で活気が盛り上がり、子供さんの花火抽選と会員の輪投げで最高になった所で閉会となり、14時30分バスにて帰路についた。

8月21日合同部会磯舟黒金店で開催、出席30名 議題 ①昭和56年度会長選出選考委員の決定各部会2名 ②昭和56年度部会長副部会長の決定 ③管外研修について ④その他。

管外研修は富良野に向け9月6・7日釧路駅発6日、午前11時28分`研修内容「富良野町勢について」ゲスト富良野町役場経済課長、他商工会議所2名、クラブ参加者は工業11名、卸4名、小売2名でした。

10月例会は10月7日 水産ホテルに於て開催した。

11月例会 11月7日 水産ホテルに於て開催され、テーマは20周年記念事業について儀副委員長から試案発表がありました。横地顧問が釧路商工会議所1号議員に当選されました。

今後のご活躍を、期待いたします。

12月6日 十条会館に於て、クリスマス家族例会が、行なわれました。本年度の担当は小売部会で、実行委員長には、宮地会員、副委員長には樋田会員。小林会長の挨拶で始まりました。参加者は会員48名、準会員41名、他総勢144名で樋田会員の扮装するサンタの入場により楽しい雰囲気でもし、恒例の年末チャリティーオークションも盛大に行なわれ、来年度の担当部会の高谷工業部会長にシンボルが宮地実行委員長より手渡され、無事終了しました。

・人口 人

昭和56年 56年1月25日午後3時 パシフィックホテルに於て第19

・貝殻島コンブ漁5年
ぶり再開

期総会を開催。出席38名。第19期の事業報告、決算報告、監査報告、第20期の事業計画案、予算案を審議の上、可決承認された。役員改選の結果が最上選考委員長より発表。新会長に瀬村哲雄会員を選出。引続き20周年記念事業委員の選考があり、最上実行副委員長より各委員長の発表があり、各委員会に委員が指名された。

2月10日 水産ホテルにて例会。会長より各部会の在り方、活動について又どんな講演を希望するか等の事柄をふまえて各部会共、原点に戻り活発な行動を望むと話がありました。講師は釧路地方気象台菅原予報官を招き、観測方法について、最近自動観測装置、レーダー、人工衛星によるデーター、永年の資料の蓄積により、より確実な予報が出来るようになりましたが、まだ局地的な予報は難しいとの事でした。

3月6日 敷島商会会議室で例会。敷島商会小笠原社長より三風運動（社風、家風、校風）について講演がありました。

社風は経営者が中心になって作っていくものである。戦前の社風は心を中心に……戦後の社風は経営戦略に依り収益をあげ、社会に奉仕する。大変有意義な話でした。佐藤光嘉、稲垣友則、小林常利の3会員が還歴を迎えられ、益々のご健康をお祈り致します。例年のきき酒、酒に関するクイズ等があり楽しいひとときを過しました。

4月7日 パシフィックホテルにて例会。釧路市役所経済部長坂本茂氏より「釧路の未来像について」講演があり、釧路の現状は「男の街」で女性、子供の都市でないと云うことと、環境が悪いので仕事をして去って行く傾向がある。人口の推移は昭和30年116,000人 昭和40年180,000人 50年は200,000人 55年221,000人である。

補装率は昭和52年15%が昭和56年30%

下水道 52年10% 56年40.5%

学校鉄筋化52年56% 56年73%等で帯広、苫小牧、函館よりレベルが大幅に低いとのことです。環境整備を重点に進めなければならないとの事でした。

5月7日 水産ホテルにて例会。本行寺住職 菅原式也氏より厳しい80年代を生き抜くには「柔い頭、確な眼」を持たなければならない。住職特有の話術で、大変興味深く聴きました。人間の値打ちとは何か、国によって物差しが違う。

ドイツ……彼はどれだけ、ものを知っているか。

アメリカ……彼はどれだけ、の免許を持っているか。

フランス……彼はどれだけ、の事が出来るか。

イギリス……彼はどう云う人間か。（人間性を重視）

日 本……彼はどこの学校を出たか（学歴重視）

他に人間性とは等の話があった。松浦利彦氏が入会され、所属は卸部会と決まりました。

・道央と道東を結ぶ石
勝線が開業（約60
分短縮）

- ・北炭夕張礦でガス突出、礦内火災で死者不明93人出す

6月8日 水産ホテルにて例会。日銀釧路支店長 新谷勲氏より「道東経済の現状と見通しについて」(1)第2次オイルショックの対応の遅れ。(2)現在の世界、日本の経済は石油に左右される。(3)現在製品価格が上昇して来たが56年上期は低下している。(4)企業は価格を上昇させずに収益が上げやれる力がついて来た。(5)大企業は大型設備投資が行われ年々成長している等の話が続き色々な角度から見通しは悪くは無いと感じました。(金利の低下、在庫調整の目途、石炭の好調に依る波及効果等が明るい方向に向う材料。)

昭和56年1月25日午後3時 パシフィックホテルに於て第19期総会が開催されました。出席者38名。議長に綿貫会員が、選出され議事に入り、第19期の事業報告、決算報告、監査報告、第20期の事業計画案、予算案、が以上一括審議され、可決されました。役員改選が行なわれ、最上選考委員長より、発表があり新会長には、瀬村会員が選出されました。

瀬村会長より、昭和56年度方針と、新役員の紹介がありました。引続き20周年記念事業特別委員の選考があり、最上特別副委員長より各委員長の発表があり、総会の全議事が終了しました。

2月例会、瀬村会長より、各部会のあり方、活動について、又どんな講演を希望するか、以上等の事がらをふまえ、各部会共、原点に戻り綿密な、行動計画を練ってほしいとの、要望がありました。

今月は、釧路地方气象台、菅原予報官を招いて、気象についての観測方法については、最近自動観測装置を、全国に配置、又レーダー、人工衛星による観測データー、永年の資料の蓄積により、より確実な予報が、出来るようになりましたが、まだ極地的な予報は難しいとの事で、大変参考になりました。

3月例会、敷島商会、会議室で行なわれ、敷島商会小笠原社長より、三風運動(社風、家風、校風)について講演をしていただきました。社風は経営者が、中心になって作っていくものである。

戦前の社風は・・・心を中心に……。

戦後の社風は・・・経営戦略に依り収益をあげ、社会に奉仕する大変有意義な話でありました。

佐藤(光)、稲垣、小林(常)、会員が還歴を迎えられました。益々のご健康をお祈り致します。又例年のように、きき酒会、酒に関するクイズ等があり、酒の味を充分に、堪能しました。

5月例会、本行寺住職、菅原式也氏より、厳しい80年代を生き抜くには「柔い頭、確な眼、をもたなければならない。住職特有の話術で大変興味深く聞かせてもらいました。

人間の値打ちとは何か(国によって物差が違う)

ドイツ・・・彼はどれだけ、ものを知っているか。

アメリカ・・・彼はどれだけ、免許を持っているか。

- ・鰯渚市長再選なる革新系山崎氏に圧勝

・中標津で日通釧路支店の現金輸送車から8,000万円入りのジュラルミン製トラック盗まる

・イトーヨーカー堂新橋大通りにオープン

フランス・・・彼はどれだけの、事が出来るか。

イギリス・・・彼はどう云う人間か（人間性を重視）

日本・・・彼はどここの学校を出ましたか（学歴重視）

松浦利彦氏が入会しました。所属は卸部会です。今後の活躍を期待します。

6月例会 今月は例年になく日照時間が短かく、連日寒い日が続いています。景気の方も昨年より低迷が、続いています。これからの見通しはどうか、日銀釧路支店新谷勲支店長より、「道東経済の現状と、見通しについて」と題して講演をしていただきました。釧路経済の見通しとしては、石油依存度の高い、1次産業（漁業も含む）のため、景気の回復は鈍いが、金利の低下、在庫調整の目途、石炭の好調に依る波及効果等により、明るい方向に向うのではないかと云う事でした。小林（常）会員が健康上の理由から、退会しました。

7月例会 6月29日 亡くなられた故伊藤昭会員のご冥福を、お祈りし全員で1分間の黙禱を致しました。

今月は、「我々の問題点」と題して、後継者問題について、高谷工業部会長が、大型店対策について推井卸部会長が、各々担当し会員皆さんの活発な意見の交換が、行なわれました。後継者については、会社の将来性、社会的責任等を考えて見た場合、子供に継がしたいが子供の希望と、又後継者としての意欲の問題もあり、要は適任者であればと云う事で、実例をあげての意見の交換がありました。

大型店問題については、清水会員より書店の受ける影響、太田会員より問屋の立場から、各意見の発表がありました。7月8日にイトーヨーカード釧路店が売場面積約7,500㎡でオープンしました。我々としてもその対策については、慎重にそして積極的に行い、お互いの立場を理解し、地域との連帯を協調し共存共栄で行きたいと思う。本年は長引く不況と、6、7月の低温、雨、そして大型量販店の開店、我々を取りまく経済環境は非常に厳しい、現に廃業を余儀なくされた店があります。種々事情がある事と思われませんが、我々も、もう一度考え直して見ようでは、ありませんか。

8月例会 今月は家族レクリエーションの月で、今年は美濃園OK牧場に会場を移し、8月9日会員、準会員、小中学生、総勢79名の参加があり、天気にも恵まれ盛大に行なわれました。今年は厳島神社例大祭の直会も兼ねて行なわれ、OK牧場自慢のたべ放題、クラブ企画の飲み放題、子供さん達の西瓜割り、輪投等のゲームを行い楽しいOK牧場の1日でした。

9月例会は管外研修例会で、中標津町にて9月5日実施しました。出席者は瀬村会長ら13名で、中標津町より伊藤経済部長、下村商工労働課長、商工会より中川副会長、松田商業振興会長、沢田事務局長らが出席され、中標津町の町勢、商業界の現況について、又伊藤経済部

- ・ダイエーが東釧路に
店舗新設を発表

長より基幹産業の酪農問題、商店街問題等について説明があり、更に大型店オープンによる影響等について、会員との意見の交換等が約2時間にわたり行なわれ、有意義な、研修会を終えました。

10月例会、今年最後のゲスト例会で講師に釧路商工会議所の木村常務理事を迎えて「釧路経済の現況について」講演をしていただきました。釧路市全産業の中で卸売業、小売業は約25%を占めています。純小売業（自動車、燃料を除く）は2,225店で、店舗面積208,283㎡、年間販売額1,444億円ですが、この中で第1種大型店16店で、店舗面積は82,597㎡もあり全体の約40%も占めています。又大型店占有率では道内では3番目、支持人口では、2番目に厳しいところです。次に釧路地区プロジェクトの全体像の中の、大規模施設農場について説明があり大変参考になりました。

11月例会、今月は20周年記念計画について、小林20周年事務局長より報告があり、又この20周年を機会に永年勤続会員の表彰をしたいと云う事で、規約改正作成委員会を発足させる事になりました。粗案作成委員には伊藤（史）、川口、最上、森下、小林（善）、各会員に決定しました。57年度各部長、副部長が、決定しました。工業部会、（正）早川会員、（副）木内会員、卸部会、（正）若原会員（副）淵本会員、小売部会、（正）市橋会員、（副）伊東会員の各方々です。

12月例会、今年も楽しいクリスマス会を12月5日、釧路東映ホテルに於て会員準会員、お子様達多数の参加があり、楽しい一夜を過しました。今年1年をふりかえって見ますと、天候の不順、景気の低迷個人消費の停滞、大型店の開店等があり、我々を取りまく環境は決して明るいものではなかったが、その中で我々会員は、会員相互の理解と親睦をなお一層深めた年であったと思います。

- ・キャッシュカードを使
用しオンライン犯罪
が続出

12月家族クリスマス例会 工業部会のホストで12月5日釧路東映ホテルで開催されました。参加人員122名にのぼり本年度最後の行事として盛大なクリスマス会になりました。伊藤会員の司会により早川会員のサンタの祝福の言葉、瀬村会長の年末所感、来賓紹介があり、横地顧問の乾杯でパーティーの幕が開けられました。工業部会の方々が智恵をしばった数々のプログラムが繰り開けられました。特に準会員による部会対抗ゲームは火花をちらした熱戦で卸部会チームが勝利を手に致しました。恒例のチャリティー「せり市」が寺前会員により手ぎわよく進められて、その益金は歳末助け合い募金に贈られました。最後に小沢元会員の音頭で万才三唱があり楽しい一夜に別れを閉じ、会員はいろんな想いを胸に家路につきました。工業部会の方々のご苦勞に深く感謝し、多事多難であった56年会員相互の理解と信頼がより深まったことを信じ、会員家族の健康と商売の発展を祈りペンを折る。

昭和57年 第20期総会 1月19日 於水産ホテル。

出席者42名委任状9名合計51名、(会則第14条により成立)。
議長に伊藤(史)会員が選出され議事に入り、小林事務局長より第20期の事業報告、決算報告があり、佐藤(六)監事より会計監査報告があり以上承認されました。続いて第21期事業計画案並びに予算案が審議され、全員異議なく可決承認されました。

会則の一部改正について審議されましたが、第5条2項について原案に問題ありとなり内容を検討し改正する事となり、他の改正部分については承認されました。儀俄20周年実行委員長より、現在迄の経過報告と今後の要望事項についての説明がありました。

役員改選が行なわれ、最上選考委員長より経過報告があり、新会長に武藤会員、監査に佐藤(六)、松本両会員が選出されました。武藤会長より20周年を1つの節目とし、会の原点に返り今後の発展に努力したいとの挨拶があり、引続き新役員の発表があり、第20期総会を無事終了しました。

昭和56年度の皆勤者は川口、小林(善)両会員で会長より記念品が贈呈されました。総会終了後20周年を前にして、ささやかに懇親会が催され閉会しました。

創立 5 周年



創立 5 周年当時に想う

2代目事務局長 最上 勇

釧路市内の中小企業で活躍する第1線経済マンのグループ「あすなろクラブ」。(横地重幸会長)の創立5周年記念パーティが18日午後5時から産業会館4階大ホールで開催された。あすなろクラブは昭和37年2月、市内の中小企業のトップの人々が商工経済研修団体として、1業1人をたて前に19人で発足、この5年間、外部からゲストを招いての月例研修会を中心に地道な勉強を続けて来た。現在、会員30名で4月からは40名に増やし新しい飛躍を目指している。

5周年記念パーティーには川越市助役曾宇釧根食糧社長来賓も出席、横地会長のあいさつ手林初代会長の「5周年の歩み」を報告した。次いで創設に貢献した手林俊夫、今田英三、儀俄政夫、梶正義、瀬村哲雄、最上勇の6会員を表彰、来賓の川越市助役、三原釧商専務、片山釧路新聞社長らが「この5年間に転機に「あすなろ」の名にふさわしい発展を期待します」とそれぞれお祝いの言葉をのべた。この後パーティーに移った。—以上昭和42年2月19日釧路新聞社記事—

漸やくここ迄来た、本当に5年間続いたという実感が会員の胸中をよこぎったものと思われます。今日から再出発と共に確認しあい連帯意識をもっ

て研修に励もう、が5周年記念日に会員が胸に納めた誓いの信念であったと信じています。

俗にいわれる「船頭多くして船山え上る」の例えの如く一步間違えば自然消滅の火種を常に内蔵していたのが創立初期のクラブの内情でなかったかと今にして思われます。

それ故に役員のご苦労と情熱が並々ならぬものがあったことは20周年記念誌編集にあたり当時の資料を拝見し強く感じた次第です。

来賓で祝辞をのべられた釧路新聞社片山社長が「このような団体はあまりにも理想と現実がかけはなれているので、作られても2・3年で解散してしまうのが通例とされている。5年間も活動して来たことは驚きである」と指摘されましたが、外部有識者がその様な見方をなさるのも当然といえましょう。余談ですが、この言葉は今日に至るまで会員に伝承されており私は「あすなろ神話、であると思っておりますし誇りにすら思っておるものです。さて大先輩の、手林、今田、佐々木、初代3役のあとをうけて草創期基礎づくりから基礎固めの2代目として横地、梶、私の3役が出番をうけたまわったのですが、横地、梶様は別として当時の私にはその様な認識をもって事務局をあずかる程の精神的なゆとりもなく只々、無我夢中でお二方や理事の方々にすがりついていたのが本音



五周年を迎えて

梶 正 義

綿密な計画と智恵が求められます、従って会員の協
力と併せもつ説得力が不可欠な条件ではないでし
ょうか、5周年記念行事が円滑に遂行されました
陰に、もくもくとして力をかしていたいただいた池ヶ
谷会員（記念特集号編集）稲垣会員（式典プロ）
儀儀、小林会員（受付会計事務）を忘れることは
出来ません。「一杯25銭のカレーライス」の味を忘
れてはいかん」と雷を落していた今は亡き進藤英
太郎主演映画「おやじ太鼓」を思い出すのですが
創立時より例会の食事は150円のカレーライスで

謹啓 時下ますますご清祥のこと慶賀の至りに存じ
まします。平素は、格別のご高配を賜わり厚くお礼
申し上げます。

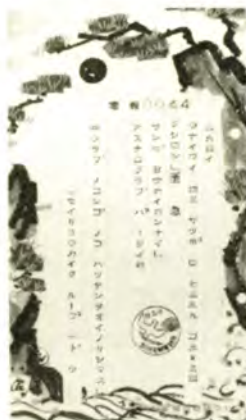
さて、この外、私共財団法人における唯一の商工経済関係の基盤として、おそろなクラブを構成してより早や五年の如き日を過ぎさせて置きました。一言一語より私共の基盤に於ける相いけ合い相談しつついらいくちも思そろて行こうと。東京の方々の指導を受けたなり、専門の御教授を戴いたりして磨きましたかまたまたお方は遠く富田事通で御座ります。今後財界要人の皆々に対する御教授とご相談を賜へる御趣意に相応の所存でございますので宜敷しく御願い致

出席とさせていただきます。私共会員一同が五週年を記念し、やわやわでございますが、パーティーのよね事を致したく存じますので、公私御多忙の折甚だ感謝でございますが、万障繰り合せの上御出席賜ります様お願い致します。

でした。「モチヤン」の愛称で可愛がられ何をするにも先輩や同期の方々が協力と助言を惜しまなかったことが大過なく、どうにかやってこられた様な事で、私は幸せ者であり恵まれていたとしみじみ思い感謝をしている次第です。事務局は限られた予算の中で決めた行事を最高度に成しとげるための裏方だと思っています。そのために

した。同じメニューもいけないと考え私の時から同値のチャーハンも出してもらったのですが、真面目なクラブの好印象で、サービスに、目玉焼かスープ付になったのですが会員の中に玉子アレルギーの方が居て玉子ぬきの食事を出してくれとねじ込まれた事もありました。いずれにしても、食事の時間も惜しんで勉強に、討論に、熱気ほどばしる研修が例月続けられていまして、今流に申せば密度の濃い研修と云えましょう。

釧新で「三風運動」を推進しておりますが、クラブの信条も簡潔明解な誇りあるものと信じております。人の出逢いは、これまた研修の道ではないでしょうか。特に事務局長をやらせていただいた経験からですが、未知の方と一番先に知ることが出来、そして年令立場をこえて、尊敬の上に立つて対等にお話しが出来ることは、本音を云える友人が増えることで、この上ない喜びと財産と思っ



ております。クラブが今日迄存続出来た一つの要因に此の「会風」が定着し引きつがれて来たことも見のがすことは出来ません。「出逢い、のなかで私は「事務局長の道」を教えられて尊敬する方がおります。現在の会費前納制度は、事務の能率化と資金運用の適正

のために決められた措置と思っておりますが、当時、会費は例会に納入するよう、規約で義務づけられており、欠席の方は代人が出席会員に依頼して納入しておりました。「ご苦勞様です。本日は社用で欠席します。会長始め皆様にくれぐれも、よろしく申して下さい。大宮豊頼」と必ず添え書きと共に会費を直接届けていただきましたのは、大宮様だけでした。「添える、心のあたたかさを教えていただいたことはこれぞ」事務局長の道、であると思つておる次第です。まともらない想い出の記になりましたが、誰よりもクラブを愛する者として、益々の発展を祈り 拙文多謝

記

日 時	昭和42年2月18日午後5時
場 所	産業会 館

出席者の都合も御片居ますので同封の一方書に出席の有無も御通知下さい。

昭和42年 2月1日

会長 横地 重章

浅野勇様

(5 周年記念式典案内状)

創立 10 周年



10周年記念追憶断抄

森下 勇

竹は節がある故に、風雪に耐え天を指し、すくすくと伸びていく。そんな風情を日本人好みというのであろう。日本画の題材に多く親しまれて、日本情緒を代表している感がある。その節目節目の空間には、数えた月日の試練が秘められている様に想え改めて何時か旅して見た竹林を思い出している。又「あすなろ」は不確実であるが、石川県の県木と聞いており、能登半島には、あすなろが林立して美事であったと誰方かに聞いた覚えがある。あすなろも松に似て天に向かって素直に伸びその年輪の広がりにより根も盤石の備えと成っていくのであろう。吾が「あすなろクラブ」も創立以来20年の節目と年輪を数え、今やその基盤も大きく固まったと言えよう、会員諸兄と共に大いにその慶びを謳歌したいと思うのである。私とあすなろの出合は、昭和39年の秋、小林久雄会員の誘いを受けて顔を出した時に始まり、チャーターメンバーではないのでその意味ではピカピカのあす

なろ20年生とは言えない。だが昭和47年2月20日挙行了た創立10周年記念式典の事務局長等、記念すべき行事の中枢に携わった得難い体験を通じ、あすなろと私の関係は緊密なものとなって行き、随って会の行末についても種々私なりの意見をもつ様になった事は、1つの成長過程と言えるのかも知れない。

ピンチヒッターの事務局長

ここで10年前を回顧してみる事も成長の経緯を知る上で意義なき事に非ずと思い、あの頃の数少い資料と貧しい記憶を呼び戻し乍ら至らぬペンを駆使してみたい。私が事務局長になった事はこれ又例のない5代会長梶会員の2期目、併も1ヶ月後には輝く10周年祝賀行事を控えてのピンチヒッターとしてであった。今少し詳しく述べると昭和46年1月の総会で私は小売部会長として梶会長の執行体制の1員として参画した。10周年行事を計算の上での役員構成は、式典行事担当副会長に川田春旭会員、研修例会担当副会長に小林久雄会員事務局長に藪一義会員、次長に宮地良彦、監事に

太田敏雄、佐々木雄二各会員が主要メンバーで初年度は船出した。翌年にメイン行事を控えてすべり出しは誠に順調であったが、事務局長の藪会員は社用と種々の役職と競合し欠席が多く、新人で併も次長を担わされた宮地会員は大変であった様だ。私の体験から推して、事務局長と会長は一心同体でなければ40名を数えるに至った会務の遂行は無理であると思っている。随って「俺が辞めるか、事務局長を交替するかどっちかだ」と憤然とし、今田相談役に訴えた梶会長の気持は良く理解できた。幹事の末席を汚していた私は、正副会長に乞われるまま次第に事務局長代行の役目を会期途中から段々背負う様になって行つた。年改まつた昭和47年1月16日開催された総会で正会長留任、事務局長に不肖私が正式に任命され、次長はここで始めて2名制が承認され、宮地会員に加え多賀輝夫会員が新たに加わり監事は留任と主要メンバーは殆どが留任であった。事務局トリオは連日正副会長の意を体し差し迫った式典に備え寧日はなかった。

会費の前納制のおこり

川田副会長を中心に綿密な式典と事業計画は順調に推進され、会旗の発注も済ませたが、ここで附記したい余談がある。話は会旗に絵がかれている会の紋章に就てである。

会長曰く「現在使用しているパッチの紋様は正しく機関で計られ採用されたものではない。原図3点の中で選定されたのは、現在使用マークの輪郭にギヤマークとその中にローマ字でKUSHIRO. ASUNAROの文字が入ったもので、これを7宝焼で小林会員に製作依頼したものであったが、偶々そのサイズが大き過ぎるので、中心部分を残し削り取ったのを略章として用い様という事になったが、何時しか正紋章に代ったので確認して製作した方が良いのではないかと会長からクレームがついた。併し過去10年何となくでも使用されて来たものだから今更改めて物議を醸す事もなかりと衆議一決、会長もふ承不承乍ら後を語らなかつた。私はその時なんとなく事の定て行く是非に就て深く考えさせられた。成行

に委すべきか、機関決定重視で行くべきかと。少なく共組織を運営して行く以上、機関決定重視は民主的運営の初歩的な条件であるという認識に就ては軌を一にしていきたいのであるが……。

扱て式典が迫り、予算は確保されてはいたが、銭足らずである。1月の総会に図り3ヶ月前納の決定を見て漸く恥かく事なく、式典の日を迎える事が出来た。在来はその月毎に所定の会費を納入、事務局と会員の意志の疎通を図る事に意義があるとされていたものを、10周年記念行事の苦肉の策が今日の会費前納制の契機になろうとは夢想だに考えられなかつた事である。そして次長の複数制に就てもである。昭和47年2月20日、会員33名、来賓14名の出席を得て記念式典は華々しく且



盛大に宮地会館に於て挙行され、此の日会旗の入魂式も併せて取り行はれた。この1つの山の為に多大の精力を費やし3月以降の記念行事の1つ1つを案じられたが、会員諸氏の協力のお蔭でスムーズに運ばれた事はいまだに感謝している。私の短い任期の中で、何時か公にしなければならない秘話も種々あるが、それは後日に譲る事にし、先は20周年の年月を数え、成人式を迎えた「あすなろ」の為に温い拍手をおくり、今や大手企業進出の余波に喘ぐ地元企業のピンチ打開のため、同志一同益々研鑽その実を挙げて行きたいものであるとりとめなき饒舌に貴重な紙面を汚した事を詫び併せて「あすなろクラブ」の果しなき前進を期待してペンをおきます。

昭和47年2月8日

釧路新聞より

8
エ
コ
ノ
ミ
ク
ニ
関
心
の
会
員
の
集
い

ユニークな活動続ける

創立10周年のあすなるクラブ

さらに飛躍の段階
研究グループの方向を示す



会長 林俊夫



副会長 横地重幸



理事 田島英三



理事 小杉鉦路



理事 田島英三



理事 小杉鉦路



会日 二十日

席上歴代会長の手林俊夫、横地重幸、儀俄政夫、今田英三の4会員に感謝状を贈呈し、田島市助役、小杉釧路商工会議所専務が祝辞をのべた。

梶会長は「10年を1つの転機とし、原点にかえて、更に地道な飛躍をめざしたい。」と語った。

10周年記念式典を前にして最上勇会員は、クラブ10年の歩みをまとめた。「会員構成を比較してみると面白い、創立当時の37年は会員20人、業種別では卸業が65%で最も多く、小売業の20%、工業の15%となっている。これはなかなか自分の手の内を見せない商人の閉鎖性から脱皮して、情報交換の場を作ろうという発足の動機を物語っている。5年後の昭和42年は会員35人その内卸業は42%と下がり、工業31%、小売業27%と何れも占める割合が高くなっている。更に満10年の現在会員42人の構成は卸業40%、小売業31%、工業29%で理想的な姿に近づいている。と、1業種1会員、営業課長以上という資格でスタートした初期の3年間は組織固めに全力を注ぎ、会員が所属する企業の経営紹介、商店の相互訪問や相互購買が主な活動であった。中期は「教育」の期間、であり、会員の脱落などがあり、クラブの体質を再確認した

り、組織の再編成があったり、ひとつの過渡期でもあったが、一方ゲスト制度を設けて、西港問題や都市計画、卸団地問題等をテーマに、月1回の例会をレクチャーにあてるようになったのもこのころであった。そんな時5周年記念式典が開かれた。後期の3年間で名づけるとすれば、「行動」の期間であり、近隣都市訪問が行なわれ、北見では都市と自然の調和、帯広では市と経済界の融和そして道東空港（帯広空港）のビジョンを知り、政治の空白を思い知らされた。根室では半島がもつ宿命に触れ、それぞれの訪問のつど、釧路を改めて見つめ直した。満10年そろそろ老化したのではないかとの声も聞かれる。これにこたえて、最上氏は更に曰く、調査した平均年齢は、37年は37.4才、42年は42.3才、47年は44才、たしかに上がっているものの、これを会員数で割った会員指数は37年の1.87に対して47年は1.05、これで見ると若返っている。併しこれから動脈硬化を予防する措置は必要、その為に「原点に帰ろう」という声が全員の中から起っている。10年で基礎が固まった時、これからを呼ぶことばがあるとすれば、「飛躍」の時期ということになるのか——これは47年2月8日の釧新記事からである。

創立 15 周年



創立15周年を振り返って

横山 寿人

あすなろクラブ創立15周年記念式典の諸行事をふりかえり、当時の事務局長として、手許にあった資料を参考に、取まとめてみました。昭和51年7代最上会長の跡を受継ぎ、8代目として川田春旭会長が誕生した。副会長に安藤昭二、太田敏雄両会員、事務局長に私横山寿人、次長は本間鉄夫佐々木保幸会員の顔ぶれで、1月総会にて指名を受け、会務の執行に取掛り、前執行部より引継いだ懸案の創立15周年記念行事の実施計画の確執を協議し、会員の意向を打診し意義のある記念行事を計画致すべく、役員会で事務局を含めての準備委員と協力態勢を画して進める事を決め、次の会員を選出して3月例会（会場は敷島商会会議室でした）の席上委員の発表を行い、各人に委嘱状を会長より手渡された。委員の構成は、小沢敏男、儀俄政夫、梶正義、今田英三、稲垣友則、最上勇

池ヶ谷栄一、森下勇、8会員であった。メンバーは、会の発展、各行事の進行に常々積極的に加はり、進言の多い会員の中より選出し同意を求めました。尚会長より準備委員は本会の会則の見直し細則の改訂を併せて審議をする事を依頼し、参加会員の了承を得ました。同年5月20日水産ホテルに於て第1回目の準備委員会を開き、委員長に小沢会員を選出し、種々協議を行い、6月22日パークホテルに於てのクラブ役員会と準備委員会との合同会合を開き、準備委員の意向を発表していたが、役員間との合意にて過去に創立5周年と10周年の2回記念式典を開催し、記念誌等を発行したが、諸般の情勢と予算の関係で、オイルショックの過程にあって紙代、印刷代が嵩む為記念誌は作成せず、予算も上積みする事なく、20周年に向っての蓄積を図る様、式典と記念祝賀会のみに止める事に決まり、会場は東映ホテルと決め、細部に亘っては委員会と事務局が連れいして計画を練る事となった。開催日は52年2月20日午後1時とし、来賓として釧路新聞社々長片山睦三氏、釧路

商工会議所会頭渡辺源司氏、サツポロビール釧路営業所長鈴木茂氏そして当会顧問の横地重幸氏の4氏と決めた。2月20日の当日に向って各機関に招待状を送り、入用な品の発注を済ませ1月末に準備予定が完了した。

愈々式典当日小沢実行委員長の力強い開会の辞に始まり、会員初の物故者である浅川会員（昭和48年死去）へ黙禱を捧げた。次いで会員表彰に移り、歴代会長として5代梶正義、6代稲垣友則、7代最上勇、各会員に感謝状並に記念品を贈呈した。記念事業として釧新奨学資金へ金10万円也を贈呈、片山睦三釧新社長より記念の祝詞と「200海里とオイルショックに対応する釧路経済」と題しての記念講演があり、会員一同感銘深く拝聴したが、15周年を迎えた喜びと同時に今後への不安と諸問題に如何に対処しなければならないか複雑な心境であった。

釧路新聞社より同社編集による「水産戦争を勝抜くための200海里時代と各界の意見」と題した小冊子を贈呈された。安藤昭二副会長の閉会の辞により質素に併も厳粛にそして20周年へ向けての新たな決意を擁しながら式典を終えた。

次いで祝賀会場をルビスターホールに移し、釧商八町専務理事の乾杯の音頭で開宴し、ホテル自慢の郷土料理に舌づつみつつ宴も盛り上り、時間のたつのも忘れて会員の観談がつづいたが、予定の終宴時刻を迎え横地顧問が「15周年は中学卒業の義務教育が終了したが、これからが大切です一層の研修を期待する」の挨拶につづき万才三唱で祝賀会のプログラムの幕を閉じた。（記念の特製紅白まんじゅうを持参し、薄明りのネオン街に祝賀会の余韻さめやらず足の向けた良識ある会員も多かったときく）



特集 創立 20 周年記念式典



20年の歩みをふり返り新たな起点にたつ意義深き式典は、残寒もやわらぎ春の音静かに告げる鉚路川のほとり、鉚路のパシフィックホテルに於て、来賓、元会員、会員、準会員あわせて93名出席のもとに盛大に開催されました。定刻、加藤事務局長の司会者挨拶につづき、太田副会長が「春の雪だけで大変よごれていた道も昨夜の雪で本当にすがすがしい朝を迎えました。本日の式典にご来賓並びに先輩であります元会員ご出席のもとで、開会できますことはこの上ない喜びでございます。これからのひと時が過ぎしときをふり返り、ご先輩のご苦勞を偲びご来賓のお言葉を戴きながら、これからの鉚路あすなろクラブの将来を考えるひとときであれば大変幸いだと存じます。そう云う念願をこめて開会のご挨拶とかえさせて戴きます。」の開会の辞によって式典の幕は開かれました。

式順により全員起立で電子音の前奏にあわせ国歌を斉唱しましたが出席者の大半は幾年ぶりかで国歌を斉唱したものと思われます。厳粛、静寂のなか会長の先導で信条を力強く朗読、浅川、伊藤物故会員に1分間の黙とうを捧げて霊を偲びました。次いで武藤会長が来賓、元会員に感謝の意を表したのち「過ぐる5周年式典の折、鉚新片山社長様が一理想と現実があまりに

もかけはなれているこのクラブが、5年も続いたことは驚きであり敬意を表したい」と申されたことばが、今実感としてよみがえって来る。此の20年間で指導を戴いた各関係者にお礼を申し上げると共に、クラブ発展に陰の力として協力をつくした準会員に心から敬意と感謝を申し上げる。顧りみると予期しない試練と現実により会員間の連帯意識と信頼感も高まり、あすなろ精神が培われて来たと思う。20年の節目あたり仕事に徹することれ第一義とし、鉚路経済界の一員として責任ある行動をとり郷土発展のため期待される集団活動をしたい。そのためには(1)流れに即応したきめ細かな研修。(2)適確な情報交換による企画の防衛。(3)相互信頼による体質改善。この3点を運営の基本として、地道な研修にあたる。」以上を力調して挨拶を結び、儀礼実行委員長の経過報告にうつりました。20周年記念行事に際し、会員並びに関連の方々から多大のご協力を戴き、計画の達成が出来ましたことにあたり、感謝に堪えず厚くお礼を申し上げるものです。昭和50年から今日に目標を置き、経費の節減につとめ資金の蓄積に努力して来た経過をふまえて、19期の総会に於て私がその大任をうけたまわりました。役員及組織を決定し早速会員の希望を最大限に取り入れた計画



づくりを進めましたが、厳しい経済下に在る今日、派手なことは慎むべきであるとの方針のもとに修正に修正を重ね1月14日に最終案が決定したものです。主な事業の概要をご報告しますと、(1)記念誌の発行 過去 5、10、15周年記念誌はいずれも事務局が主体で発行しましたが今回は編集委員会をもうけて発行にいたしました。その目的とするところは、今後クラブが発展するための貴重な資料財産として、永く引継がれることを念願にして編集に当たった次第です。従って内容も37年から現在迄の行事、予算、会員状況、記念式典の概要、外部協力の経過、更に研修団体としての性格から、釧路主要産業の数字的な推移、クラブと釧路経済の関連郷土のニュース等の資料を掲載して特色をもたせました。尚資料の収集にあたり、市役所、商工会議所、釧新などの御協力を戴きましたことについて厚くお礼を申し上げます。当初式典迄に発行の予定で作業を進めておりましたが、本式典迄の記録を掲載することが望ましいとのことで、本日お渡し出来なかったのがご了承戴きます。(2)会員表彰 記念行事の性格とは申せませんが、20年の契機と云うことで、表彰規定の改訂も行い10、15、20年の5年毎に在籍会員を表彰することになりました。今回は該当者が多いことから、特に20周年記念行事として行いました。(3)会旗 信条旗について、毎例会に掲げておる会旗信条旗ですが、特に会旗は10周年記念で作製した高価なものです。今後は特別行事以外は掲げないことにして代替として信条旗と

対で作製しました。(4)釧新奨学基金贈呈 本会創立以来慣例として、各記念周年には基金を贈りささやかですがお役立ただいております。この度も協議のもとにその趣旨にそったものです。(5)あすなろ花壇整備 昭和49年から市立図書館前の花壇に、毎年予算を計上し植樹手入れを続けております。本年は記念事業として大巾な整備と記念植樹を行います。尚緑石の改良及び修復につき1月9日市長宛に陳情書で、その修復について予算化される様お願いしておるところです。以上が主なる事業ですが、交通安全運動、技能名人声のライブラリー、VTR記録等の計画もありましたが諸般事情により懸案事項として、次の記念行事に申し送ることにしております。最後に、この行事を推進するにあたり昨年5月から編集委員会をはじめ各委員会が30数回の会合をもちましたが、その会場は当ホテルの一室を専用に使用させて戴いたもので、限られた予算の中で円滑に運営出来たのも当ホテルの特段のご協力のお陰で関係の方々に心から感謝申し上げる次第です。以上記念事業の概要と経過について報告致しました。

儀俄委員長報告が終り、太田副会長が来賓並びに招待者を紹介、全員拍手で歓迎、次にご来賓祝辞をいただく。——鰐淵市長祝辞要旨——

本日クラブ結成20周年の意義ある年に当り、この様に会員関係者多数出席のもとで、盛大な式典が開かれることに先づ以って心からお目出度うを述べ度い。これは歴代役員ならびに会員の努力の結果で、この様に成長されたことに私



共は充分承知しておるところで、私も喜びに堪えないものです。私も何度か招待を受けたりお話し懇談の機会を得させて頂きました。会員はそれぞれ素晴らしい方々ばかりで、自分の仕事を通じ情報の交換をし、それを通じ自からの企業に比して行うこと或いは又郷土ふるさと釧路のためにも企業活動を通じ地域活動を通じて貢献しようと意欲あふれるクラブの活動を見て日頃から敬意を表しておるところです。丁度本年は市制執行60年の記念すべき年にあたり、私も何か事業をやりたい考えから(1)帆船の招致――



釧路には未だ入港したことがないので、海王丸と云う素晴らしい帆船を4月に招致して4万人の市民に見てもらおう。一子供達のロマンを――
(2)出世坂の修けい、一出世坂はいろんな意味で思い出多い坂だと思う。或るときはおそろしい坂であり、或るときは景色のいい坂であり、四季こもどもそれぞれ考へ深い坂です。この坂を7500万の予算を投じ、ユニークなロマンのある坂につくりかえる。一市民に夢を――
(3)産業賞の創設――市は昔から文化賞はあったし52年に市長になった時にスポーツ賞も制定しました。私は町づくりの源泉は所得にあると思う。仕事を通じて市民の生活があると思う認識に立ちますと産業は大切なポイントです。従って今日迄産業功労の賞がないのは片手落ちで、そこで60年を記念として産業賞を創設しました。永い間農林、水産、工業商業労働の各界に於て、常に功績のあった方を顕賞しようと云う事で産業賞を創設した訳です。 市政60周年とあすな

ろの20年とはくしき因縁とっております。これからの経済情勢釧路の街の環境も、低成長下にあつて大変厳しさを増すことが伝えられて来ております。その意味から考えますとこのクラブの中でそれぞれ自分達の住んでいるふるさとを愛し、信条にある仕事に徹し人と和して行きその中から、企業経営を発展させ地域の発展に結びつけて行くことは非常に大切なことと思います。20年を契機にして会員各位が益々健勝で初期の目的を達成のため日常のご精進をつまれふる郷釧路発展のためにご努力されんことを望み祝辞とします。

次に釧路新聞社片山社長様の祝辞を受ける――(要旨)――釧路新聞社の平川(常務取締役)です。社長が出張のため代って祝辞を述べさせて戴きます。クラブ20周年を迎えられ心からお目出度うを申し上げます。創立の37年私は雄別炭礦に居ましてエネルギー革命の最中、スクラップ、アンドスクラップのゆれるなか、組合としてのぎを削つていたときクラブが結成されたとの記事を見ました。あすなろとはどの様なことかと百科事典をひもといたところ、常緑高木で材質は用材として用いられる、桧にはおとるけれど翌日は桧になろうと努力しておると云う伝説からあすなろと名づけられたと書いてありました。その様にクラブが会員を増強し努力されて成長をつづけており、情報の交換研修の場を通じ企業の発展、或いは郷土発展のため尽力されておることに吾々は高く評価しておるところで心から敬意を表するものです。私も新聞社に籍を置くものとして此の情報の迅速把握或いは適確把握は最も大切なことで、それにより勉強し高めて行かなければ厳しい激動混迷と云はれている時代に対処して行くことは出来ないと感じておるところです。釧路新聞社に於いては本年一若い力で郷土を建設一のキャンペーンを展開しておるところです。之は若い人は勿論、壮年、熟年、或いは老年の方も、創造的な精神で若い情熱を燃やして物心共に豊かな郷土を建設しようと云う意味です。これから編集、事業

面を通じて運動を展開して行きます。この精神はあすなるクラブの信条とも一致するのではないかと考えますので、ご理解と協力をいただき度く思います。式典にあたりクラブの益々の発展と会員皆様の繁栄とご健勝を祈念しお祝いたします。

平川常務様がクラブを高く評価しておること市長様がクラブの活動を充分承知しておると申された共通点に20年の歴史を見た感があります。次いで推井事務局次長が祝電（記載一覧）を披露し拍手返礼のあと、松田事業委員長から釧路新聞社平川常務様に奨学基金の贈呈を終り感謝状ならびに会員表彰にうつり、先づ儀儀実行委員長からバシフィックホテル中村隆社長様に感謝状ならびに記念品を贈り、ホテルのご協力にたいし厚い感謝を表しました。前会長、在籍会員表彰状は武藤会長から代表者にそれぞれ贈り受彰者を代表し小林会員から——創立20周年式典に当り在籍の表彰を頂きました。又私と共に15、10年在籍の表彰も行はれましたが私が年長と云う事で代表の挨拶を致します。顧みますとこれ迄会員相互のデスカッション、フリートーキング或いはゲストによる時事適確な勉強を20年間つづけて来ました。又伝統として夏の野外家族レク年末の家族パーティーも行っていました。又研修とは別にサロンの立場から昭和40年にあすなるサッポロビール会を創立して、現在も発展の一途をたどつておるところです。思いますとアット云う間の20年と云う気がします。最近気になることはクラブ外の方々から還暦をすぎた者は在籍云々と云うことを耳にします。然し私共クラブを純粋に愛する者から見ますと現役である限り年齢は何等問題にしていることです。むずかしい経済下に在る今日20才であろうと70才台であろうと、クラブの信条に徹しひたむきに研修を重ねてこそクラブ創立の原点であり信条にそう道と信じております。私はクラブの大久保彦々と云はれる様な会員として相談相手、聞き役、ときにはおこり役として皆様から信頼される様に努力を今後共つづけて



て行き度いと思っております。その様なことで若い方から老人クラブと呼ばれても何等抵抗を感じておりません。20年を節目として会員相互の連帯感を一層深めつつ25年、30年と限りない発展のため精進を重ねて行く所存です。——小林会員の力強い決意表明で挨拶を終り小林善副会長が——本日は、鰯渚市長様をはじめ沢山のご来賓のご臨席をたまわり、そして元会員の諸先輩会員準会員多数の方々の参加のもとに創立20周年の意義ある式典を無事終了出来ましたことは誠に有難く厚くお礼を申し上げる次第です。会員は20年を節目としていただきましたお言葉を旨に更によりよき企業研修団体として益々研修にはげむこととお誓いするものでございます。甚だ勝手ですが、ご来賓の皆様そうして元会員の諸先輩の方々には、今後共この会の発展のため末永くご指導ご鞭撻をたまわります様心からお願い申し上げます。準会員の奥様方には今後共温いご協力を下さる様懇請し本式典の幕を閉じさせていただきます。本当に有難うございました。——の閉会の辞で式典は予定時刻に終了致しました。加藤事務局長の明解にソフトな司会ふりと事前予習の会員準会員の協力により静しゆく且つ温い雰囲気の中にプログラムが消化されたことは、あすなるクラブの性格を浮きぼりにした特色ある式典でした。休けい後釧路商會頭の記念講演に席をうつす。

20 周年記念式典会長挨拶



釧路あすなろクラブ会長

武 藤 周治郎

本日、茲に市長様を始め、ご来賓の方々ならびに先輩の皆様が、公私共に貴重なお時間をさいて、私共のためにお越し頂きましたことを衷心より厚くお礼を申し上げるものでございます。意義ある創立20周年の記念式典を此の様に開催出来ますことは、感無量なものがあり会員はもとより、準会員一同、感激ひとしをなものがございます。

本席、ご来賓でお見えの釧路新聞社片山社長様が、5周年記念式典で講演をされた折に「この様な団体は、理想と現実があまりにもかけはなれており、5年も続いたことは驚きであり、敬意を表したい」と申されました。

あれから15年、このお言葉が強く実感としてよみがえってまいります。此の20年間、ご指導ご協力をいただきました各関係機関、講師の諸先生、先輩各位に、高い席ではございますが、クラブを代表し、重ねて心より厚くお礼を申し上げる次第でございます。

又、会員と共にクラブ発展のために、陰に陽に協力をいただき、今日の原動力となった準会員のご苦勞を思いおこすとき、只々有難うございますと申し上げるばかりで感謝の言葉もありません。

顧りみますと、今日迄私共は決して平たんな20年ではありませんでした。予期しない試練と

現実に幾たびか直面も致しましたが、そのことで大きな教訓もまた学びとることが出来ましたし信頼と連帯意識も高まってまいりました。何か事ある毎に「あすなろ精神で解決出来ないか」或いは「それは、あすなろ精神に反する」と会員は口にします。これは受けつがれたクラブに対する強い信頼度と信条から自然と出る言葉であると思います。

20年の節目であることで、初めてこの信条をかみしめるとき私は、仕事に徹することを第一義にすることこそ、研修団体としてのクラブの存在の意義があると考えております。

ご存知の通り経営の条件は、益々むずかしくなって来ております。私共は釧路経済界の責任ある一員として、又郷土発展のにない手として期待される集団であることを思うとき、20年前に創立された原点は何であったのか此の機会にもう一度思い起こすことが必要ではないかと強調して止みません。

そのためにクラブは

流れに即応したきめ細かな研修

適確な情報伝達による企業の防衛

相互信頼による体質改善

これらの問題を、真剣に、地道に討議する場ではなければならないと同時に、基本線であると確信する次第です。

20周年の記念事業を行うにあたり、時節柄厳しい折にもかかわらず会員関連の各位から多大の協力をいただきましたことを、この席をおかり致しまして厚くお礼を申し上げるものでございます。事業の内容に就きましては儀礼実行委員長から報告がありますので、省略を致します

クラブに対し、ご理解あるご来賓、先輩の方々には今後共末永く私共のためにご指導とご叱正をいただきますことを心からお願いを申し上げます、ご挨拶と致します。

記念講演「最近のくしろ・これからの釧路」

釧路商工会議所

会頭 渡 辺 源 司

ご存知の方ばかりお見受けします、そうして市長と2年後の中村議長の顔も見え話しづらいのですが、何はともあれ20周年本当にお目出度うございます。創立の時は片山社長様の言葉をお借りする迄もなく、この会が永続きすることはむずかしいと思っておりました。

この様に20周年を迎える迄に立派に成長されたのは、会員各位の努力と団結そうして何と云っても、信条がしっかりしていて皆様の心の寄りどころとして発展に結びついたものと思います、そうして本席におられるご婦人の方々の内助の功があります。創立の20年前中間管理職と云われる様に丁度板ばさみの立場で、本当に苦しい時もあった事と思います、当時は所長、支店長の会員も居られた様に思いますが、本社本店からの指示と地元協調のノルマ達成と云う苦しい中で、地元会員の中にとけ込んで地道に勉強しようと云う熱意には、地元会員共々に敬意を表するものです。さて今、日本全体で585万の企業がありますが99.4%迄が中小企業です。そして従業員数にして4,230万（56年統計）その中で中小企業に所属する方が81.1%で、先進国に比べますと正に日本の中小企業の層が非常に厚いと云う事が特殊な現象です。更に分業が進み活力を持っておるのが特徴と云えます、又常に好不況の波にさらされており或いは失業と



云う問題、此の様なスポンジの役目を果してあるのが日本の中小企業であり、以上の特徴が先進国の中小企業に比べて我が国の中小企業の位置づけと云えます。

只その中で非常に恵まれて居ないと云う事丈は確かです、之は数の多さもありますが何と申しまして政府の経済政策に寄るところが大きい訳です、例えば（さしさわりがあればお許し願いたい）漁業関係、農業の方々、或いは医師会には、大きな団体圧力がありますが、それに比べますと、本当に卸小売の流通関係の方々は恵まれてないと云えましょう。

当釧路市に於いても約8,000に近い企業のうち約半数は法人化されていますがそのうち880社位が出先で東京や札幌に本社があります。そして多分にもれず非常に厳しい経済環境のさなかで経営にあたっています。56年の倒産件数が154件（1,000万以上）で約50億円を超える金額で、非常に厳しい現況で更に展望も厳しいと云えましょう。日銀の調査でも輸出関連の都市はまづまづですが、今釧路で世論調査をしても前年比1～2%でいいところで、大半は横這いと言う感じで物価の上昇を見ると、まだまだ厳しいのが実状です。早急に何とか手を打たなければならないし、地場産業の発展から考えても会議所として大きな問題として取り上げるのは

当然です、昨年(1987)の8月15日大型店の凍結宣言をしたのも、これは経済問題よりも失業者が溢れ将来に展望を失う大きな社会問題として取り上げたのは当然です。

わに渚市政が出来た昭和52年、それ迄のポイントはお年寄にはこうします、医療問題はこうしますと大方の選挙は福祉厚生が重点であつた訳です。ご案内の通りですが52年の選挙の争点は経済にありました、それは流通経済をどうするかと云う様なむずかしい経済でなく家庭経済の延長線上にある経済、つまり主人が失業したらどうするのだ、或いは息子が学校を出るのだけれど就職の場があるのか、と云つた家庭経済の延長線上にあるその経済が争点の選挙であつた訳です。大方の市民は40年代にあつた高度成長期に、釧路市も共に発展のチャンスを見失いました、そして48年の第一次オイルショックのなやめる中で200 俵問題の深刻な様相も現れ、一体釧路はどうなるんだと云う事で、経済政策を掲げ、つまりあなたの息子さんの就職は将来はお任せ下さい、こう云うことでわに渚市政が市民に訴えた大きなポイントでした、それが全部ではありませんが何とかこの釧路を発展させようとするのが大きな基本として貫いた訳です。

52年10月にわに渚市政が誕生して翌53年5月に東京事務所を設けました、紀尾井町のビルの一角に職員2名で企業誘致の為に或いは予算獲得の情報収集の為に足場としての事務所の開設でした。そして企業誘致に全力投球をして参りました。此の4年間振り返って5～6の企業の張り付けに成功したのですが、むしろ比の4年間はこれからの釧路の方向づけを決めた4年間で、従つて厳しいけれども生き残つて釧路の将来は良くなるんだ、此の気持ちを市民に持つて戴き度いと願う次第です。

主な企業をあげますと

- (1)日東産業—土地改良剤で無機質配合肥料
或いは有機質配合肥料の製造
- (2)北海道日東—乳牛用の飼料
- (3)日本タルク—製紙用のファイラー原石を輸入し

て細粉化し本州、十條製紙に販売

(4)伊藤ハム工場

(5)全酪連配合飼料工場のオープン

このあとに全農の配合飼料工場、ニッコー電気そして大きな目玉が石炭火力に結びつきます。ちなみに全農は情報によりますと178億の施設そして石炭火力ですが知るところによると60万kw 2基の方向で、当初の計画の45万kwでも2000億を超える大きな施設が数年に亘つて釧路に投下されると云はれています。釧路の発展はエネルギーを確保出来るかという意味で、石炭燃焼火力の位置づけが非常に大きいと云えましょう何と申しましても如何にして企業を持つてくるか来ないのかは情報です。現下情報化社会の中で、いろんな情報がありますがその中でどれが正しいのか、どれがプラスになるのか、その情報をとるセンスが吾々に無ければなりません。

其の正しい情報をもたらすのは人間関係にある事をつくづく感ずる訳です、そこで東京事務所と併行して、53年には東京に54年には大阪に釧路出身者或いは釧路に勤務された方が15、6名居られます、その方々に企業誘致推進員と云う名前で、全くの無報酬で本当に郷土釧路発展のために頑張って戴いております。市長、議長私も含め皆さんでお合ひして、良い情報を知らせてもらう事の効果を着々と高めております、最近も大阪、東京でじっくり懇談の場を広めて来た次第で、市は非常な熱意をもつて対外的にも、中央に対しても新しい釧路ニュー・くしろを売込中です。然し中にはどうしても企業誘致を廃止した釧路自衛艦を寄せつけない釧路と云う事は今だに残っております。吾々は企業誘致をする場合に安い土地があり、工業用水が有り、立派な港が有り、エネルギーが有る、労働力が有ると云いましても、それ丈ではどこでも出す条件です。そこで更に何が必要か、それはその街で文化的な恩恵に浴するのか、教育的な恩恵が受けられるのか、或いは医療の恩恵を受けられるのか、所謂広い意味の社会資本の充実がなければ、企業誘致のキメ手にはならないと云う

ことです。従って此の4年間医大を誘致しよう大規模運動公園を造ってプロ野球を楽しもうじゃないか、或いは大学教育施設を充実して郷土で働く方々の子弟が、札幌、東京で学ぶとかわらない状況づくり、又病気になっても医大の先生に見てもらえる様な状態の背景に進めて行くことを、この4年数ヶ月一丸となって努力を続けて参りました。

最近地元新聞やその他で野菜工場とかピートモス利用の酪農について報道されておりますので多少申し上げて見たいと思います。

先進国の野菜工場はデンマーク、オーストリア、フランス、オランダですが、昨年11月にその先進野菜工場を12名で視察して参りました、そこにおられる横地社長様も流通の立場から又、実際に野菜を作っておられる鈴木さんにも参加して戴き非常に意義のある視察でありました、正式には寒冷地向け全天候型野菜等生産システムと云はれており一口に野菜工場と云っております。

昭和54年に日本産業機械工業会のプロジェクト事業として、未利用資源の活用がとり上げられました。この事が云はれましたはご存知の通り、エネルギーの93%、食糧の90%を輸入に頼っておる中で、何とか吾々のまわりに未利用な投げている大切な資源が無いものかと云う事です。そこで釧路として考えたところ二ツあった訳です、太平洋炭礦のズリ炭ボタ山と泥炭（ピートモス）で無尽蔵で湿原のまわりに眠っているものを、これを何とか利用の方法がないのかそして新しいふる里産業として興そうではないかと云うのが発想です。昨年は75万屯の水産の水揚げがあり、日本一を誇っておりますが現実には油の高騰があり諸経費の高騰と共に加工業者も苦しんでおりますし、二ツ目の柱である十条、本州も操業以来初めての短い期間ですが、レイオフの冷えた状況です、一人太平洋炭礦が250万屯の出炭で気をはいております。3本柱は中心ですがその様な現況の中で何とかして、ふる里産業を造って吾々の子供達が孫達が親と

一緒に釧路に住めることは産業振興以外にないと云う事で、未利用の石炭を使用し投げていたズリ炭を利用し或いは泥炭を利用することに考えたのが所謂釧路プロジェクトでその一環として野菜工場があると云う訳です。

現在太平洋炭礦が250万トンの石炭を生産していますが、同時に一緒に採って行くズリ炭が210万トンあるそうです460万トン採って250万トン生産する残り210万トンは2500カロリー以上3000カロリー以下の石炭です、その投げている石炭から2500カロリー以上の石炭を取り出すと33万トンづつの石炭が出来ます。先進国ヨーロッパの野菜工場は天然ガスが主ですが釧路はそのまま利用出来ません、従ってどうしても全天候型密閉式の工場になります、安い電力を引き出すために此の33万トンにのぼる2500カロリーを取り出すには流動層ボイラーを使うより方法がありません。

只大きな問題はこの野菜工場は一棟作るのに6億円の資金が必要です、これを新技術開発事業団に2月12日課題として提出して参りましたどうぞご審議を戴き度いと云う事でプラン提出になった次第です。この事業団は科学技術庁の出先ですがこのプランを2年間審議してくれる訳です、ポイントはエネルギーを何に求めどうして引き出すかと云う事です。野菜工場はテストで全額国庫で建ててもらおうのですが、成功したら事業団から吾々が引き取り安い金利で払い年賦で支払います。問題は一棟目が成功するかどうかです、然し一棟6億円でも1時間700Wの電力しか使はない訳で、ズリ炭を210万トンから33万トンを引き出すために太平洋は4～5億円の設備投資をして野菜工場に石炭を売る訳で4～5億円の洗炭設備をして、電気に換算すると1時間アワー当り3500kwを使ってもらわなければ出来ないそうですが、然し乍ら工場では700Wだけと云う訳には行きません。必要な丈と云つても相手も困ることで、では5棟全部と云う事も出来ませんので、その一貫として新しい病院、東中、博物館にスチームとして石炭

を使うのですが、まだまだ余裕もありますので今後の課題として考えねばなりません、只明るい展望も出て来ておりますので地元としてどう取り組むかと云う事です。

もう一つ泥炭ですがこれは北緯40°以北の寒冷地に約6000年～15,000年前の樹木、草、枯木がうもれ超氷が期に急激な寒さ、火山活動によって表面をとざされた結果万年氷によって腐らず炭化されたものだそうです。今回4次元農法の群馬県妻恋村（長野県白根山のふもと）の実験農場を視察しました、此の4次元農法はオガクズ使つてシメジを取り次にオガ屑が茸菌の作用で分解されて消化し易い餌に変化し牛の飼料となるそうです。実際には捨てるものが無く、茸、シメジ、肉牛、が出来るオガクズを牛舎にまくと臭を吸集し、そこで牛が糞尿をする中をかきまぜるそれを取り出してミミズをふやす、ミミズは300倍に増えるので増殖されたミミズを堆肥源にして鶏、ミンクを飼い最後にうなぎや魚を養殖すると云う工程で全く捨てる無駄がありません。問題は泥炭ですが、成分を分析するとヘミセルローズ、リグニン（市長が専門家）で稲藁、穀類の成分と同じで主要成分は含まれているし、更にヒトモスには+アルファの魔法の成分があるので四次元農法と云われるそうです、いずれに致しましても市民の力で「ふる里産業」を起さなければならないと痛切に感じております。さてお隣の帯広市について少しふれて見ます、昨年3月1日に帯広空港がオープンしました。私も招かれて祝賀会に参上しましたが大変な勢いで、正に交通を制するものは地域を制すると云った観で、中川大臣が入場しましたら会場総立で迎え全く中川空港の様でした。昨年9月石勝線の開通で札幌迄3時間、前途洋々たる帯広であると胸を張っておる訳ですそして次の日が商工会議所の議員大会でした、その席上で1議員が論文を発表しました、内容は総べてが帯広と釧路の比較です。例えば帯広市民と釧路市民の一人当りの所得、税金、道路舗装、公園面積等30項目に分けて分析した結果

今のところ釧路に負けておるが然し勝っておるものが二つあるそうで、それは1人当りの国の補助金であるそうです、その事は帯広は農業を基盤にするところですから確かに農業団体の圧力もあり大変な額の補助助成金があることは当然だと思います。釧路で対比するものは工業出荷高だろうと考えます。さてもう一つ釧路に勝っておるものは人材である、と大見栄を張つて私に其の感想を云えと云う訳で、がつつりやられて帰って来た次第です。然し最近耳にした事です、東亜国内航空の中でワーストテンで1番悪いのが帯広一札幌便、その次は鹿児島ー離島便、3番目が帯広ー東京便だそうです、いくら立派な空港が出来ても人の動きがなければ駄目です。人の動きは何からくるかそれは経済活動だと信じます、釧路のポテンシャル可能性は未だ未だあり、そして、それを引き出すものは郷土愛であり団結ではないかと強く皆様に訴える次第でございます。郷土愛について私の提言を申し上げます。最近私ががっかりした事がありますその告白ですが、昭和55年5月14日の釧路の筆欄で私は旧釧路川と云う名前がこれでもいいのかと言う提案をしました。釧路川でも旧釧路川でもいいのではないのかと云う方も居りますが、私は本当にそれでいいとは思って居りません。その様な折に原田康子さんが文芸春秋のコラム欄に書いた「ふる郷釧路を想い出して、の記事です、それはトンケシの原田御殿と云われていた子供時代に、筏で釧路川に遊んだ頃のことを書いてあったのですが、私はこれだと思い抜き書きして提案に添え最後に此の提言に賛意をお寄せ戴ければ幸いだと控え目に書いたのですが、只の1枚も賛成の葉書が来ません此の様なことで土現や開発に行き市民の世論はこうだと今更訴える事が出来ません。大切なことは郷土を愛する市民の表現の仕方ではないでしょうか、そこでもう一度原田康子さんの文章を読み上げます。ー以下釧路掲載原文ー「私は釧路川の川べりで育った、父の木工場が川淵にあった関係である、長い長い筏を引いた川蒸気

が往ききする光景は忘れがたい、岸にも丸太を組んだ筏が何時も浮んでいた。その上に乗って遊ぶことは固く禁じられていたが、親の目を盗んで此の筏乗りは楽しいものだった。夏にはセキレイが筏の上に飛んで来た、川面を覆う白い霧、冬の日、蓮の葉状の氷、氷の上に乗って流れついたゴメの群れ、ふる郷を想う時私の脳裏に何時も浮ぶ風景である」此の故郷を思う文章は郷土が生んだ作家、原田康子さんが文芸春秋5月号に載せたものです。昭和30年頃小説挽歌を発表し又映画にもなって一躍原田康子の名が中央文壇に知られ、同時に霧の街ロマンの街として釧路が大いに知られる様になった。原田さんに限らず仕事の関係や色々な事情で釧路を離れ東京、大阪、札幌その他全国各地に仕事に励んでおられる方は何千人もおられると思う。

又海外で活躍し釧路を故郷としておられる方も沢山居ります。どこに住んでいても、又いくつになっても故郷を想はない人はいないはずだ。子供時代の懐かしい思い出、学校、クラスメート、運動会、遠足、試験、駅、商店街、映画館等々、それぞれ濃淡はあっても、自分の育った時代背景は一生その人の胸に強烈に焼きついて離れないのは当然であろう。其の数々の思い出の背景に山が有り川があり橋があり丘がある、其の目に浮ぶ山や川の背景に山登りや釣りなどの一つ一つの思い出が刻まれている。冒頭の文章は原田さんがご自分の育った頃の強い印象に釧路川があった事は十分に推察出来るものである。原田さんにとって釧路川は思い出の川であり、又母なる川であると言つてもいいであろうところがである今其の釧路川は無くなったのである否、川はあるが名前が変わったのである旧釧路川と、原田さんの胸にしまっている釧路川は旧釧路川と名にかえたそうして困った事に河川切換で造った人工川である新釧路川に名前を変えたのである。何時から、どんな理由で、誰がそれを認めたのか疑問は幾つも浮んでくる。

昭和40年河川法が改正され42年から名称が変わったのである理由は其の河川法にあるらしい、

当時の河川管理者は釧路土現と云う事だが、その手続き告示の方々に就てどうもはっきりしない、吾々釧路っ兒にとって釧路川は確かりと市民生活にとけ込んだものである。赤い夕陽にくっきり浮ぶ名橋幣舞橋、その下を流れる釧路川こそ心の故郷であり誇りでもある、吾々は名橋幣舞橋にふさわしい川の名こそ釧路川であり決して旧釧路川であってはしくない、素朴な市民感情を無視し官製で法律1本で大切な川の名称をかえてはしくない。山や川はそこに生れ育った者にとって心の深いところを占めるものである、又故郷釧路を遠くにして想う人も同様であろう。幸か不幸か変更した名称は未だ定着もして居ないし浸透もしていない様である。正すなら今だ、現実問題として花火大会をやるにしても混乱している、絵葉書やポスターを作ってPRするにしてもややこしい、市内地図も案内板もそうである。歴史の継続性を無視しては混乱を生ずるばかりである、これから20年30年を経て吾々の後輩が今の歴史を調べるとき確かめなければどちらの釧路川なのか分らない様では誠に以て情けないと言はざるを得ない。何を残すかと云う事はその儘その街の文化のセンスでもある、市民の皆様故郷はかけがえのない大切なものです。吾々の先輩は自然の厳しさに堪えて立派な故郷釧路を造り、更に吾々は発展させて時代を荷う人達にバトンタッチして行かねばなりません。郷土愛をはぐくむ山や川その山や川のネーミングこそ先人の願いが込められている雄阿寒、雌阿寒、釧路川、幣舞橋、等々名前もふくめて大切にすることが吾々の責務でないだろうか、どうか此の提言に賛意を戴ければ幸いです。——此の様に新釧路に書いたのですが前に述べました通り一通の葉書もくれない訳です私が提言したから駄目なのだろうかと思っています、そこであすなろクラブの運動として提言してくれればいいのではないかと思います。

2000 校位葉書がくるのではないのでしょうか、私はそれを持つて市民の世論がこうだと言いたい訳です。私達の釧路は誰もかまってくれません

吾々自身皆んなで力を合せてやるしかないと言う事を私は申し上げたい訳です。日頃厳しい経済環境の中でご苦勞なさっておるクラブの方々に心から敬意を表しますと共に20周年にお招きを戴き、此の様な駄弁を申し上げましたが要は私共も皆様と一緒にたつてわに渚市長を盛り立てて皆んなでこの釧路を良くする、それは吾々しかないと言う事を固く誓うことこそ20周年の此の日にふさわしいことであろうと思う次第です。ご静聴を感謝致します

——自治行政の市長と地場産業の振興に専念しておる会頭のコンビが、1本の綱の様にピンと繋がりを共に郷土の発展のため全力投球しておることを肌に感じました。このことは革新市政当時にはなかった事で、この新しい在り方こそ正にニュー釧路の象徴ではないかと強く感じ深い信頼を得た次第です。



—祝 電 披 露—

釧路あすなろクラブの、輝やかな20周年記念を衷心よりお祝い申し上げますと共に、20年の長きに亘り厳しい経済状況下にあつて、地元業者が結集してその成果をあげておられることは誠に偉大な事でございます。又私に寄せていただいておりますご支援を感謝申し上げますと共に今後益々研修を続けられまして、会員皆様のいよいよのご発展とご健勝をご祈念申し上げます

国務大臣 科学技術庁長官 中川一郎殿

我が郷土の発展を願う、あすなろクラブ創立20周年を衷心よりお祝い申し上げます。創立以来クラブに刻まれた皆様のご努力こそ、変転目ぐるましい荒波をこえて永遠の隆盛につながる道と私は確信致します「経営は人なり」の誠意と熱意の皆様、ご活躍と一更のご発展を願い、本日の式典祝賀会のご盛会を祈ります。

衆議院議員 北村義和殿

あすなろクラブ創立20周年記念を、心よりお祝い申し上げます。今後研修と親睦を深められ一層のご活躍ご発展を祈念申し上げます。

(物故会員関係) 浅川正敏殿

地道に実績を固めて20年、会員各位の研鑽に敬意を表わし、益々のご発展を期待します。

(帯広にて) 釧路新聞社々長 片山睦三殿

釧路あすなろクラブ創立20周年おめでとうございます。今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

サッポロビール株式会社

取締役支店長 塙 正吉殿

輝やかな20周年おめでとうございます。創立に思いをはせて感無量のものがあります。記念式典を祝い益々のご発展を祈ります。

帯広(初代事務局長) 佐々木政勝殿

発展20周年の記念すべき日を迎えられ、誠に御出度うございます。釧路経済界に貢献された輝やかな足跡と会員諸兄のご努力に対し、心から敬意を表し声高らかに喜びの言葉を贈ります。

元理事 ダイカ株専務取締役

大宮豊穎殿

式 典 次 第

総合司会 加藤事務局長

- | | | |
|--------------|------------------|-----------------|
| 1. 開会の辞 | 7. 来賓紹介 | (イ) 前会長感謝状贈呈 |
| 2. 国歌斉唱 | 8. 来賓祝辞 | (ロ) 20年在籍会員表彰 |
| 3. 信条朗読 | 9. 祝電披露 | (ハ) 15年以上在籍会員表彰 |
| 4. 物故会員黙禱 | 10. 釧路新聞社奨学基金贈呈 | (ニ) 10年以上 |
| 5. 会長挨拶 | 11. 感謝状贈呈 | 13. 受彰者代表挨拶 |
| 6. 実行委員長経過報告 | 12. 会員感謝状並びに在籍表彰 | 14. 閉会の辞 |

祝 賀 会 次 第

1. 開会の辞 2. 乾杯 3. 祝宴 4. 万才三唱 5. 閉会の辞

感謝状並びに表彰者名

感謝状

バシフィックホテル株式会社

前会長 松田 忠 第17期 小林 久雄 第18・19期 瀬村 哲雄 第20期

表彰状

20年在籍会員

儀 俄 政 夫 小林 久雄 瀬村 哲雄 最 上 勇 松田 忠

15年以上在籍会員

岩 田 守 安 藤 昭 二 佐 藤 六 郎 佐 川 昭 池ヶ谷 栄 一

清 水 武 敏 森 下 勇 稲 垣 友 則 室 本 義 信 米 田 慶

横 山 寿 人

10年以上在籍会員

本 間 鉄 夫 松 本 重 政 綿 貫 利 次 多 賀 輝 夫 佐々木 保 幸

宮 地 良 彦 中 川 章 太 田 敏 雄 田 中 幸 一 石 井 亮 一

市 橋 清 捷 泰 地 秀 信 池 田 武 文

商工会議所議員の経過について

昭和49年5月例会は釧路商工会議所専務理事八町良三氏を迎えてのゲスト研修でした。「行動する会議所」としていくつかの問題提起の中で会員の拡充と会議所議員の若がえりを強調されました。更にクラブに対し、その性格と目的を考える時クラブから議員を送り込んで会議所とのパイプを持つべきだとの提言がありました。38年に釧路中小振興委の設置以来私達はその活動に関心と期待の熱い視線を送ってまいりましたが、サロンの体質に失望すら感じていたものです。商業近代化地域指定都市再開発制度資金制度の利用、商業団地問題、革新市政と経済界との離反など、商工会議所がしゅん時も活動の止まることの許されない重大な時期にあるとき、専務の提言を受け入れるべきがクラブの目的ではないかの意見が起り、9月例会の結論から、部会におろして意見集約を行うことになり、(1)議員を出すべきか (2)集票力(持株数)があるか (3)議員にふさわしい候補者がいるか (4)費用負担 この、4点的に焦点をしばり部会を開いた結果 (1)は小売部会が賛成、工業部会が保留 (2)は早急に集票調査を執行部がとりかかる (3)(4)については(2)の分析結果を見てから 以上の集約を背けいに活動を開始、10月例会で分析討議を行った結果、統一候補者を早急に選考し、11月20日の投票日に向けて直ちに行動を開始することを決定、小沢会員を選考委員長に選任し候補者選考に入る。(1)会員で適任者 (2)不可能な場合、会と関係のある適任者を条件に小沢委員長を中心に委員全員が精力的に活動を展開、統一候補者に2代目会長で現顧問の横地重幸氏を内定(11月例会で正式決定する。執行部が中心となり横地氏と綿密な連けいを取りつつ集票200口を目標に総力をあげて運動を展開、更に中央青果KKを母体にした協力と卸商連盟の後援などもあり、1号議員に横地顧問を201票で当選させることが出来た。短期間で見通しに不安があったもののその目的を達成出来て、クラブの面目を保ち得た選挙でした。

会長より会員にあてて

朝夕めっきりと冷へ込みがきびしく冬の近いことを感じます。不景気の長期化が予想されるなかで会員の皆様は年度追い込みで激しい商戦を展開中のことと存じます。既に周知の通り晩秋の十勝川のほとり池田町での自治体行政研修は会員各社のセール或いは慰安旅行等がかなり予定より大巾な参加ダウンで17名の出席にとどまり、多少期待に反した人員になりましたが、町理事者の真剣な協力と説明を受けその成果は十分に満ちたものと信じております。いずれくわしい報告が事務局よりなされますので私は省略致します。翌日旅館で開催しました例会で討議にかけた議題に「商工会議所議員選挙について経過」がありました。その件につきまして一連の報告を行い重ねて会員各位の協力をいただき度く思います。

1.アンケートの結果について。先に会員全員に求めた商工会議所議員について会が議員を送り込むべきかとの問について88%が賛成でした。持株を協力出来るかとの問について148株の協力が見込まれます更に会が議員を積極的に送るのなら協力する用意のある口株が相当見込まれる。2.釧路議員にあすなろクラブから選出することを確認致しました。3.現在の協力株数ではやや不安があるので再度会員の協力を求める。4.その人を選ぶか、選出方法は選考委員を指名する(会長指名)委員名、小沢、小林、瀬村、安藤、川田、松田、池ヶ谷、綿貫、森下、以上9名の会員(副会長経験者)におまかせする。5.会員が要請して選出される候補者は今回は会長経験者から出したい。右のことが例会で討議の上決定されました。釧路議員改選の日程は1号議員の告示が10月31日、11月15日5候補の締切、11月20日投票即日開票と云う日程です。株あつめの選対は、1.会員の再度の協力2.会員外から総力あげて、あつめる3.商工会議所より根廻しする。この3点につきます訳です。1と2はどうしても皆様の絶大な協力が必要になります。会発足以来13年目にしようやく、経営研修団体として初めての試験を内外に受けることです。1口でも2口でも株をかきあつめられんことを再度お願い致し報告を終ります。

10月24日 会長 最上 勇
会員の皆様



横地重幸氏

候補者より会員にあてて

あすなろクラブ会員の皆様 此の度私は釧路商工会議所1号議員の候補者として会より御推薦を受けました。幾多すぐれた人材のあるなか、私をしてその立場に求めて頂きました事を大変光栄に思っておりますと共に、私に対する会員各位の温い御配慮について誠にうれしく思う次第であります。私は御存知

の通り市設中央青果市場開設にあたり、三問屋合併後の中央青果株式会社の最高責任者として、市場経営、流通機構の正常化を早急に図らなければならないため、私を筆頭に全社員総力をあげてこれに当るため止むなく会より身を引かせて頂いた次第です。しかし会に対する愛情と会員であった誇りは寸時も忘れることなく、信条は常に私の座右銘でもありますし、会の動きについても強い関心を持って見守ってまいりました。今回の議員改選を契機に積極的に吾々の同志を会議所に送り込み、そのパイプを通して一步一步理想実現のため努力と運動を起すことに踏み切った会員各位の決意について深く協賛を送り、私も出来る限りの協力をする考えでございました。幸いにして市場経営の見通しも立ち、会社重役の賛同もありましたので、皆様の求めている基盤づくり、スタート・ランナーとして私は候補者の御推薦を喜んでお引受けしようと決意致しました。幸い議員としての立場に立ちましたならば、52名会員の代表として私に課せられた責務を充分果たたく、考えております。以上御推薦を受けるにあたり私の考えの一端を申しあげた次第です。機会を見て会員皆様とお会い致し御挨拶を申しあげたい所存ですが、取りあえず御協力を感謝し、変らぬ御指導と御鞭達をお願い申しあげ御挨拶と致します。 昭和49年11月12日

あすなろと 厳島神社例大祭の 協力について



弁天さんの愛称で市民に親しまれている、厳島神社の例大祭の御輿し渡御は例年7月15日を中心に、伝統ある夏祭りとして挙行されている。戦前は2日間の日程で水産関連の青年群が中心となって白丁により、御輿し渡御行列であったが、戦後になって種々の事情から日程も1日に短縮となり御輿もトラックによって祭典区を巡輿されていた。

昭和42年に横地会長が祭典協力を提唱された。

①行列の進行が乱れ統制の必要がある。②交通渋滞と危険度。③経済人として足で市の発展を見聞する④信条にのっとり郷土の祭典を盛り上げる。以上の理由をふまえ例会で論議の結果出来る限り協力することに決定。昭和43年の総会に於て祭典協力は行列の進行に限り自主協力することを確認し、儀儀会長より神社側に申し入れを行った。総代会の了承を得て、昭和44年から正式に祭典役員名簿にクラブ名が記載された。指揮班、供奉班に編成、以来今日迄協力の度合は益々深くなり、53年から再び白丁による渡御により延長1,200 mに及ぶ行列進行の運営には、クラブの協力なしでは出来得ない程、期待と責任を負わされているのが現在の姿と云えよう。

あすなろと 花壇について



昭和48年全市をあげて展開されていた「緑一ぱい市民運動」の一かんとしてチューリップ花一ぱい運動の推進本部から、クラブに協力の要請があり種々論議の結果、藪会員が推進本部の役員である関係も考慮して、協力体制をとることになり各部会から2名のチューリップ委員を選出、場所、規模、予算、管理方法等具休案の作成を依頼する。5月例会で 工業 安藤、伊藤(史) 卸 寺前、高橋、小売 名和、細川会員を委員に委嘱 田中事務局長、綿貫副会長、最上会長を加へた委員会を構成、互選で伊藤委員長、寺前副委員長が決定した。委員会は数回の会議の外、現地視察、専門家との懇談、会員のアンケートなど精力的な活動を行い7月例会に於て 場所 市立図書館前花だん、球根数3,000 予算150,000 円の会員拠出金(本年度予算なし)改良土壌、肥料は推進本部の負担で処置することなどを決定し第1回目の植込みを9月22日に行う、翌50年度は花だん予算を計上し委員会が中心となって管理を行ったが、閉花後の土地改良費、新種購入予算、花だんをいこに見る市立病院入院患者、図書館利用者への配慮などを検討した結果、クラブの事業として永久性をもつためには、チューリップ花だんの性格を変えて、一般的な花だんにうつすべき委員会提言もあって51年度から、四季開花、四季緑の方針を総会で決定する。鉄柵工事を室本、高谷会員が寄贈、松田会員のいちい寄贈、日高つつじの植樹等、8年間その整備充実に奉仕をつづけて来たが、創立20周年記念行事の中にも特別予算を計上して拡充に努力をつづけている。

あすなろと ビール会に ついて



クラブの運営がやや軌道にのりつつあった39年頃から、会員の誰とはなしに、例会の真剣な研修から離れて仲の良い連中と、仕事を忘れ、たのしく飲み、且つ語り合う会がほしい、と云う声が次第に高まり、それが役員会で話題となった様です。その様な事で、種々論議の結果、会員の希望にそって「戦線統一こんだん会的な飲み会をつくって見よう」と云う役員会の結論が出て、その具体策をねっていたところ、幸いにも会員中に、サツポロビールの販売特約店があり、ビール会なら最も健康的で、永続きするだろうと云う判断のもとに、執行部の根廻しよろしきと、ビール会社と先輩の釧路サツポロビール会（35年7月発足）の理解と協力のもとに40年9月5日、ミヤチホールで発会式並びに第1回例会の運びとなった訳です。「以下、あすなろクラブ信条である。「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和す、の精神と情熱をビール会にかたむけ、郷土のビール、サツポロビール、をこよなく愛し、本会を通じ人の和を保ち、ビールを呑み共に語らい、明日の活力を養い、バリバリと仕事に徹しようとの発想から誕生したものです（100回記念、今田会員回想文）樽生をジョッキで初めて口にする会員もふくめ59名でスタートしたビール会も回を重ねるごとに会員も増え、現在では女性会員もふくめ、130名を容する大世帯となり職種も各階層を網羅する多彩な顔ぶれで、57年5月には200回記念例会を開催する予定となっております。

41年6月11日東映ホテルで開催された「あやめ祭り、に釧路ビール会（通称親会）と共に夫人同伴で招かれたのが縁となり、弟分として発足した釧路ホップ会（41年5月発足）と3会合同の連合ビール会が42年7月12日、銀の目で開催された事から、交歓親睦を目的とした連合ビール会が持廻りホストで、毎年7月に開催されるのが定着し、今日迄その鉄則は守られております。合同ビール会を評し、門脇サツポロビール社長談（昭和52年）「夏の短いくしろの夏の風物詩であり、ビール野郎の学芸会である。」と

昭和53年4月14日、帯広あすなろビール会が誕生したが、此の会はスポンサーが吾が会であり、毎年創立記念日には、共々交歓を行い、親交を深めておくことは本当に喜ばしいことと思っております

ここで特に本会とビール会の関係についてふれておきたいことは、ビール会の会員となるには2名以上の推せん者があり、役員会で慎重な審議の上、全員一致の賛成で入会金を納めてはじめて会員の道が開かれるルールになっておりますが、本会の会員は何等の制約もなくストレートでビールが飲めることになっておることです。この事はビール会発足の経過から当然なことで、本会とビール会は、親会社と子会社の関係である訳です。従って両会の運営や行事については常に綿密な連携が保たれており、役員（3役）も本会の経験者になることも当然なことと云えましょう。ビール会の会長は3ビール会とも任期が永く、釧路ビール会栗津会長は44年からホップ会の佐藤会長は41年発足以来から横地会長は45年から、いずれも現在迄つとめておられることは、この会が健全な再生産のための集いであり、それぞれの会の歴史の重みが、自然と会長を象徴的な立場においあげて、健康が許す限りおつとめをいただくとうと云う会員の意識が自然な形で現れている証左でなかろうかと思います。

資 料

PART I

1 会 則

2 歴 代 役 員 名

3 年代決算一覽表

4 年代行事一覽表

5 会員職業分類表

6 旧 会 員 名 簿

7 会 員 名 簿

釧路あすなろクラブ会則

(名 称)

第 1 条 本会は釧路あすなろクラブと称する。

(事務所)

第 2 条 本会の事務所は事務局長の勤務先に置く。

(目 的)

第 3 条 本会は会員相互の交流親睦を図ると共に会員の経営ならびに販売技術の向上を期する為の研修を目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的達成の為に下記の事業を行う。

1. 毎月例会を行う。場所及び行事内容はその都度連絡するものとする。
2. 例会に於いて各業種間共通の諸問題を取り上げ情報の公開関連販売の交換、事業能率の向上販売宣伝のアイデア等の交流を行う。
3. 経営ならびに販売技術等のゼミナールを行う。
4. 会員相互の親睦を深めるため家族同伴のレクリエーション等を行う。

(入 会)

第 5 条 本会の会員は下記の事項に該当する者とする。

1. 釧路市内にて営業に携わる者にして1業種1名を原則とする。
2. 入会希望者は現会員の推薦を要し、所属部会並に例会に計り、役員会の承認を得る。

(退 会)

第 6 条 会員は予め会長にその旨の記載した書面で通知した上で退会することが出来る。

(休 会)

第 7 条 会員が病気、その他止むを得ない事情で、通常の会の行事に参加出来ないときは役員会の承認を得て休会扱いとし会費の半額を負担するものとする。

休会の期間は原則として事業期間中とする。

(除 名)

第 8 条 会員が次の各号のいずれかに該当するときは総会の決議により除名することが出来る。

1. 本会の名誉をき損し、又はその目的に反する行為をしたとき。
2. 会費を1年以上納入しないとき。

第 9 条 本会は会員が退会した又は除名された者の既に納入した会費その他の拠出金品は返還しない。

第 10 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1 名 副 会 長 2 名
事 務 局 長 1 名 事務局次長 2 名
正副部会長若干名 監 事 2 名

(選 任)

第 11 条 役員を選任は次のとおりとする。

1. 会長と監事は選考委員会によって選考し総会に報告し選任する。
2. 選考委員会は各部会2名と現事務局長によって、8月末日までに構成するものとする。

3. 副会長、事務局長、事務局次長は会長が指名する。
4. 部会長、副部会長は部会員の互選とする。
5. 役員の任期は1ヶ年とし、再任を妨げない、役員欠員により選任された新役員の任期は前任者の残任期間とする。

(職 務)

第12条 会長は本会を代表し、会務を総括する。

副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

事務局長は会務を担当する。

事務局次長は事務局長を補佐し、会務を担当する。

正副部会長は会務に参画する。

監事は会務を監査する。

(顧問、相談役)

第13条 本会に顧問と相談役をおくことが出来る。

2. 顧問は本会に功労のあった者の中から総会の議を経て会長が委嘱する。
3. 相談役は前会長とし、期間は現職会長の任期中とする。
4. 顧問、相談役は会長の諮問に応じて、本会の運営に関し、意見を述べる事が出来る。

(総会、役員会)

第14条 本会の定期総会は毎年1月に行う総会は会員の過半数をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって決し、議決事項は全会員に報告する。

2. 役員が必要と認めたときは臨時総会を会長が招集することが出来る。
3. 役員会は会長が招集し、諸問題の企画立案を決定する。

4. 部会は部会長が招集し、部内の和を計るとともに諸問題を討議する。部会の開催回数は原則として年3回以上とする

(会 費)

第15条 会員は別に定める入会金および会費を納入しなければならない。

2. 行事等開催の場合は役員会の決議により寄附行為ならびに臨時に会費を徴収することが出来る。

3. 途中の入会者は月割の会費とする。

(内規) 入会金 10,000円

年会費 3,600円

(事業年度)

第16条 本会の事業年度は毎年1月1日に始まり12月31日に終る。

第17条 この会則以外に關して必要な事項は役員会の議決を経て別に定めるこの会則は昭和53年3月7日より実施する。

1. 昭和37年2月8日より実施。
2. 昭和43年3月17日一部改正。
3. 昭和47年1月16日一部改正。
4. 昭和49年1月20日一部改正。
5. 昭和50年1月26日一部改正。

慶 弔 規 定 (54.1.21)

会員及びその家族の慶弔に際して、その意を表するため、下記の規定により金品を贈呈する。

1. 結 婚 祝

会員結婚の場合 20,000円

会員子女結婚の場合 5,000円

(外に祝電で祝意を表する)

2. 出 産 祝

会員の妻出産の場合 5,000円

3. 新 築 祝

会員の住宅及び店舗新築の場合

5,000円

4. 病 気 見 舞

会員で傷病のため入院又は30日以上自
宅療養の場合 5,000 円
(準会員の場合も同じ)

5. 弔 事

会員死亡の場合 20,000 円
会員の配偶者両親扶養する子
10,000 円
会員の妻の両親と同居する場合
5,000 円

(外に弔電で弔意を表する)

会員施主になった場合香典弔電を贈る

6. その他特に必要と認めた場合役員に計
り実情に応じて金品を贈呈する事が出
来る

7. 結婚式、新築祝、葬儀など必要と思わ
れる時は会旗を啓上して表意する。

表 彰 規 定 (5 7 . 1 . 1 9)

会員が下記の事項に該当するときは審査の
上、役員会で決定し、表彰状及び賞品を贈
呈する。

1. 会の在籍年数10年以上5年毎の会員
で、会のために尽力された者。
2. 会員で特に功績のあった者。



歴代役員名

— 106 —

[illegible]

年代決算一覧表

		収 入 の 部						支				
期	自年月日 至年月日	前期繰越	会 費	特別会費	雑 収 入		合 計	例 会 費	研 修 費	役員会費	選 考 委 員 会 費	部 会 費
1	37. 2.18 38. 3.31		153,550	16,000	バッチ代 1,000		170,550		96,475			
2	38. 4. 1 39. 3.31	9,195	176,000	2,600			187,795		148,706			
3	39. 4. 1 40. 3.31	4,399	301,400	53,900			359,699		242,516			
4	40. 4. 1 41. 3.31	11,552	338,000	40,500	アルバム代 1,500		391,552	167,805	19,380	23,398		14,786
5	41. 4. 1 42. 3.31	13,787	318,000	32,600		5周年会費 28,000	399,387	57,170	34,725	9,800		9,320
6	42. 4. 1 43. 3.31	25,343	377,000	31,300	2,000		435,643	167,119	33,065	30,030		8,390
7	43. 4. 1 44. 3.31	15,976	449,000	31,300	2,000		498,276	170,475	33,065	30,030		8,390
8	44. 4. 1 44.12.31	71,253	417,500	56,350	1,114		546,217	177,951	101,950	28,752		33,470
9	45. 1. 1 45.12.31	48,523	468,000	57,500	16,906		590,929	179,008	121,897	31,002		23,400
10	46. 1. 1 46.12.31	16,309	469,000	117,500	17,547		620,356	233,700	3,000	33,880		41,100
11	47. 1. 1 47.12.31	29,993	775,000	180,500	積立金 64,883	101,751	1,152,127	107,164	31,985	47,800		45,285
12	48. 1. 1 48.12.31	43,219	799,500	108,000	74,460		1,025,179	175,034	39,530	69,570		32,180
13	49. 1. 1 49.12.31	97,118	867,000	287,000	27,279		1,278,397	194,494	136,590	94,600		60,000
14	50. 1. 1 50.12.31	27,369	1,154,000	248,000	積立金 19,747	60,000	1,509,116	241,930	189,998	70,032		75,340
15	51. 1. 1 51.12.31	30,595	1,166,000	346,000	未収金 24,000 211,467	積立金 90,000	1,868,062	298,864	183,300	130,893	15周年実 行委員会費 16,510	80,000
16	52. 1. 1 52.12.31	74,514	1,176,000	404,000	未収金 70,000 58,527	15周年会費 365,000	2,148,041	273,400	128,770	158,219	15周年行事	110,000
17	53. 1. 1 53.12.31	45,744	1,193,000	512,000	未収金 46,000 48,000	預り金 2,000	1,846,744	256,296	109,420	144,495	12,060	120,000
18	54. 1. 1 54.12.31	41,588	1,243,000	697,500	65,079		2,047,167	244,005	77,742	147,025	14,000	120,000
19	55. 1. 1 55.12.31	224,181	1,999,000	221,000	125,182		2,569,363	360,123	124,078	150,850	15,000	140,000
20	56. 1. 1 56.12.31	284,424	1,968,000	220,000	245,427		2,717,851	386,152	1,225,792	150,120	28,430	140,000

(第1期～第20期)

資料 No

出 の 部										次期繰越	
事務 通信費	慶弔費	交際費	印刷費	通信費	クリスマス マス費	管外研修				合 計	
3,970		4,600	22,675	2,635					バッチ代 31,000	161,355	9,195
5,735		4,000	17,250	3,205					一日入隊 関係費 4,500	183,396	4,399
8,130		19,900	19,150	3,580	54,871					348,147	11,552
15,044		11,900	12,895	1,250	(厚生費) 82,807				バッチ代 28,500	377,765	13,787
2,435		19,000	41,460	5,700	(厚生費) 111,078	5周年行事 71,256			スチールロフカー 11,300 雑費 800	374,044	25,343
		15,450	52,660	5,753	(厚生費) 106,360				雑費 840	419,667	15,976
840		17,450	52,660	5,753	(厚生費) 106,360				雑費 2,000	427,023	71,253
462		12,400	26,150	5,565	(厚生費) 67,994	(記念積立) 40,000			雑費 3,000	497,694	48,523
2,200	54,565	23,000	39,100	6,948	(厚生費) 63,500	(記念積立) 30,000				574,620	16,309
	25,000	3,000	30,882	350	82,945	(帯 広) 102,726	(記念積立) 30,000		雑費 3,780	590,363	29,993
	23,000	9,000	90,030	10,600	213,428	(中標津) 112,695	10周年行事 353,979	野外レク 56,942	雑費 7,000	1,108,908	43,219
	98,800	5,000	43,220	29,590	289,590	(旭 川) 72,680		野外レク 66,380	雑費 6,487	928,061	97,118
45,742	29,000	5,000	31,090		320,691	(池 田) 164,720	(記念積立) 60,000	野外レク 106,656	雑費 41,975	1,251,028	27,369
39,745	54,000		32,000		343,886	(網 走) 207,797	(記念積立) 90,000	野外レク 133,793		1,478,521	30,595
64,192	59,520				441,460	(浜 中) 212,558	(記念積立) 120,000	野外レク 162,251	雑費 24,000	1,793,548	74,514
72,970	63,450				429,630	(川 湯) 148,350	(記念積立) 50,000	野外レク 210,158	雑費 46,000	2,102,297	45,744
140,916	83,530				471,886	(弟子屈) 179,467	(記念積立) 50,000	野外レク 217,086	雑費 20,000	1,805,156	41,588
127,360	73,590				550,903	(羅 臼) 196,745	(記念積立) 50,000	野外レク 219,616	雑費 2,000	1,822,986	224,181
157,532	72,600				625,440	(富良野) 185,550	(記念積立) 150,000	野外レク 251,466	雑費 52,300	2,284,939	284,424
148,035	89,900						(記念積立) 150,000		雑費 86,700	2,405,129	312,722

年代行事一覽表

37年	行 事 内 容	38年	行 事 内 容	39年	行 事 内 容	40年	行 事 内 容	41年	行 事 内 容
2月	18日創立総会(19名) 萬万	月		月		月		月	
3月	24日研究部会設置の決定。自己紹介	4月	第1期総会 泉屋	月		月		月	
4月	石油の流通と現況。石炭産業の見通しと現況	5月	会報発行について	4月	第2期総会 トキワグリン	4月	第3期総会 泉 屋	4月	第4期総会 旅テル市川
5月	①食品業況の現況。②印刷技術の利点。19日 東映ホテル	6月	スーパーマーケットの現況 三原専務	5月	部会編成委員会所属原案を討議	5月	17日①役員分担と部会編成 ②事業計画、予算審議③感謝状	5月	北斗種畜農場研修
5月	第1回研修会「初級級と昇給について」24日	7月	消費基地として中央市場の開設にあたり	6月	青空例会 北斗牧場	5月	24日労基法の勉強会 支庁労政	6月	我々に身近な経営上の諸問題
6月	信条を決定。 建材の実用性について。木工品の近況について	8月	①貨幣と貴金属の相場について ②社員教育システムについて	7月	創路モトクロス大会について	6月	第2回畜産振興見学 北斗農場	7月	創路市政を觀る(革新市政と当面の諸問題)
7月	業界の近況と商店経営の悩み。 佐々木会員	8月	17~18日 自衛隊1日体験入隊	8月	最近の創路の経済情勢について	7月	会員基本調査票について	8月	家族野遊会 東創路飛行場
8月	パッチ図案の決定。 自転車産業の近況と私の経営方針 池ヶ谷会員	8月	24日 精神修養坐禅会 定光寺	9月	19日各部提案審議(貸金体系研修)	8月	創路市の将来性と道東開発について 山本議長	9月	上手なお金の借り方について 富士銀行
9月	中堅社員訓練テキスト 清水会員	9月	三流の信条と自衛隊の任務について	9月	28日交通法令講習会 労働会館	9月	家族レク 鶴路湖畔	10月	明年度新卒者採用問題について
10月	サービスの本質について 松田会員	10月	香港、台湾を視察して 横地会員	10月	家族慰安野遊会 大栗毛河畔	10月	貸金の動態と中小企業の立場について	11月	トップマネジメントに必要な法律知識
11月	衣料品の流通と創路地方の占有 浅野会員	11月	一般経済と創路経済事情 道銀	11月	最近の不渡手形激増による中小企業経営の分析	11月	人事管理問題をテーマに意見交換	12月	家族Xmas 道銀ビル
12月	カメラの基礎知識と選び方 山下会員	12月	家族同僚懇談会兼忘年会 労働会館	12月	第2回Xmas会 労働会館	12月	第3回Xmas 労働会館	42年	
38年		39年		40年		41年		42年	
1月	自由討議 泉屋	1月	自由討議 泉屋	1月	現代の生活 市助役 渡部五郎	1月	新春放談(本年の抱負と将来の展望について) 革新市政と工場誘致条例廃止について	2月	5周年記念式典 産業会館
2月	敷島商工会場見学	2月	学校教材費の実態について 最上会員	2月	東南アジアを巡って 片山社長	2月	市政回顧と市民生活 元市長 山本武雄	2月	無くてはならない人になるために
3月	例会の定例日と長期欠席者の扱いについて	3月	電器商品の流通機構について 佐川会員	3月	健全経営について 小杉専務	3月	大松根性と社員教育 大宮理事	3月	第5期総会 六園荘
42年	行 事 内 容	43年	行 事 内 容	44年	行 事 内 容	45年	行 事 内 容	46年	行 事 内 容
月		月		1月	第7期総会 泉屋	1月	第8期総会 パークホテル	1月	第9期総会 宮地会館
4月	各部委員会提案、予算案、事務局2人制承認	4月	総会総案案件審議	2月	欧州及び韓国を旅行して 渡部五郎	2月	新会長挨拶と5公約発表	2月	5分間スピーチ
5月	北斗農場研修	5月	①小売店対スーパー対策について 清水会員 ②職業別事業内訓練について 米田会員	3月	5分間スピーチ ニュー八段	3月	コンピュータのスライド上映 各部会活動の報告。血圧測定	3月	創路経済の動向および、国際 国内の経済の情勢について 十石支店長 (日 銀)
6月	持家制度について研究発表	6月	日本金融政策の現況について 野村証券	4月	①新入社員教育について 兼 会員 ②手形について 後援会員	4月	給与体系について 今田会長	4月	二重価格制について
7月	座禅会 定光寺	7月	スーパーの現況と対策 小杉専務	5月	①物品税について 小林会員 ②健康について 森下会員③自動車事故の察如何に処理すべきか	5月	最近の金融機関から見た中小企業 商工信組 の欠点	5月	大型ファミリー就航と創路経済 郵船創路
8月	家族レク 達古武湖畔	8月	家族レク 大栗毛村山	6月	日本酒のきき酒会 産業会館	6月	神社の歴史と祭典について 柴地宮司	6月	フリーターキング あすなろ再確認のための 歴代会長
9月	フリーターキング クラブの今後の在り方	9月	職業訓練法とその現状 支庁	7月	交通法規講習会 市 警	7月	創路開発の夢を聞く 布施正	7月	北政を視察して 横地会員(神社協力第1回)
10月	貸金問題研修会	10月	就職問題について 北陽高校	8月	現代の仏教 本行寺	8月	フジカラー現像所の今後の経営と将来性について。 我が社の創立と将来について 南沢会員	8月	我が国が共産化するにはどのような 段階を経なければならぬか 赤松公証人
11月	貸金問題研修会	11月	フリーターキング あすなろ批判 司会最上、清水	9月	創路の経済界について 帝國興信所	9月	日本に於けるフィルム消費量 富士フィルム	9月	会員相互の情報交換
12月	Xmas ローカル会館	12月	Xmas 産業会館	10月	5分間スピーチ	10月	管外研修(第2回) 根室市	10月	管外研修(第3回) 帯広市
43年		月		11月	管外研修(第1回) 北見市	11月	アラスカより帰国報告 兼 会員	11月	
1月	新春ボーリング大会 東映ホテル	月		12月	Xmas 産業会館	12月	Xmas 宮地会館	12月	Xmas 宮地会館
2月	年間事業の反省と総会について	月		月		月		月	
3月	第6期総会 敷島商會本店	月		月		月		月	

47年	行 事 内 容	48年	行 事 内 容	49年	行 事 内 容	50年	行 事 内 容	51年	行 事 内 容
1月	第10期総会 宮地会館	1月	第11期総会 宮地会館	1月	第12期総会 十条会館	1月	第13期総会 栄町会館	1月	第14期総会 旅テル市川
2月	10周年記念式典、会旗入魂式 宮地会館	2月	事業計画と予算審議。初任給について	2月	事業計画と予算審議	2月	事業計画と予算審議	2月	臨時総会 水産ホテル
3月	式典反省会と自由討論	3月	登記のはなし、工業部会報告	3月	部会活動報告 (14日)	3月	経済海域 200 カイリ規制と創路経済への影響	3月	酒について 教島商会
4月	例会スケジュール発表、中央市場の問題	4月	最近の石油事情。海外視察報告 川田会員	3月	17日第1回あすなろ健康教室	4月	創路市民の生活を守る条例について	4月	豪雪により流会
5月	交通安全知識の向上 創警 和田係長	5月	創路の道路開発について 藪 会員	4月	モデル貸金について討論 (6日)	5月	春斗と貸金問題について討論	5月	市の福祉行政について
6月	消防本部見学と消火訓練 上田 予防課長	6月	商工会議所の活動内容について	4月	22日中央卸売市場見学 早朝実施	6月	最近の石油の現状と見通し	6月	不動産問題について
6月	雌阿寒登山を行う リーダー 安藤会員	7月	自由討論	5月	中小企業資金制度の在り方について	7月	自由課題	7月	登記について
7月	本州製紙見学	8月	人の動かし方について 7日	6月	北方動物園。南大通り再開について	8月	7日創路経済の近況と下期の見通し	8月	家族レク 1日 北斗園
8月	家族レク 北斗園	8月	家族レク (19日) 北斗園	7月	チューリップ委員会報告	8月	17日家族レク 北斗園	8月	(4日)大型店新改装オープン後の商業界の現況
9月	国際社会の動向について創新	9月	各業界の最近の商品動向	8月	家族レク 18日 北斗園	9月	自由課題	9月	管外研修 (第8回) 浜中町
10月	管外研修 (第4回) 中標津町	10月	管外研修 (第5回) 旭川市	8月	商工会議所議員選出について	10月	管外研修 (第7回) 網走市	10月	創路市の現況について
11月	職場におけるコミュニケーションについて サッポロビール大畑所長	11月	創路市長、市議選を顧みて	9月	29日第2回あすなろ健康教室	11月	自由課題	11月	労働、貸金問題について
12月	Xmas (工業) 宮地会館	12月	証券業界からみた日本経済の動向	10月	管外研修 (第6回) 池田町	12月	Xmas (工業) 商工会館	12月	Xmas (卸) 東映ホテル
月		12月	Xmas (卸) 東映ホテル	11月	池田町研修報告	月		月	
月		月		12月	Xmas (小売) 東映ホテル	月		月	
52年	行 事 内 容	53年	行 事 内 容	54年	行 事 内 容	55年	行 事 内 容	56年	行 事 内 容
1月	第15期総会 栄町会館	1月	第16期総会 栄町会館	1月	第17期総会 十条会館	1月	第18期総会 旅テル市川	1月	第19期総会 パシフィックホテル
2月	15周年記念式典 東映ホテル	2月	自由課題	2月	最近の青少年の非行問題 三国会員	2月	10日婦人の集い 12日私の見た創路の概況 オリエンタルホテル 大久保支庁長	2月	気象について 菅原予報官
3月	200 カイリ問題について 創路機船 中井照夫	3月	臨時総会会則改正審議 水産ホテル	3月	お酒の出来るまで 教島商会	3月	教島商会工場見学	3月	創路経済の現況と3風運動について 小笠原教島商会 社長
4月	経済の展望について 日銀次長	4月	部会報告と創立時のあすなろについて	4月	最近の金融経済情勢。道東の景気 日銀 島村支店長	4月	最近の金融情勢について 創路商工信組 田村常務	4月	創路の未来像について 経済部長 坂本茂氏
5月	貸金問題について	5月	創路市内経済情勢について	5月	石油問題について 丸善石油北海道 支店次長 高木氏	5月	創路市の10大事業と5大構想 わにぶち市長	5月	柔い頭、確な眼 本行事務原住職
6月	各企業の現況報告	6月	楽しい外国旅行について ツーリスト所長	6月	建築設備についての予備知識 田中会員 高谷会員	6月	運転のマナー安全運転 創路警察署 宮下交通課課長	6月	道東経済の現況と見通しについて 日銀 新谷 支店長 後継者問題について 大型店対策について 商店問題について 高谷工業部会長 権井 卸 部会長 清水会員
7月	自由課題 7日	7月	映写会 日航提供	7月	新入会員の歓迎のタペ 水産ホテル	7月	日本の国防。ソ連と北方領土について 自衛隊1等陸佐 清水氏	7月	婦人の集い「野菜の見方、運び方」寺前会員 「お茶の飲み方、保管の仕方」三国会員
7月	24日家族レク 北斗園	7月	太平洋炭礦坑内見学 (希望者のみ)	8月	家族レク 北斗園	8月	10日家族レク 北斗園	8月	家族レク 美濃園 (OK牧場)
9月	電力事情について 北電支店長	8月	家族レク 北斗園	9月	管外研修 (第11回) 羅臼町	8月	20日合同部会 磯 舟	9月	管外研修 (第13回) 中標津町
10月	管外研修 (第9回) 川湯	9月	現代の性の動向と対策 平元医師	10月	これからの教育について 教育研究所 名倉所長	9月	管外研修 (第12回) 富良野市	10月	創路経済の現況について 会議所 木村常務
11月	経済情勢 道新 谷口	10月	管外研修 (第10回) 弟子屈町	11月	新入会員によるスピーチ	10月	フリーティング 管外研修と部会編成について	11月	20周年記念事業計画について
12月	Xmas (小売) 東映ホテル	11月	水増し船問題について	12月	Xmas (卸) 東映ホテル	11月	20周年記念事業計画案について	12月	Xmas (工業) 東映ホテル
月		12月	Xmas (工業) 商工会館	月		12月	Xmas (小売) 十条会館	月	

会 員 職 業 分 類 表

昭和56年 4 月15日 現在

関 連 業 種 郡 名	A	B	C	D	E	F
自 動 車	自動車修理 松本 重政	自動車部品 吉多 義棟	自動車販売			
軽 車 輛	自転車小売 池ヶ谷 栄一					
船	造船 伊藤 史顕	船 具 市橋 清捷	船舶電機 畑 稔			
運 輸	陸上運輸	海上運輸	航空運輸	旅行斡旋		
医 薬 品	医薬品小売 森下 勇	医薬品卸	薬 局			
印 刷 出 版	印 刷 木内慎太郎					
事 務 用 品	事務用品卸 綿貫 利次	教育機械 最上 勇	印 判 安藤 昭二	事務用品小売	事務機器	
書 籍 雑 誌	書籍・雑誌 清水 武敏					
建 設	土木建築請負 田中 幸一	ボーリング 早川源之進	鉄工業 室本 義信	建築設計	測 量 士	
電気及び電子工業	電気工事	電気通信機器 佐川 昭	電気器具			
配管設備工業	配管・暖房 高谷 正行					
板 金 塗 装	板金加工 岩田 守	塗 装 米田 慶				
建 築 資 材	製 材	銅 材 今田 英三	ベニヤ合板	セメント		
家具室内装飾	室内装飾 島根 東司	家 具				
化 学 製 品	消 火 器 泰地 秀信	合成樹脂 石原 和弘	塗 料			
ゴ ム 製 品	タイヤ販売 儀俄 政夫	タイヤ修理				
機 械 工 具	一般機械工具 加藤 義雄	鉾山機械 松田 忠				
燃 料	石 油 平岩 政義	石 炭	ガ ス	ガ ス	薪 炭	
時 計 眼 鏡	時 計 小林 久雄	眼 鏡	宝石・貴金属			
酒 類	酒 類 瀬村 哲雄					
飲 料	清涼飲料 川口 征	茶 国 仙二				
食 品（工業）	菓 子 宮地 良彦	パ ン 推井 貞晴	つけもの 武藤周治郎			
食 品（水産）	水産物卸	鮮魚小売 中川 章	水産物加工			
食 品（農業）	青果市場 寺前 利彦	青果卸 瀬本 久雄	青果小売			
食 品（販売）	食 品 稲垣 友則	食品小売 佐藤 光嘉	牛 乳 松浦 利彦			
一 般 商 品	結納・贈答品 佐藤 和安	日用雑貨	靴・はきもの 佐藤 六郎	スポーツ用品	楽 器	
衣 料 品	衣料品卸 石井 亮一	紳士服 川畑 仁	婦人服小売 樋田 恵悦			
化 粧 品	化粧品卸 太田 敏雄	化粧品小売 横山 寿人				
大 規 模 店 舗	スーパーマーケット 本間 鉄夫	デパート				
農 業 及 花 園 芸	生花販売 名和 重保	農 業	園 芸			
漁 業	遠洋漁業	沖合漁業				
金 融	信用組合	小口金融 小林 善雄	銀 行	信用金庫	証 券 業	

ホ テ ル 旅 館	ホ テ ル 伊 東 良 孝					
料 理 給 食 業	仕 出 池 田 武 文	食 品 加 工 多 賀 輝 夫				
保 健 衛 生	美 装 業 佐 々 木 保 幸					
写 真	写 真 機 用 品	ス タ ジ オ				
ク リ ー ニ ン グ	ク リ ー ニ ン グ					
ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス	公 認 会 計 士	税 理 士	興 信 業			
法 律	弁 護 士	司 法 書 士				
不 動 産	土 地 家 屋 調 査 仲 介	ビ ル 管 理	マ ン シ ョ ン 、 ア パ ー ト 経 営			
保 険	火 災 保 険 宮 沢 昌 典	生 命 保 険				
理 容 浴 場	理 容	浴 場				
倉 庫	冷 蔵 庫	倉 庫				

旧 会 員 名 簿

(順 不 同)

No	氏 名	商 社 名	業 種	No	氏 名	商 社 名	業 種
1	手 林 俊 夫	山 本 商 事 ㈱	セ メ ン ト	31	荻 原 剛	ト ヨ タ 自 動 車 販 ㈱	自 動 車 販 売
2	佐 々 木 政 勝	宮 田 消 火 器 ㈱	消 火 器	32	国 方 睦 夫	〃 〃	〃 〃
3	経 堂 力 雄	第 一 石 炭 販 売 ㈱	石 炭	33	高 丸 修	〃 〃	〃 〃
4	佐 藤 元 之 助	東 北 海 道 商 事 ㈱	食 料 品	34	森 野 岩 生	〃 〃	〃 〃
5	梶 正 義	梶 印 刷 ㈱	刷	35	杉 村 泰 光	㈱ ヤ マ キ 高 橋	美 容 器 材
6	小 沢 敏 男	札 幌 建 材 ㈱	建 材	36	鈴 木 昇	鈴 木 電 気 商 会	電 気 工 事
7	河 合 正 二	釧 根 食 糧 ㈱	米 穀	37	高 橋 力	㈱ ほ く さ ん	プ ロ パ ン 製 造
8	大 宮 豊 頼	㈱ 丸 文	化 粧 品 雑 貨	38	藤 野 昭 雄	釧 路 ト ー プ 工 業 協 組	食 品 製 造
9	渡 辺 慶 三	渡 辺 木 工 ㈱	家 具 建 具	39	小 野 由 勝	㈱ 旭 印 乳 業 社	乳 業
10	梅 沢 敏 郎	㈱ 藤 井 商 店	事 務 器	40	高 瀬 繁 雄	㈱ な か む ら	飲 食
11	沖 公 夫	沖 食 品 ス ト ア ー	食 料 品	41	木 村 重 延	木 村 建 築 設 計	建 築 設 計
12	田 中 才 晟	㈱ 和 商	熔 接 機 械	42	金 安 敏 男	金 安 時 計 店	時 計 販 売
13	藪 一 義	三 立 機 電 ㈱	重 電 機	43	窪 田 昇	㈱ ス ポ ー ツ ハ ウ ス	ス ポ ー ツ 用 品
14	山 下 進	㈱ 山 下 カ メ ラ 店	写 真 材 料	44	丸 山 勇	釧 路 新 日 電 販 ㈱	家 庭 電 器
15	高 谷 昌 雄	高 谷 設 備 工 業 ㈱	冷 暖 房 給 水	45	柴 本 雄 三	㈱ マ ル カ ツ	セ ト モ ノ
16	高 橋 英 幸	日 本 ス チ レ ン ペ ー パ ー ㈱	発 泡 ポ リ エ テ レ ン	46	三 宅 誠	㈱ 三 宅 ガ ラ ス	硝 子 販 売
17	鳶 練 治	金 森 電 気 商 事 ㈱	重 電 機	47	石 川 保	〃 〃	〃
18	市 川 洋 一	市 川 酒 店	酒 販 売	48	谷 口 亘	ジ ュ ー キ ミ シ ン ㈱	ミ シ ン
19	二 井 田 豊	ほ く さ ん ㈱	プ ロ パ ン	49	鈴 木 稔	宮 田 消 火 器 販 売 ㈱	消 防 機 材
20	中 村 満 男	金 星 ハ イ ヤ ー ㈱	ハ イ ヤ ー 業	50	岩 田 勉	北 日 本 石 油 ㈱	石 油
21	片 山 要	㈱ 片 山 商 店	家 具	51	川 田 春 旭	㈱ 川 田 商 店	建 材 木 材
22	沢 野 浩	沢 野 司 法 事 務 所	司 法 書 士	52	青 山 克 彦	釧 路 商 工 信 用 組 合	信 用 組 合
23	浅 野 勇	㈱ 〇 両 角	衣 料 品	53	小 林 常 利	㈱ 大 丸 渋谷 商 店	鮮 魚 卸 加 工
24	萩 原 正 次	茅 田 中 菓 子 ㈱	菓 子	54	南 沢 道 男	㈱ 美 奈 味	折 詰 給 食
25	貝 哲 男	ヤ マ イ チ ス ポ ー ツ 社	ス ポ ー ツ 用 品	≪ 物 故 者 ≫ 浅 川 正 規 浅 川 興 業 ㈱ ポ ー リ ン グ 佐 々 木 雄 二 ㈱ 佐 々 木 商 店 荒 物 日 用 品 伊 藤 昭 三 和 電 気 電 気 工 事			
26	中 島 隆	森 永 商 事 ㈱	菓 子 乳 業				
27	大 坪 秀 雄	ホ シ 伊 藤 ㈱	ク ス リ				
28	本 間 紮	北 海 酸 素 ㈱	ガ ス				
29	石 合 喜 与 平	㈱ 不 二	洋 服				
30	渡 部 政 雄	㈱ 渡 部 金 物 店	カ ナ モ ノ				

あすなろクラブ会員名簿

No	氏 名	商 社 名	住 所	業 種	電 話	職 席	住 所	電 話
工業部	1 安藤昭二	安藤印舗	北大通2-7	印判事務用品	22-1254	常務	大川町3-27	41-1064
	2 池田武史	日本仕出し	南浜町5-7	食品加工給食	23-9207	代表取締役	南浜町5-7	23-7297
	3 伊藤史	鈴木造船所	浜町3-3	造船	23-6171	工場長	浜町3-3	22-4983
	4 岩田守	岩田板金工業	鳥取南6-1-11	板金製品製造	51-6321	代表取締役	鳥取南6-1-11	51-2519
	5 川口征	共盛	南大通1-3-4	飲料水製造食品卸	41-1171	常務	大川町2-19	41-8037
	6 加藤義雄	和商鋼路営業所	暁町2-4	保安器具交通信号機	23-6441	所長	暁町2-4 2F	24-9576
	7 川畑仁	川畑洋服店	大川町4-12	洋服縫製	41-3854	店主	大川町4-12	41-3854
	8 木内慎太郎	木内印刷	大町6-5-16	印刷	41-2966	専務	大町6-3-10	41-0896
	9 佐々木保幸	鋼路日本美装工業	暁町8-24	ビルメンテナンス総合管理	22-1520	代表取締役	暁町8-24	22-5906
	10 高谷正行	高谷設備工業	浪花町12-1	冷暖房給水排水	24-3337	工事部長	浪花町12-1	24-3337
	11 幸一	末広建設	末広町7-2	建設業	24-4575	専務取締役	武佐4-13-13	46-3027
	12 早川源之進	道東ボーリング開発	春採6-10-17	地質調査業	41-5656	代表取締役	春採6-10-17	41-5656
	13 米田慶	北日工業	新橋大通1-2-20	建設土木塗装砂利	22-3442	代表取締役	緑ヶ岡6-7-10	46-0914
	14 松田忠	鋼管野商店	興津5-2	ベルトケーブル機材	91-6006	常務	駒場町12-33	22-9650
	15 松本重政	松本モータース	入江町14-10	自動車整備	23-5858	店主	入江町14-10	23-5858
	16 室本義信	旭本鉄工所	旭町2-14	鉄工業	22-5415	店主	旭町2-14	22-5415
	17 吉多義棟	鋼路ラジエータ工業	住之江6-29	各種ラジエータ修理販売	24-3615	代表取締役	住之江町6-29	24-3615
	18 島根東	S P A S E 企画	益浦4-13-17	室内インテリア	91-4701	店主	益浦4-13-17	91-4701
	19							
	20							
卸部門	1 石井亮一	鋼丸三両	浪花町8-8	繊維靴履物	31-0303	取締役営業部長	鶴ヶ岱1-9-25	41-9850
	2 稲垣友一	鋼丸三橋	南大通3-1-9	食貨酒類	41-5248	専務	富士見3-11-3	41-3767
	3 田敏敏	ダイカ	新富士町3-4	雑貨化粧品	51-1131	取締役支店長	白金町8-4	22-3038
	4 儀政政	鋼路ヨコハマタイヤ	鳥取大通7-3	自動車タイヤ	51-0407	代表取締役	駒場町4-15	23-0660
	5 佐川昭	道東ナショナル通信特機	鳥取大通4-17-10	通信特機	51-0221	専務取締役	千歳町7-14	41-0622
	6 推井貞晴	鋼平和軒	北大通11-2	製パン	23-4341	専務取締役	北大通11-2	25-1608
	7 瀬村哲雄	鋼敷島商会	住吉町2-13-28	製食品	42-1001	常務取締役	新栄町6-8	22-1921
	8 多賀秀信	中央消防器	緑ヶ岡3-1-35	消防設備	42-1611	代表取締役	緑ヶ岡1-20-19	41-4424
	9 寺前利彦	鋼ダイレイ	双葉町13-18	食品加工販	24-3858	代表取締役	双葉町13-18	24-3859
	10 三国仙彦	鋼路中央青果	新富士町6-1-23	青果卸	51-5111	専務取締役	貝塚町2-7-7	41-2315
	11 武国治郎	鋼路宇治園	新富士町3-19	日本茶	23-5038	店主	新富士町3-19	23-5038
	12 藤周次	鋼武須商店	浦見3-3-12	漬物加工	41-6445	代表取締役	浦見3-3-12	41-6445
	13 綿貫次	鋼須	花園町3-3	紙文具雑貨	24-0104	常務取締役	住吉町2-6-5	41-4993
	14 若原和弘	鋼北日産業社	鋼路町新開7-11	ポリエチレン加工販売	36-1221	社長	白樺台1-18-6	91-6712
	15 淵本久雄	大丸滝林青果	新富士町1-1-23	青果卸	51-0251	専務取締役	若草町6-13	24-3776
	16 松浦昌彦	鋼サツラク牛乳鋼路販売店	豊川町21-12	牛乳販売	24-1999	代表取締役	豊川町21-12	24-1999
	17 宮浦弘光	宮沢保険事務所	住吉1-10-9	火災保険	42-0150	所長代理	住吉1-10-9	42-0150
	18 菅原弘	鋼路商工信組鳥取支店	新橋大通4-2-20	金融業	23-1238	支店長	春採2-17-22	42-2723
	19							
小売部	1 池ヶ谷栄一	池ヶ谷自転車商会	南大通4-2-11	自転車・オートバイ	41-3794	店主	南大通4-2-11	41-3794
	2 市橋清三	三洋電気船具	浜町1-4	船具	23-2241	常務取締役	住吉町2-7-21	42-4060
	3 今田英久	鋼安本	川上町4-2	鋼材機械金物	31-1101	社長	材木町2-11	41-0342
	4 小林善雄	小林時計店	末広町5-1	時計	22-5402	店主	川上町10-3	22-4941
	5 小佐藤善六郎	鋼丸共小林商事	黒金町9-1	金業	22-2293	代表取締役	黒金町9-1	22-2293
	6 清水武敏	鋼丸八佐藤商店	南大通3-1-7	靴履物	41-7341	代表社員	南大通3-1-7	41-7341
	7 清水章	鋼マルセイ清水堂	若松町8-3	書籍文具	22-2826	代表取締役	駒場町6-18	23-7733
	8 中川重保	鋼中川鮮魚店	富士見2-3-1	鮮魚塩干物	41-2311	社長	富士見2-3-1	42-4766
	9 名和重鉄	鋼名和生花店	北大通13-1	生花園芸用品	22-2451	代表取締役	鋼路町光和7-36	37-0202
	10 本間鉄彦	十条サービスセンター	鳥取大通2-2-8	一般小売	51-3111	取締役事業部長	鳥取南6-2-4	51-3296
	11 宮地良彦	鋼〇宮地	浦見3-3-16	洋生菓子製造	41-8131	専務	貝塚2-5-19	42-2774
	12 最上勇	あすなろ商会	愛国39-67	事務用品	36-5044	店主	愛国39-67	36-5044
	13 森下勇	モリシタ薬品	共栄大通8-1-5	医薬品	22-1890	店主	共栄大通8-1-5	22-1890
	14 横山寿	おしゃれの店つるや	南大通2-1-6	化粧品小間物	41-4626	店主	武佐4-37-12	46-5995
	15 橋田恵悦	長崎屋マルブンBIB	幸町14	婦人服小売	31-0867	店主	緑ヶ岡2-6-27	42-6849
	16 佐藤和安	末広屋	北大通11-1	結納と記念品	23-6036	営業部長	美原2-11-6	36-1821
	17 佐藤光嘉	①佐藤商店	春採2-10-16	酒食料品	41-5487	店主	春採2-10-16	41-5487
	18 平東良孝	鋼路パンフィックホテル	栄町2-6	ホテル	24-8811	取締役営業部長	美原5-30-1	36-7070
	19 伊岩政	北日本石油鋼路支店	北大通8-4道銀ビル	石油販売	22-2181	支店長代理	住之江町10-17	25-2133
	20 畑電機	畑電機	宝町3の21	船舶電具販売及び修理	23-3913	支店長	鶴野58-1 2 6 5	52-0841

資 料

PART Ⅱ

- 1 資 料 写 真
- 2 郷土の「主なるニュース」
- 3 釧路市の漁業推移
- 4 釧路市の工業推移
- 5 釧路市の商業推移
- 6 釧路市の石炭の推移と石油価格
- 7 統 計 資 料
- 8 会員企業（会員）の位置づけ
- 9 あなたの血液型は？

(A)創立記念文集

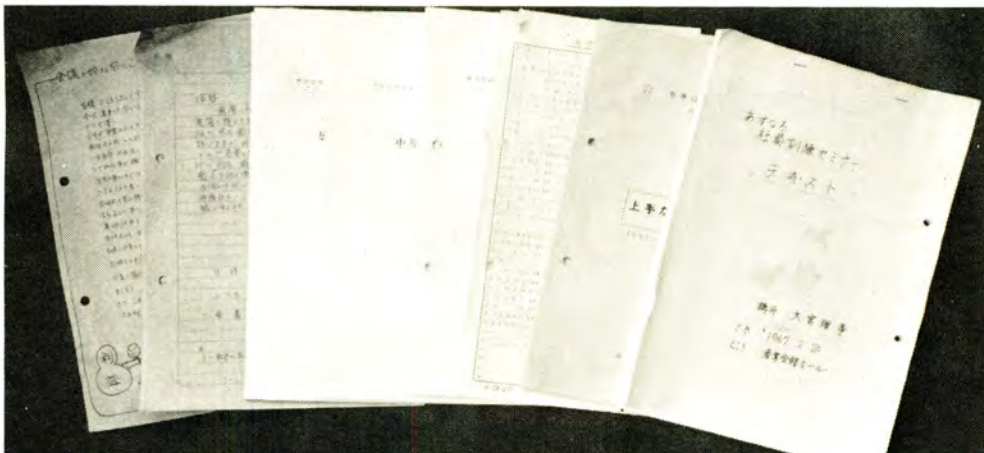
5周年誌の表紙 池ヶ谷会員撮影「樹氷」

10周年誌の表紙 今田会員のペン画「明治」



(B)機関紙「あすなろ」

第1号は38.6.20 発行された。以来48年24号まで不定期発行



(C)研修テキスト

社員訓練、賃金、上手な人の使い方等18種発行された

郷土の「主なるニュース」

昭和36年

- 釧路空港開港（11月）
- 白樺台団地造成始まる
- 第二土地区画整理事業（鉄北地区）完成
- 釧路民衆駅完成
- 山本武雄市長、社会党を離党—第二期山本市政スタート
- 釧路江南高初の甲子園出場

昭和37年

- 新産業都市指定を運動
- 暴風雪で全市停電
- むすび橋姿を消す
- 特急「おおぞら」登場

昭和38年

- 西港建設計画発表
- 衆院選で中川一郎当選（岡田利春・阿部英一落選）
- 女子短大開校
- 釧路商業高甲子園へ
- 青少年科学館完成
- 旭立体橋着工
- 鳥取開基80年

昭和39年

- 十条製紙釧路工場、60億円の増設計画
- くしろデパートがオープン
- 釧路振興公社で横領事件
- 明鉾路礦が閉山
- 市民憲章を公示
- 東京オリンピック

昭和40年

- 市長選—山口革新市政誕生
- 市役所新庁舎完成
- 工場誘致条例を廃止
- 新富士海岸炊事遠足事故

- 第一回くしろ氷まつり
- 郷土出身のバーブ佐竹歌う『女心の唄』大ヒット

昭和41年

- まりも学園全焼
- スモン病、社会問題に
- 吹原弘宣、市内高山に百万坪を買収—「吹原旋風」
- 臨鉄出身の堀井利勝氏総評議長に
- 甲子園のヒーロー、平山英雄（江南高出身）プロ入り
- 弟子屈町 遊覧飛行のセスナ機が炎上墜落
- 阿部英一氏政界を引退

昭和42年

- 日進小が焼失
- 旭小が焼失
- 自衛艦入港で賛否対立
- 衆院選で松田鉄蔵落選
- くしろ蝦夷太鼓生まれる

昭和43年

- 工場誘致条例訴訟
- 西港建設の漁業補償妥結
- オリエンタルデパートがオープン
- いなせランドが破産宣告
- 市議会議長牧野泰三、教育長人事問題で退陣

昭和44年

- 釧路市開基百年
- 釧路西港着工
- 釧路市職労分裂、市役所労組結成
- 市長選で山口哲夫氏が再選
- 釧路港、水揚げ日本一
- 国有農地宅地転用問題起る

昭和45年

- 雄別炭礦が閉山
- 太平洋興発、炭礦を分離
- 工場誘致条例訴訟が和解
- 北電、釧路火力の建設を断念
- 第一回湿原まつり
- 新釧路総合計画基本構想策定

昭和46年

- 北大通都市改造完成
- 国道44号線、釧路一帯全面舗装完了
- 栗村定四郎氏釧路商工会議所会頭に返り咲く
- 釧路第一高ホッケー部が全国制覇

昭和47年

- 栄和産業が閉山
- 釧路―東京間にフェリー就航
- 白糠線茶路―北進間開通
- 厚岸大橋完成
- 市政施行50年
- 札幌五輪に釧路から斉藤幸子・田口恵美子両選手

昭和48年

- 第一次オイル・ショック
- 釧路空港がジェット化
- 市長選―山口哲夫氏三選
- 根室半島沖地震
- オリエンタルホテル火災、死者2人
- 釧路市の離婚率日本一、クローズアップ
- 釧路湿原の将来方向、釧路総合開発促進期成会がまとめる
- 市立釧路図書館オープン

昭和49年

- 長崎屋、釧路店を表明
- 狂乱物価
- 渡部五郎道議逝去
- 春採の薬局店で一家三人惨殺
- 犯罪日本一の汚名（釧路市）
- 西港に第一船入港

昭和50年

- 釧路第一高労使紛争起きる
- 過激派爆破事件の首謀者、大道寺将司（釧路出身）
- 大塚製菓の音別町進出決まる
- 釧路市一般会計が赤字決算
- さよなら四代目幣舞橋
- 釧路動物園オープン
- 国勢調査―20万都市に

昭和51年

- 米、ソが二百カイリ宣言
- 栗林定四郎氏が死去
- 市職員の花札とばくが発覚
- 日本合同缶詰倒産、負債38億円
- 五代目幣舞橋完成
- 大塚製菓釧路工場操業開始
- 北大通8丁目火災
- 大ヒット「およげ！たいやきくん」の作詞者は釧路出身の高田ひろお

昭和52年

- 市中央卸売市場、丸果青果の廃業宣言で卸一社制に
- 市長選―12年間の社会党市政にピリオド、鰐淵俊之氏当選
- 中川一郎、農林大臣に
- 日ソ漁業交渉難航、サケ・マス出漁2カ月の遅れ

昭和53年

- 水揚げ日本一から転落、全国2位に
- 丸ト北村など大型倒産相次ぐ
- 太平洋炭礦、貯炭不況
- 市幹部職員が西港上屋建設で収賄
- 少年非行、社会問題に
- 北海道こども博覧会
- 和商市場、近代化する

昭和54年

- 第二次オイル・ショック
- 旧第一高の再生決まる
- 釧路工業高、初の甲子園出場
- 台風20号で大型海難
- 市民文化会館オープン

昭和 5 5 年

- 衆参同時選挙、北村義和氏が初当選
- 釧路町制施行
- 道東火発の立地候補地、釧路西港に決まる
- 国立医大の誘致個所、釧路市に

昭和 5 6 年

- 市長選一鰐淵俊之氏再選
- 自民党釧路市支部大会で乱闘騒ぎ
- 白糠線廃止決定
- 市職員不祥事相次ぐ
- 釧路市立郷土博物館着工
- 大規模運動公園・市民野球場着工
- 8 千万円盗難事件 (中標津)



釧路市の漁業推移

	全国 順位	漁 獲 量			金 額			魚 価 (円)
		釧 路 港	%	全 国	釧 路 港	%	全 国	
昭和37		185,265 ^t	2.70	6,865 ^{千t}	72,21 ^億	1.69	4,266,1 ^億	38.98
38		178,100	2.66	6,698	99,95	2.07	4,830,0	56.12
39		154,404	2.43	6,351	90,00	1.81	4,976,0	58.29
40		226,355	3.28	6,908	125,42	2.26	5,558,1	55.41
41		222,617	3.13	7,103	138,47	2.21	6,259,7	62.20
42		276,491	3.52	7,851	154,56	2.20	7,026,3	55.90
43		411,335	4.74	8,670	177,10	2.38	7,447,5	43.05
44	1	524,172	6.09	8,613	244,23	2.88	8,487,6	46.59
45	1	593,410	6.37	9,815	260,02	2.68	9,691,6	43.82
46	1	565,562	5.71	9,909	278,03	2.55	10,894,1	49.16
47	1	679,884	6.66	10,213	308,32	2.61	11,796,4	45.35
48	1	885,727	8.23	10,763	466,92	3.19	14,641,3	52.72
49	1	890,466	8.24	10,808	428,03	2.51	17,084,1	48.07
50	1	809,241	7.67	10,545	535,40	2.84	18,869,5	66.16
51	1	893,118	8.38	10,656	682,83	3.12	21,861,5	76.45
52	1	890,043	8.27	10,764	881,79	3.46	25,450,9	99.07
53	2	652,814	6.03	10,827	603,18	2.46	24,511,7	92.40
54	1	727,354	6.87	10,590	684,58	2.59	26,479,6	94.12
55	1	685,421	—	—	701,03	—	—	102.28

※ 漁獲量及金額の％は釧路港の全国に対する比率。

※ 魚価は釧路港の1kg当りの金額。

※ 44年に初めて全国1位になった裏には、北転船の水揚げが大きく寄与している。又53年に2位になったのは、サバの水揚げがほとんどなく、八戸港に負ける原因となった。

釧路市の工業推移

年次別	総 数			紙 ・ パ ル プ		
	事業所数	従業員数	出 荷 額	事業所数	従業員数	出 荷 額
	件	人	千円	件	人	千円
37	4 2 9	8,8 1 7	3 8,5 2 8,3 4 0	7	2,0 7 9	1 8,9 9 8,8 9 0
38	4 5 8	9,2 1 6	4 3,2 7 6,0 1 0	10	2,0 4 3	2 0,8 0 5,1 6 0
39	4 5 7	9,6 8 9	4 4,8 1 7,1 6 0	12	2,1 1 6	2 2,9 0 6,6 8 0
40	4 4 8	9,8 6 4	4 9,0 8 9,9 2 0	10	2,1 8 3	2 2,4 8 3,5 9 0
41	4 6 1	1 0,6 2 6	6 0,8 9 8,3 6 0,	13	2,2 0 1	2 9,5 3 9,3 1 0
42	4 6 0	1 1,1 8 0	7 2,0 5 1,2 0 0	13	2,1 7 7	3 1,6 6 5,6 1 0
43	4 6 4	1 2,2 2 2	8 0,9 1 3,2 9 0	12	2,0 9 0	3 5,2 3 4,5 8 0
44	5 1 7	1 2,9 7 7	1 0 0,8 6 6,3 8 0	11	2,0 1 5	3 8,1 5 9,8 5 0
45	4 9 9	1 2,7 0 4	1 1 7,2 2 4,9 3 0	12	1,9 2 1	4 3,1 5 1,4 2 0
46	5 0 1	1 3,5 0 4	1 2 1,8 9 6,6 7 0	12	1,8 9 7	4 1,6 3 6,0 6 0
47	5 3 6	1 3,3 5 4	1 3 2,3 7 6,5 5 0	13	1,8 3 4	4 1,6 5 2,7 1 0
48	5 0 6	1 3,2 8 9	1 7 1,4 5 2,0 3 0	14	1,7 8 9	4 9,0 6 9,6 6 0
49	5 0 2	1 2,9 4 4	2 0 9,8 8 0,6 9 0	13	1,8 9 2	6 5,9 9 1,8 6 0
50	4 9 4	1 2,0 9 6	2 2 2,7 0 9,0 6 0	14	1,8 6 8	6 4,0 0 2,4 6 0
51	4 9 3	1 1,7 4 1	2 4 7,0 4 2,1 3 0	13	1,7 6 9	7 0,0 5 3,3 7 0
52	5 0 8	1 0,9 9 1	2 9 7,6 6 1,1 1 0	13	1,7 1 2	8 7,1 4 5,2 1 0
53	5 4 8	1 0,8 1 8	2 9 4,6 4 9,8 5 0	12	1,7 2 4	9 7,8 3 3,4 0 0
54	5 1 6	1 0,5 6 2	3 0 5,1 1 1,4 9 0	12	1,6 6 9	1 0 5,2 0 9,2 3 0
55	4 8 2	9,8 3 5	3 3 8,0 0 5,0 5 0	13	1,6 4 8	1 3 5,8 7 2,0 2 0

釧路市の商業推移（A）

	商 店 数			従 業 者 数 (人)			年 間 売 上 額 (万円)		
	卸売業	小売業	計	卸売業	小売業	計	卸売業	小売業	計
S 37	305	1,543	1,848	4,193	6,742	10,935	3,531,058	1,713,775	5,244,833
39	422	1,554	1,976	5,460	7,121	12,581	5,457,425	1,943,165	7,400,590
41	531	1,695	2,226	6,622	8,576	15,198	8,250,375	2,788,435	11,038,810
43	469	1,905	2,374	5,372	10,893	16,265	9,730,290	4,788,267	14,518,557
45	523	2,018	2,541	6,352	12,231	18,583	12,638,485	6,155,425	18,793,910
47	594	2,097	2,691	7,313	11,156	18,469	17,772,091	6,549,029	24,321,120
49	610	2,087	2,697	7,445	12,080	19,525	28,642,738	10,605,804	39,248,542
51	706	2,135	2,841	7,646	11,686	19,332	43,184,798	15,377,063	58,561,861
54	911	2,409	3,320	8,606	12,955	21,561	53,270,921	19,107,297	72,378,218

釧路市の商業推移（B）

（平均値）

	従 業 者 数 (一社当り)			売 上 額 (一名当り)			売 上 額 (一社当り)		
	卸売業	小売業	計	卸売業	小売業	計	卸売業	小売業	計
S 37	(人) 13.7	(人) 4.4	(人) 5.9	(万円) 842	(万円) 254	(万円) 479	(万円) 11,577	(万円) 1,110	(万円) 2,838
39	12.9	4.6	6.4	999	272	588	12,932	4,762	3,745
41	12.5	5.1	6.8	1,245	325	726	15,537	1,645	4,959
43	11.5	5.7	6.9	1,811	439	892	20,746	2,513	6,115
45	12.1	6.1	7.3	1,989	503	1,011	24,165	3,050	7,396
47	12.3	5.3	6.9	2,430	587	1,316	29,919	3,123	9,037
49	12.2	5.8	7.2	3,847	877	2,010	46,955	5,081	14,552
51	10.8	5.5	6.8	5,648	1,315	3,029	61,168	7,202	20,613
54	9.4	5.4	6.5	6,190	1,474	3,360	58,475	7,932	21,801

釧路市の石炭の推移と石油価格

年 度	石 炭				石 油 価 格		
	全 国 出 炭 量	出 炭 量	全国 対 比	出 荷 額	ガソリン	灯 油	重 油
37	トン	トン		千円	円	円	円
		1,269,000				27.50	
38	51,099,000	1,498,000	2.1%	7,885,472		27	
39	50,774,000	1,503,000	3.0	7,947,864		25	
40	50,113,000	1,832,954	3.7	10,081,247		25	
41	50,554,000	1,944,500	3.8	10,667,527	53	25	
42	47,057,000	2,040,200	4.3	11,210,899	52	24	
43	46,282,000	2,031,600	4.4	11,281,474	50	21	
44	43,580,000	2,308,200	5.3	13,350,628	50	20	
45	38,329,000	2,603,119	6.8	16,212,225	50	21	
46	31,728,000	2,666,242	8.4	17,722,510	50	21	
47	26,979,000	2,529,537	9.4	17,514,514	51	21	
48	20,933,000	2,332,751	11.1	17,635,597	61	25	
49	20,292,000	2,379,984	11.7	26,989,018	89	36	
50	18,597,000	1,917,031	10.3	28,621,272	105	38	
51	18,325,000	2,525,762	13.8	43,468,364	112	38	
52	18,571,000	2,639,463	14.2	50,308,164	112	36	40
53	18,549,000	2,410,021	13.0	47,115,910	98	36	55
54	17,760,000	2,320,643	13.1	45,855,905	130	46	70
55	18,095,000	2,422,933	13.4	51,584,243	150	75	78
56					165	86	86

※ ℓ当りの価格

統計資料

(S 5 5 年)

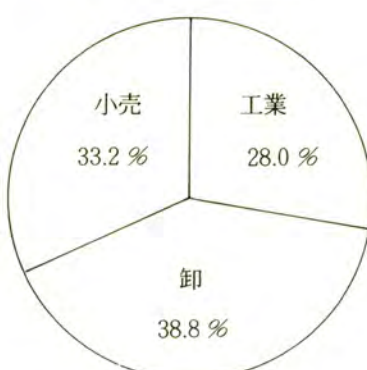
部 会 別	工 業 部 会	卸 部 会	小 売 部 会	合 計
会 員 数	18	19	19	56
従 業 員 数	446	620	531	1,597
生 産 額	510,050 万円	5,919,300 万円	1,378,147 万円	7,807,497 万円

部 会 対 比

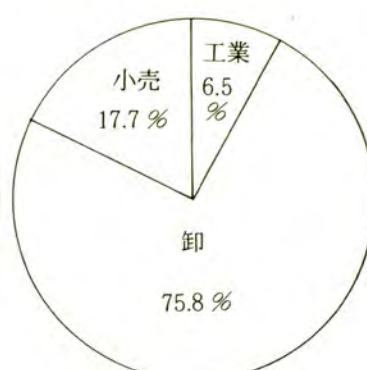
会 員 数



従 業 員 数



生 産 額



平均年令と会員指数

	37	42	47	52	57
会 員 数	20	35	42	51	56
平 均 年 令	37.4	42.3	44.0	45.0	47.6
会 員 指 数	1.87	1.20	1.05	0.88	0.85

会員企業（会員）の位置づけ

一企業別の売上高

区分 部会別	～2,000万未満	2,000万以上 ～5,000万未満	5,000万以上 ～1億未満	1億以上 ～5億未満	5億以上 ～10億未満	10億以上 ～	平 均
工 業	1	3	1	10	2	1	28,336万
卸	0	1	2	4	3	9	311,542万
小 売	0	8	3	5	1	2	72,534万

一企業当りの従業員数

区分 部会別	～5人以下	6人以上 ～10人以下	11人以上 ～20人以下	21人以上 ～50人以下	51人以上 ～100人以下	101人以上	平 均
工 業	3	3	4	6	1	1	24.8人
卸	3	1	5	6	3	1	32.6人
小 売	9	4	2	0	3	1	27.9人

従業員一人当りの売上高

区分 部会別	～1,000万未満	1,000万以上 ～3,000万未満	3,000万以上 ～5,000万未満	5,000万以上 ～8,000万未満	8,000万以上 ～	平 均
工 業	14	2	2	0	0	1,144万
卸	0	5	6	3	5	9,547万
小 売	4	13	1	0	1	2,595万

年齢構成（S 57. 2. 20 現在）

区分 部会別	～30才未満	30才以上 ～40才未満	41才以上 ～50才未満	51才以上 ～60才未満	61才以上	平 均
工 業	0	2	7	9	0	49.27才
卸	0	4	7	7	1	48.21才
小 売	1	7	3	6	2	45.57才
総 平 均						47.66才

あなたの血液型は？

防空頭布と白い布

何のことかおわかりでしょうか。中年以上の方ならばピンとくると思いますが、戦時中は大人も子供も胸に白い布を縫いつけたものでした。その布には自分の名前と、血液型を墨で書きました。爆撃で負傷した際の輸血のためでした。血液型というと、なにか、こう懐かしい気持ちになるのはこのためでしょうか。

ところで、この血液型ですが、人間の持つ生まれた気質にかなり影響を与えていることが最近わかってきました。企業の経営にあたって、人の性格・気質を重視しなければなりませんので、時間をすこしかけて血液型と人の気質との関係にふれてみましょう。

4・3・2・1

いきなりこんな数字を出したのは訳があったことです。この数字は日本人の中に占める血液型の割合を示しています。

つまり大ざっぱにいうと私たち日本人は

- ・ A 型が40%
- ・ O 型が30%
- ・ B 型が20%
- ・ AB型が10%

を占めています。

A型とO型とで70%を占めているのですから、あとのB型とAB型は少数派です。

これがインドなどではB型が多く、A型は少数派になり、ヨーロッパではO型が多いようです。民族によってその分布は差がありますが、日本の中でも東北地方にB型が多く、関西にA型がとくに多い、という事実もあります。

A型の一般的気質

それでは日本人の中での最多数派たるA型の類型について見てみましょう。

- ・ 人間関係の安定を望む
- ・ ルールや秩序を重視する
- ・ 筋を通し、ケジメをハッキリつける
- ・ 行動や考え方が型にはまる
- ・ 完全主義の傾向がある

などの点がA型の生来の気質といわれます。

この気質が長所とみられる場合は

- ・ 協調性が高い、やさしく、平和的
- ・ 礼儀正しく、公共心が強く、節度がある
- ・ 正義派でハッキリしている
- ・ 堅実かつ常識性に富む
- ・ 仕事が丹念で責任感がある

という面にあらわれますが、逆に短所とみられる場合は

- ・ 積極性がなく、八方美人
- ・ しゃくし定規で権威に弱く、体制的
- ・ 押しつけが強く、早合点の傾向がある
- ・ 融通性がなく、保守的である
- ・ 細部にこだわり、独りよがりのガンコ

という悪い点が出てきます。



○型の一般的気質

○型の気質はつぎのような点といわれます。

- ・目的志向性が強い
- ・行動や思考が直線的
- ・ロマンチックで理想を持つ傾向がある
- ・仲間を強く求め、教え好き
- ・言葉の使いまわしを好み、それが巧妙

これらの点が、例によって長所とみられる場合

- ・実行力があり、有能で仕事第一主義
- ・開放的で、信念が強く生活力がある
- ・夢や理想に富み、感激性ある情熱家
- ・人の面倒見がよく、教育熱心
- ・理論派で、説得力がある

などの面にあらわれますが、短所とみられるときは

- ・強引で目的のためには手段をえらばない
- ・計算高く、押しつけが強い
- ・言行不一致の傾向があり、子供っぽい
- ・派閥性があり、集団をカサにきる
- ・口だけ達者で裏表があり、中身がない

などといった点で損をすることになります。

B型の一般的気質

B型は海洋民族型ともいわれますが

- ・束縛を嫌い、マイペースで行動する
- ・行動や考え方が型にはまらない
- ・秩序やルールにとらわれない
- ・感情の振幅が激しく、気分調整を気にする

- ・未来や先のことは楽観的に考える

といった気質があるとされます。この気質が長所とみられる場合は

- ・独立心があり、自主性に富む
- ・ザックバランで、考え方が柔軟
- ・権威に屈せず、臨機応変で創造性に富む
- ・感受性が高く、涙もろく人情家
- ・常に前向きで、大胆な点がある

といった面にあらわれます。反面、短所とみられる場合は



- ・チームワークを無視し、独走する
 - ・無作法で非常識
 - ・秩序を乱し、上を上とも思わない
 - ・お天気屋で、神経質で、ナニワブシ的
 - ・そそっかしく、考え方が甘く無防備など
- という欠点が出てきます。

A B型の一般的気質

A B型は日本人の中では10%の少数派です。

その一般的な気質としては

- ・考え方が合理性に富む
- ・分析や批判を好む
- ・社会性があり、人と調和しようとする
- ・集中性はあるが持続性に乏しい
- ・他人に対してある程度の距離感をもつ

などの点があるとされます。これらの点が長所とみられる場合

- ・理知的で分析が正確かつ堅実である
- ・観察が鋭く、ユーモア・警句に富む
- ・頼まれたらイヤといえず、親切で世話好き
- ・ポイントをつかむのが早く能率的
- ・サッパリして他人の私事に干渉しない

などが好印象をもたれますが、反面短所とみられる場合は

- ・ドライで情が薄く、物事を割り切りすぎる
- ・評論家的でイヤミの名人
- ・人に引きずられ、功名心が多い
- ・あきっぱく移り気
- ・身内や内輪の意識が乏しく無責任

などという点で損をすることがあります。

協 賛 商 社 名

(順 不 同)

商 社 名	代 表 者 名
サッポロビール㈱札幌支店釧路営業所	所 長 小久保 和 夫
巖 島 神 社	宮 司 菊 地 貞 男
株式会社 シキシマ屋	代 表 取 締 役 瀬 村 哲 雄
小西六ユービックス㈱釧路出張所	所 長 鈴 木 敏 明
ライオン株式会社札幌支店	支 店 長 青 木 保
ニッカウイスキー㈱釧路出張所	所 長 永 井 駿 児
かねさ味噌販売株式会社	代表取締役社長 阿 保 定 吉
資生堂商事株式会社札幌支店	支 店 長 後 藤 増 雄
株式会社 ウテナ	代表取締役社長 久 保 徳 全
呉羽化学工業株式会社札幌営業所	常 務 取 締 役 植 村 大治郎
株式会社 ムーラン	札幌営業所々長 齊 藤 不二江
ホクシー株式会社札幌営業所	代表取締役社長 齊 藤 不二江
サンポールクロロックス株式会社	札幌営業部長 戸 羽 靖
トヨタオート釧路株式会社	北海道ブロック長 長 屋 譲
道東音響株式会社	代表取締役社長 竹 川 元 一
釧路弱電設備株式会社	代 表 取 締 役 佐々木 専 一
株式会社北海道コクヨ釧路営業所	代 表 取 締 役 匂 坂 泰 夫
日藤株式会社釧路営業所	所 長 林 春 樹
ゼブラ株式会社札幌営業所	所 長 宗 山 宗 一
三菱鉛筆札幌販売株式会社	所 長 黒 瀬 健 雄
株式会社サクラクレパス札幌営業所	社 長 小笠原 忠 夫
キッコーマン株式会社札幌支店	所 長 齊 藤 登
五東通信機株式会社	支 店 長 梅 田 昌 男
合同酒精株式会社釧路営業所	代 表 取 締 役 前 川 武 雄
食事処 柴	所 長 辻 廣 嘉 元
釧路防災設備有限会社	代 表 取 締 役 十 栗 川 榮 子
株式会社 東映ホテル	支 配 人 泰 本 地 秀 信
ニュー たむら	大 場 英 彦
労働保険事務組合釧路商工会議所	田 村 庫太郎
十條製紙株式会社 釧路工場	組 合 長 渡 辺 源 司
はくさん商事株式会社	取 締 役 工 場 長 山 本 正
株式会社はくさん事業所	取 締 役 社 長 田 村 敬 一
ヤマサ味噌株式会社	取 締 役 社 長 水 島 健 三
株式会社東京タツノ釧路出張所	取 締 役 社 長 益 子 房之助
	所 長 田 中 敏 夫

トキコ油器株式会社釧路出張所
株式会社 おもちやの 京屋
釧路水産ホテル

所 長 藤 原 義 弘
代 表 取 締 役 西 出 武
代表取締役社長 反 保 信 一

工業部会広告

安藤印舗株式会社
日本仕出し株式会社
鈴木造船所
株式会社岩田板金工業
共盛株式会社
和商株式会社
川畑洋服店
木内印刷
釧路日本美装工業株式会社
高谷設備工業株式会社
日伸建設株式会社
道東ボーリング開発株式会社
北日工業株式会社
松本モータース
室本鉄工場
有限会社釧路ラジエーター工業
スペース企画
釧路ホンダモーター株式会社

代 表 取 締 役 安 藤 善 治
代 表 取 締 役 池 田 武 文
鈴 木 喜 作
代 表 取 締 役 岩 田 守
代 表 取 締 役 川 口 雄
取 締 役 社 長 番 場 兵三郎
川 畑 仁
社 長 木 内 正 明
代 表 取 締 役 佐々木 保 幸
代 表 取 締 役 高 谷 昌 男
代 表 取 締 役 阿 部 弘
代 表 取 締 役 早 川 源之進
代 表 取 締 役 米 田 慶
松 本 重 政
室 本 義 信
代 表 取 締 役 吉 多 義 榛
島 根 東 司
代 表 取 締 役 菅 野 勇

卸部会広告

株式会社丸三両角

取 締 役 社 長 両 角 寛 治

ダイカ株式会社釧路支店
 釧路ヨコハマタイヤ株式会社
 道東ナショナル通信特機株式会社
 株式会社 平和軒
 株式会社 敷島商会
 中央消火器株式会社
 株式会社 ダイレイ
 釧路中央青果株式会社
 釧路宇治園
 有限会社 武藤商店
 株式会社 須 貝
 有限会社 北日産業社
 大丸滝林青果株式会社
 有限会社サツラク牛乳釧路販売店
 宮澤保険事務所
 株式会社 安本
 釧路商工信用組合鳥取支店

取締役支店長	太 田 敏 雄
代表取締役	儀 俄 政 夫
取締役社長	山 本 幸 造
代表取締役	推 井 貞二郎
取締役社長	小笠原 進
代表取締役	泰 地 秀 信
代表取締役	多 賀 輝 夫
取締役社長	横 地 重 幸
	三 国 仙 二
代表取締役	武 藤 周治郎
取締役社長	須 貝 寛 一
取締役社長	若 原 和 弘
代表取締役	滝 林 彦 治
代表取締役	松 浦 利 彦
事務所所長	宮 沢 透
社 長	今 田 英 三
支 店 長	菅 原 弘 光

小 売 部 会 広 告

池ヶ谷自転車商会
 三洋電気船具株式会社
 株式会社 ㊤ 宮地
 小林時計店
 有限会社丸共小林商事
 合資会社丸八佐藤商店
 有限会社マルセイ清水堂
 有限会社 中川鮮魚
 株式会社 名和生花店
 十條サービスセンター株式会社
 あすなろ商会
 モリシタ薬品
 おしやれの店 つるや
 株式会社 マルブン

	池ヶ谷 栄 一
代表取締役	市 橋 長 平
代表取締役社長	宮 地 良 雄
	小 林 久 雄
代表取締役	小 林 善 雄
代表社員	佐 藤 六 郎
代表取締役	清 水 武 敏
社 長	中 川 章
代表取締役	名 和 重 保
代表取締役専務	山 崎 慶 一
	最 上 勇
	森 下 勇
	横 山 寿 人
代表取締役	樋 田 市 蔵

末 広 屋

④ 佐藤商店

釧路パシフィックホテル株式会社

北日本石油株式会社釧路支店

畑電機株式会社

代表取締役社長

支 店 長

社 長

池 田 鎮 男

佐 藤 光 嘉

中 村 隆

沢 崎 博 和

畑 稔

座談会

「編集雑感」



出席者

伊 藤	記念誌委員長
池ヶ谷	記念誌副委員長
吉 多	記念誌委員
若 原	〃
寺 前	〃
佐々木	〃
市 橋	〃
木 内	〃
最 上	副実行委員長
川 口	実行委員会事務局次長

伊藤 発刊作業がおおづめになり、一応のメドがついたところですがそこで、皆様の感想をおききしたいと思います。初めに事務局に伺いますが、今日で会議は何回目ですか。

川口 編集委員会だけで17回、延べ時間にして74時間になります。

伊藤 皆様の無料奉仕でこれ迄進んで来たのですから、換算すると大変なエネルギーになります。本当にご苦労様です。

佐々木 委員の熱意には只々ご立派の一言につきと思っております。

寺前 こうして活字になって見ると、原稿とは違った新鮮な印象を受けますね。

伊藤 今だから告白しますが、はじめはどうかと不安と心配ばかりでした。

池ヶ谷 委員長は記念誌と記念品を、ききちがえて心よく引き受けたそうですが、私はそれ以上に不安をおぼえました。

半年足らずの短期間でまともな本が、どうして作れるのだろうかの心配が先でした。

若原 正直に云つてスタートから、無理だと予感が頭に残り厳しい事だと思つてました。

伊藤 では記念誌の内容について私から申し上げますが、写真を出来る限り多く掲載したいと考えていたのですが、それが思う様に集らず今回の記念誌は、写真不足の印象を先づ受けるのではないかとと思っています。

池ヶ谷 話しを戻して悪いんですが、私はもう半年位前にスタートを起すべきであつたと悔んでいます。そんな条件のなかで最上さんを引っ張り込んだ事は、せめてもの収獲でした。

伊藤 池ヶ谷さんは最上さんの実力を知つていたし、古くからの親交のお陰ですよ。

池ヶ谷 委員長の様な西郷隆盛が、長についてくれて安心でしたが、古いのは私だけなものですから最上さんの応援をねがつた訳です。それから今回の記念行事の総べての運営の軸であつた事務局は、大変なご苦労の連続で本当に感謝しています。

伊藤 各委員会全部に付き合つたのですから本当にご苦労様です。

川口 記念誌を印刷するところが、会員だった事で気儘を通してもらいましたし、有形無形の理解があり、どうにかスムーズに進んで来たと思っています。

池ヶ谷 原稿に対する認識が、改めて大切だと云うことでは、皆様も大きなプラスになったのではないですか。

伊藤 後記にも書いたのですが、初稿に対する厳密さが全員に欠けていたことは、時間的な事情があつたにせよ、どうもまずかつたと反省しています。

木内 責任上委員長はそう申しますが、皆さんは専門外の方ばかりですよ、よくここ迄まとまつて来たことはチームワークです。その熱意には敬服しています。

市橋 やれと云われた事には何とかついて来たのですから、やはりあすなろならではのチームの良さです。本当にいい勉強をさせてもらいました。

佐々木 私は多少の経験はありましたが、テンボが進むにつれて責任をものすごく感じて来ました。

池ヶ谷 それにして元会長の、手林、今田、儀俄さん達が、資料を大切に残しておいてくれたことが、出版に大きなハズミになったと思つています。これはかくれた大きな功績ではないですか。

市橋 私もよそから借りた資料で、随分と救いになりました。今後は事務局が中心となって資料の保管に当るべきですね。

寺前 先程委員長も申しましたが、外部活動や管外研修の写真は割合揃うのですが、肝心の例会勉強会の写真が殆どないので「20年の流れ」の記事は何となく固く受けとられるのではないのでしょうか。

池ヶ谷 記念誌にのせる性質ではないのですが蓄産振興の8%フィルムがあつたのですが行方不明です。

吉多 蓄産振興とあすなろとは、研修にどんな関係があるのですか。(一同爆笑)

伊藤 今後事務局は毎例会の写真を、必ずとっておく様申し入れておきます、市橋さんには関係上漁業の資料をまとめる様おねがいしたいのですが、随分とご苦労をした様にきいて

います。

市橋 私も簡単に手に入らと思ったのですが、漁業と云つても多様で意図した全国対比や、分類しようとすれば栽培漁業があつたりして水揚げ高の分析も仲々と大変でした。

伊藤 今日石油の資料がまとまつたのですが、驚くことに灯油の年次価格が、市役所の企画にあったことです。ご専門の平岩さんに依頼して東京迄調べてもらったのですが、各社マチマチでこれだと云う決め手がなくA重油などは52年からの記録しかないそうです。オイルの流通の複雑さを思い知らされた訳です。そう云う意味では記念誌の「資料編」は自慢^{あた}に位するものではないですか。

市橋 曲りなりにも20年間の産業数字を出せたことでは「資料編」は地味乍らヒット版と思つていますが。

木内 資料編については、当初から計画のもとに進んでおれば、まだまだ充実した内容のものが出来たと思うのですが、後半になってピッチを進めただけに、残念ですよ。

伊藤 おっしゃる通りですが、当初は原稿が予定通りにまとまるかが大きなポイントで、資料編については構想にはありましたが、そこ迄は手がまわらないだろうと云うのが本心でした。

池ヶ谷 準備期間それと編集方針の会議を開く余ゆうもなく、いきなり本番突入でスタートしたので仕方ないですよ。

伊藤 当初申し上げましたが、発足のおくれには皆様も不満をおもちと思います。それに委嘱された方が全部初回からこれれば、構想通り割りつけも出来ましたし遊軍動員もかけられた訳です。

最上 儀俄委員長の構想では、次の記念誌に引き継がれる土台づくりのためにも編集委員には中堅会員と若い方々を中心に当てもらおう方針の様でした。然しご覧の通りで半数のメンバーになってしまい私も責任を感じています。

伊藤 正副の方針とか幹部の方々の意見をきいた上で、編集作業に入るべきだったと悔いた事もありました。

最上 そうは云いまして、第1回の顔合せで編集方針から割り付け頁数まで、完全な骨格を出した伊藤さんの力量は立派ですよ。皆さんも2校を手にしてお分りの通り、あすなろの性格を盛り込んだ真面目な本になると私は思っておりますよ。

市橋 最上さんご指摘の通り、20年間毎月勉強した内容を曲りなりに忠実に書きました。私達は手抜きをしておりますので理解していただきましょう。

若原 真面目に取り組んだつもりです。手前みそですが「資料編」も正確だと信じております。いろんな団体が同じ様な年史ものを出していますが、比較されてもひけのとらない本だと思っていますが。

木内 そうですね、市史編さん室でも40年迄の資料は或程度まとめているますが、それ以降の市の主なるユースは記録してない様です。40年以降をまとめたのはあすなろだけでその点からも、この本の資料は他の団体も大いに利用する可能性はあると信じています。

池ヶ谷 編集委員の自己満足と云われるかも知れませんが、次に引き継がれるための財産としてのねうちは充分あると思っています。

市橋 その通りです。今後毎年資料を加えておくと次の記念誌は或程度見通しは立つ訳ですから。

吉多 土台は出来ておるのだから、あと15年か20年分を併せると頁も厚くなるし、表紙もバリットした立派な年史ものが出来上りますよ。

佐々木 伊藤さんはその点を充分に考えた上で、本づくりを進めていたと私は見ていました。

伊藤 当初「20年の流れ」を書いた委員の後記を、年次毎に書いてもらうつもりでいたのですが、編集後記にまとめて入れましたので了解して下さい。

寺前 プロフィールはどなたのペンですか。

伊藤 工業は安藤、岩田さん、卸は稲垣さん、小売は清水さんです。それにご本人のことは書けませんので、新入会員の方と併せて最上さんに書いてもらいました。

寺前 それにしてもプロフィールは、限られたマスの中に横顔を浮き出させるのですから、文才がなければ出来ないことですね。

市橋 校正をしながら感じたのですが、書いた方はよく会員を知りするどい観察をしているのには全く驚きました。入会日記を読んでおる様でこわくなりましたね。

池ヶ谷 やはり先輩はポイントをつかんで温い目でよく見えていますよ。

伊藤 若原さんは「新入会員と語る」座談会でいろんな意味から導火線の役目に立たされた様ですね。

若原 終わった後で感じたのですが、もう少し突っ込んだ話しがほしかったと思っています。話題として幾つかの要点が出てきたのですがそれをポイントに集中させれば、まだまだ盛り上った内容の座談会になったかと思っています。多少不発ぎみでしたね。

吉多 私もそのメンバーだったのですが、初期からの流れや貴重な活動状況など問題点が浮きぼりになり大変勉強になりました。認識も深まり有益だったと云うのが私の結論です。

佐々木 一ばん古い会員と新しい会員の話し合いですから、私達が思う様な接点を求めることは、仲々とむずかしい事だと感じてましたね。

伊藤 横地顧問とのインタビュー記事と、座談会記事をドッキングしながら読むと、あすなろの今後の映像が浮び出る様に思われます。その意味からもあの座談会は成功でした。

川口 「20年の流れ」をまとめた委員の方は、年譜との対照や委員長がまとめた行事一覧表とのつながりもあり、かなりご苦勞をしていた様ですね。

伊藤 後記にも書きましたが、まとめかたには

批判もあることと覚悟しています。只救いとしては次回記念誌を出すときに、今回たずさわった方が残っている訳で、いろんな批判や反省を記録にとどめておくことで、今回以上の内容の充実したものが出来ると信じています。

寺前 どの様に見ても花の30代が残るのですから、市橋さんを軸に木内さんそれと事務局の椎井さんらが中心ですね。

伊藤 専門屋の立場から、木内さんは此の記年誌づくりをどの様に見ていましたか、随分とつらい立場にあったと思っておりますが。

木内 はがゆかったことは事実です。ですが皆様が一生懸命になっていましたし、真剣になっていましたから、一手を抜いた形があれば嫌だったのですが、一スタートの遅れをカバーするため、私の方も内容説明を抜きにしていきなり工程に入った様なことで勝手をしました。後半のチームの盛り上がりとスピードには感心させられました。私も此の記念誌を通じていろんな意味でいい経験をさせていただきました。

伊藤 皆さんから、書くパターンを決めろとせまられたのですが、私自身どう書くことがパターンなのか全く知らずにいた訳です。記念品から誌にうつった段階で、小林、川口さんから本の見本提供があり、大旨この線で行こうと腹を決めた様な次第でした。自信のもてない活動は本当にみじめです。

市橋 むしろパターンのないパターンで出発したことが、かえて良い方向に進みチームワークもがっちり固まり、息の合った委員会になったのではないですか。

川口 私は第1回から事務局として、欠かさずに顔を出したのですが、伊藤委員長と池ヶ谷副委員長のコンビもよく、二人について行けば何とかなんと云う強い信頼感が、自然とまとまりが出来てここまで走って来たと思っております。

最上 後半にはあすなろ的ないい発想で、立派

な資料もまとまって充実した記念誌になりうれしく思っています。只残念なことは忙しい事務局の手を借りて、会員に数字の協力をおねがいしたのですが、完全な形にまとまらなかった訳で、この点皆様には申し訳なく思っております。

伊藤 頁の割りつけもありこの辺で座談会を終ります。原稿や資料につきましては私が責任をもって、ファイルにして事務局に引きつぎます。おつかれのところ本当にご苦労様でした。



20周年記念特別会計決算書

S57-3-25

釧路あすなろクラブ
20周年記念実行委員会

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
20周年定期積立金	450,000	450,000	記念誌委員会費	1,150,000	1,294,210
20周年特別会費	1,100,000	1,120,000	事業委員会費	300,000	340,000
準会員式典会費	125,000	100,000	式典委員会費	490,000	509,979
寄 附 広 告 料	800,000	1,280,000	総務委員会費	660,000	836,300
献 金	200,000	201,800	事務局費	250,000	330,540
雑 収 入	30,000	175,968	予 備 費	55,000	
一般会計より繰入金	200,000	200,000	余 余 金		216,739
合 計	2,905,000	3,527,768	合 計	2,905,000	3,527,768

20周年記念実行委員

実行委員長	儀 俄 政 夫	式典委員	多 賀 輝 夫
実行副委員長	最 上 勇	〃	宮 地 良 彦
監 査	佐 藤 六 郎	〃	中 川 章
〃	松 本 重 政	〃	泰 地 秀 信
事務局長	小 林 久 雄	〃	池 田 武 文
事務局次長	川 口 征	〃	名 和 重 保
事務局員	推 井 貞 晴	記念誌委員長	伊 藤 史 顕
総務委員長	綿 貫 利 次	記念誌副委員長	池 谷 栄 一
総務副委員長	本 間 鉄 夫	記念誌委員	岩 田 守
総務委員	安 藤 昭 二	〃	佐 川 昭
〃	石 井 亮 一	〃	稲 垣 友 則
〃	佐 藤 和 安	〃	清 水 武 敏
〃	佐 藤 光 嘉	〃	佐々木 保 幸
事業委員長	松 田 忠	〃	市 橋 清 捷
事業副委員長	田 中 幸 一	〃	寺 前 利 彦
事業委員	横 山 寿 人	〃	木 内 慎 太 郎
〃	室 本 義 信	〃	若 原 和 弘
〃	高 谷 正 行	〃	吉 多 義 榛
〃	川 畑 仁	〃	樋 田 恵 悦
〃	渕 本 久 雄	〃	島 根 東 司
式典委員長	森 下 勇	〃	米 田 慶
式典副委員長	伊 藤 良 孝	〃	早 川 源 之 進

事務局日誌

20周年記念各委員会会議開催日

No.	年	月	日	委員会名	ところ	出席者数	備考
1	56	2	9	実行正副委員長事務局会議	ニュー田村	6	
2	"	2	21	各委員会委員長会議	" "	17	
3	"	3	12	" " "	パシフィックホテル	9	
4	"	3	18	" " "	" "	12	
5	"	4	10	記念誌委員会	" "	9	
6	"	6	15	" " "	" "	12	
7	"	6	29	総務委員会	" "	8	
8	"	7	1	記念誌委員会	" "	10	
9	"	7	14	事業委員会	" "	8	
10	"	7	27	各委員会委員長会議	" "	13	
11	"	8	4	記念誌委員会	" "	10	
12	"	8	23	" " "	" "	10	
13	"	8	26	" " "	" "	9	
14	"	9	2	式典委員会	エイトビル	11	
15	"	9	9	記念誌委員会	パシフィックホテル	15	
16	"	9	16	" " "	" "	6	
17	"	9	27	" " "	" "	7	
18	"	10	7	各委員会委員長会議	" "	12	
19	"	10	12	記念誌委員会	" "	7	
20	"	10	23	" " "	" "	9	
21	"	11	5	実行委員、総務事務局会議	" "	7	
22	"	11	27	各委員会委員長会議	ニュー田村	12	
23	"	12	6	記念誌委員会	パシフィックホテル	7	
24	"	12	9	" " "	" "	8	
25	"	12	13	" " "	" "	8	
26	57	1	10	" " "	" "	7	
27	"	1	14	各委員会委員長会議	" "	11	
28	"	1	17	記念誌委員会	" "	9	
29	"	1	31	" " "	" "	8	
30	"	2	8	各委員会委員長会議	" "	13	
31	"	2	17	式典委員会	" "	14	

— 編 — 集 — 後 — 記 —

伊 藤 史 顕

儀儀実行委員長から、電話でキネンヒンを頼むと聞いた私は、丁度出札の機会もありましたので札幌の知人に、当地でどのような記念品が一番多く利用されているか調べて欲しいと頼んで帰釧したらキネンヒンでなくキネンシの担当だと云うことが判りました。

記念誌であれば御辞退したのに私の耳の悪さによって承諾の返事もしてしまったし、困り果てておりました。昭和56年4月10日に初会合以来、年内は15回の会議等を開催しました。日曜の休み返上で朝から晩までのときもありました。私は委員会の会議が進むたびに最上副実行委員長の卓越した文才、池ヶ谷副委員長の緻密なチェックと佐々木委員が47年～49年、寺前委員が50年～51年、市橋委員が52年、木内委員が53年、樋田委員が54年、吉多委員が55年、若原委員が56年の記事をそれぞれ担当して戴き本当に助かりました。祝辞、想い出文等の依頼から回収に事務局の労をお願いしました。顧みますと私の入院中も休むことなく会議開催し、ゲラ刷の校正には原稿段階のチェック方針の悪さから大変ご苦勞をかけましたこと等で、力不足の私を助けて戴いたことや、一旦やり出したら皆さんが非常に懲り性だなあ—とつくづく想いました。

専門の木内委員がおりますので私はどうしても、より掛る気持が多かったことを反省しています。ことが進むにつれて一層良きものと委員一同が情熱を燃やし、20周年記念誌に20周年の記念記事が無いのは淋しいと発刊時期が記念式典後と云うことになりました。

委員会開催毎に小林（久）事務局長、川口次長、推井局員には会場手配、食事手配等で御協力を戴き又貴重な資料提供をされた会員に対しても厚く御礼申し上げます。装丁については木内正明氏の特段の御厚意により、予算内で記念誌に相応しい重みのあるものになりました。委員一同精一杯やりました。短時間に良く出来たなあと自負しております。読後の感想をお寄せ戴ければ幸いです。

釧路あすなろクラブ記念誌

編集 昭和56年 2 月 9 日

発行 昭和57年 3 月25日

編集責任者 伊 藤 史 顕

発行責任者 武 藤 周治郎

印刷 木 内 印刷

釧路あすなろクラブ